オキカラーページプリンタ

MICROLINE 5400

ユーザーズマニュアル
（応用編）

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 5400 → ML5400
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0、の総称→Windows
- PostScript3エミュレーション→PSE、POSTSCRIPT3エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriterおよびTrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Scalable FontはAgfa Monotype Corporationからライセンスされています。
CG OmegaはAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG TimesはThe Monotype CorporationのライセンスをうけたTimes New Romanを基にしたAgfa Monotype Corporationの製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG、Candid、TaffyはAgfa Monotype Corporationの各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc.の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
AgfaからライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれているWindows Me/98用 PostScript®プリンタドライバおよびそれに関連する説明資料(以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。)は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州(One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399)に本店を置くMicrosoft Corporation(マイクロソフト社)からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2)第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
 本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
 本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
 本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
 お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users(米国政府機関のエンドユーザへの注意)
 All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
 本条項中で使用される"Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

*****

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

目　次

1 Windows ソフトウェア

Windowsスクリーンフォント

WindowsMe/98/95

プリンタドライバをインストールするだけで、プリンタに搭載されている和文フォント名と欧文フォント名(136書体中42書体)がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windowsスクリーンフォントは添付されませんが、画面上ではWindowsのシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

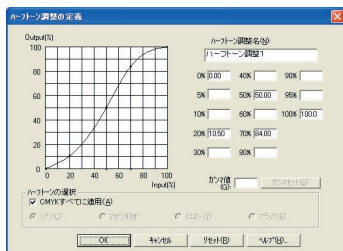
欧文フォント42書体	
AvantGarde	Lubalin Graph
AvantGarde,BOLD	Lubalin Graph,BOLD
AvantGarde,BOLDITALIC	Lubalin Graph,BOLDITALIC
AvantGarde,ITALIC	Lubalin Graph,ITALIC
Bookman	NewCenturySchlbk
Bookman,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	NewCenturySchlbk,ITALIC
Courier	Palatino
Courier,BOLD	Palatino,BOLD
Courier,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Courier,ITALIC	Palatino,ITALIC
Helvetica	Times
Helvetica Condensed	Times,BOLD
Helvetica Condensed,BOLD	Times,BOLDITALIC
Helvetica Condensed,BOLDITALIC	Times,ITALIC
Helvetica Condensed,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Helvetica,BOLD	ZapfDingbats
Helvetica,BOLDITALIC	
Helvetica,ITALIC	
Helvetica-Narrow	
Helvetica-Narrow,BOLD	
Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	
Helvetica-Narrow,ITALIC	

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003

プリンタドライバをインストールするだけでプリンタに搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名(136書体中115書体)がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windowsスクリーンフォントは添付されませんが、画面上ではWindowsのシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

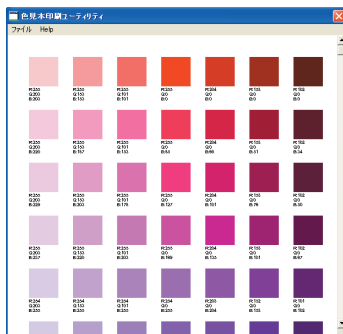
欧文 フォント115書体		
Albertus MT	GillSans Condensed,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD
Albertus MT Lt	GillSans ExtraBold	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Albertus MT,ITALIC	GillSans Light	NewCenturySchlbk,ITALIC
Antique Olive Compact	GillSans Light,ITALIC	Optima
Antique Olive Roman	GillSans,BOLD	Optima,BOLD
Antique Olive Roman,BOLD	GillSans,BOLDITALIC	Optima,BOLDITALIC
Antique Olive Roman,ITALIC	GillSans,ITALIC	Optima,ITALIC
AvantGarde	Goudy	Oxford,ITALIC
AvantGarde,BOLD	Goudy ExtraBold	Palatino
AvantGarde,BOLDITALIC	Goudy,BOLD	Palatino,BOLD
AvantGarde,ITALIC	Goudy,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Bodoni	Goudy,ITALIC	Palatino,ITALIC
Bodoni Poster	Helvetica	StempelGaramond Roman
Bodoni PosterCompressed	Helvetica Condensed	StempelGaramond Roman,BOLD
Bodoni,BOLD	Helvetica Condensed,BOLD	StempelGaramond Roman,BOLDITALIC
Bodoni,BOLDITALIC	Helvetica Condensed,BOLDITALIC	StempelGaramond Roman,ITALIC
Bodoni,ITALIC	Helvetica Condensed,ITALIC	Symbol
Bookman	Helvetica,BOLD	Times
Bookman,BOLD	Helvetica,BOLDITALIC	Times,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	Helvetica,ITALIC	Times,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	Helvetica-Narrow	Times,ITALIC
Clarendon	Helvetica-Narrow,BOLD	Univers 45 Light
Clarendon Light	Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	Univers 45 Light,BOLD
Clarendon,BOLD	Helvetica-Narrow,ITALIC	Univers 45 Light,BOLDITALIC
Cooper Black	Joanna MT	Univers 45 Light,ITALIC
Cooper Black,ITALIC	Joanna MT,BOLD	Univers 47 CondensedLight,BOLD
Copperplate32bc	Joanna MT,BOLDITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLDITALIC
Copperplate33bc	Joanna MT,ITALIC	Univers 55
Coronet,ITALIC	Letter Gothic	Univers 55,ITALIC
Courier	Letter Gothic,BOLD	Univers 57 Condensed
Courier,BOLD	Letter Gothic,BOLDITALIC	Univers 57 Condensed,ITALIC
Courier,BOLDITALIC	Letter Gothic,ITALIC	Univers Extended
Courier,ITALIC	Lubalin Graph	Univers Extended,BOLD
Eurostile	Lubalin Graph,BOLD	Univers Extended,BOLDITALIC
Eurostile Bold	Lubalin Graph,BOLDITALIC	Univers Extended,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo	Lubalin Graph,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo,BOLD	Marigold,ITALIC	ZapfDingbats
GillSans	Mona Lisa Recut	
GillSans Condensed	NewCenturySchlbk	

カラーユーティリティ

PSハーフトーン調整ユーティリティ（PSドライバのみ）

プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整し、写真の印刷濃度を調整できます。

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタでRGB色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのようなRGB色の指定をするか確認することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版の動作するコンピュータ

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 色見本印刷ユーティリティは、Windows95では使用できません。

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

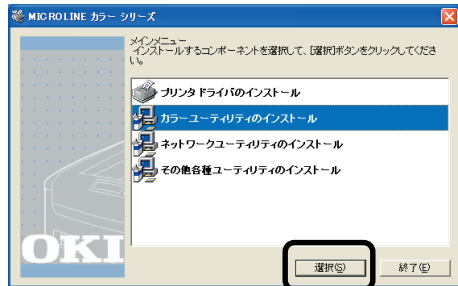
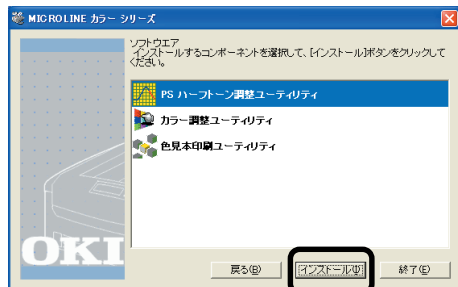
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [カラーユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ インストールするユーティリティを選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINE カラーシリーズ」画面で[終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラムを表示])-[沖データ]-起動したいユーティリティを選択します。

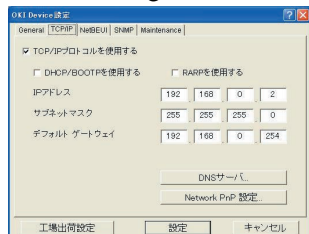
詳しくは

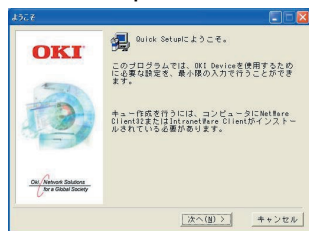
- 「写真の印刷濃度を調整したい(ハーフトーン調整)」(202ページ)
- 「色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい」(200ページ)
- 「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい」(171ページ)
- 「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい」(177ページ)

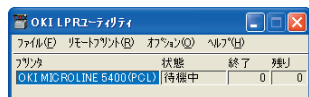
をご覧ください。

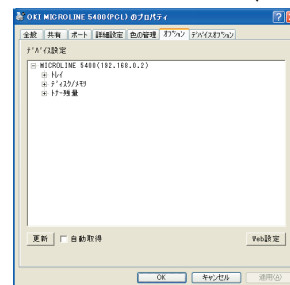
ネットワークユーティリティ

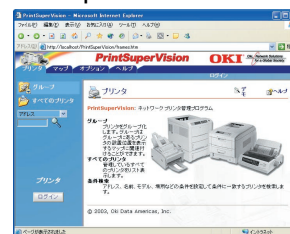
ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

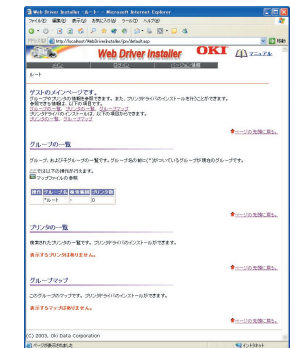
AdminManager（17ページ）

プリンタのネットワークの設定やステータスの確認ができます。IPアドレスの変更やEtherTalkでのプリンタ名の変更、TELNETやNetWareプロトコルの機能変更もできます。

Quick Setup（24ページ）

各プロトコルの有効/無効を簡易に設定します。

OKI LPRユーティリティ（27ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

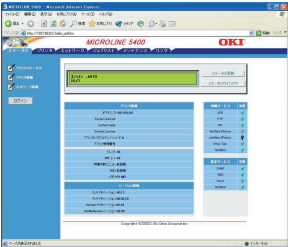
Network Extension（34ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

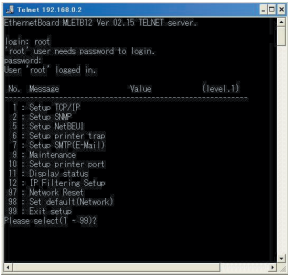
PrintSuperVision（38ページ）

ネットワークに接続されるプリンタを管理するWebベースのアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認できます。

Web Driver Installer（45ページ）

ネットワーク接続されるプリンタの共通設定を自動的に行い、プリントサーバ管理者の負担を軽減することができます。

ネットワークステータスモニタ（55ページ）

ネットワーク接続されているプリンタの状態を監視することができます。

Webブラウザ（59ページ）

Web画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

TELNET（68ページ）

TELNETを利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 / ユーティリティ名	IPアドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	オプション品の管理	消耗品情報	ネットワーク管理
AdminManager	○					
OKI LPRユーティリティ		○	○			
Network Extension				○		
PrintSuperVision					○	○
Web Driver Installer						○
ネットワークステータスモニタ		○				
Webブラウザ	○	○			○	
TELNET	○					

AdminManager

プリンタのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

起動します

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [日本語]をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

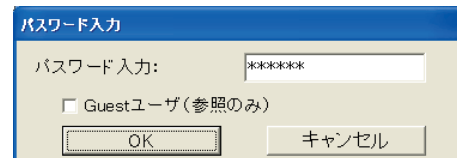
AdminManagerが起動します。

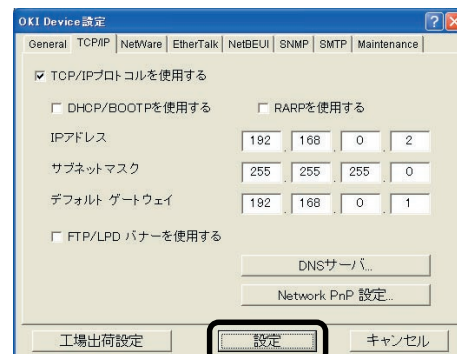
プリンタのネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(232ページ)をご覧ください。

❶一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷[設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

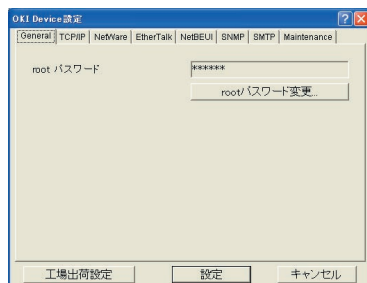
❸[パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

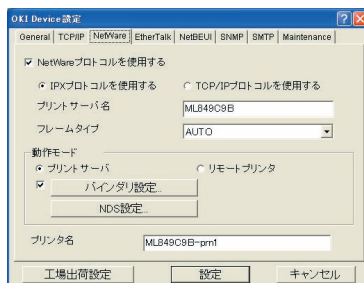
❹必要な項目を入力し、[設定]をクリックします。

❺設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

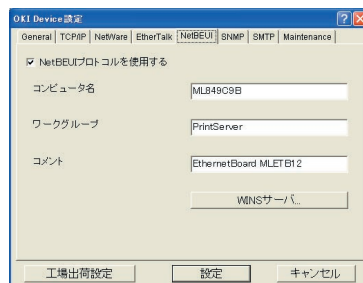
❻新しい設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

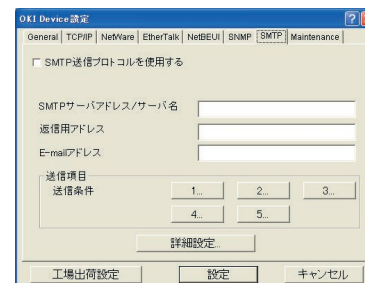
注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

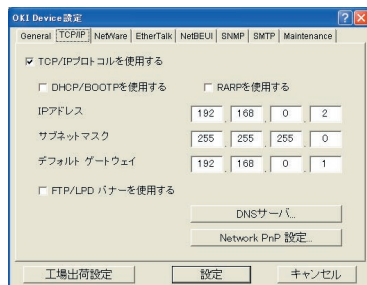
❼AdminManagerを終了します。

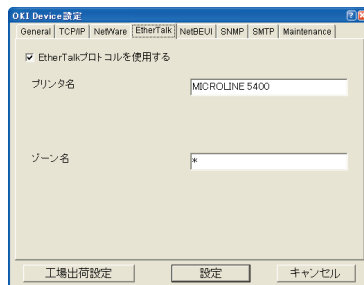
Generalタブ

パスワードを変更します。

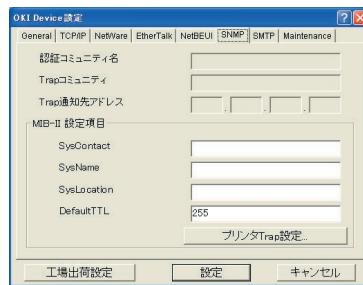
NetWareタブ

NetWareを利用する場合に設定します。(279ページ)

NetBEUIタブ

NetBEUIを利用する場合に設定します。

SMTPタブ

SMTP送信プロトコルを利用する場合に設定します。

TCP/IPタブ

IPアドレスなどの設定をします。

EtherTalkタブ

EtherTalkプリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMPタブ

SNMPを利用する場合に設定します。

Maintenanceタブ

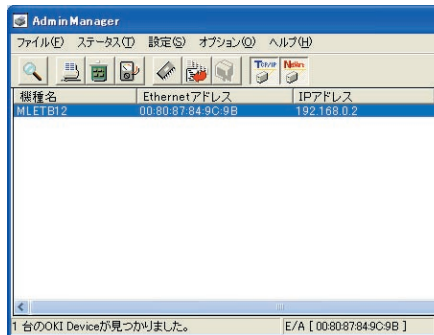
ネットワークサービスの使用制限を設定します。

NetWareのキュー作成をします

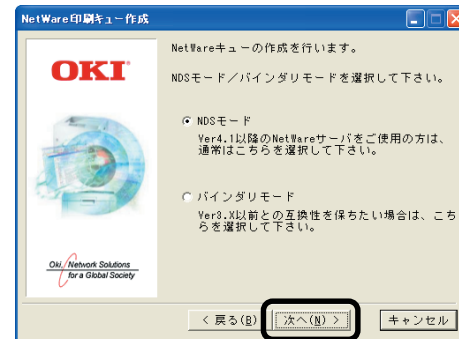
NetWareサーバ上にプリントキューを作成することができます。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードのプリントキューは、NDSモードで作成する必要があります。バインダリモードでは作成できません。

❶一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷［設定］メニューの［NetWareのキュー作成］を選択します。

❸［次へ］をクリックします。

❹ネットワーク環境にあわせて、［NDSモード］か［バインダリモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺画面の指示に従い、NetWareキューを作成します。

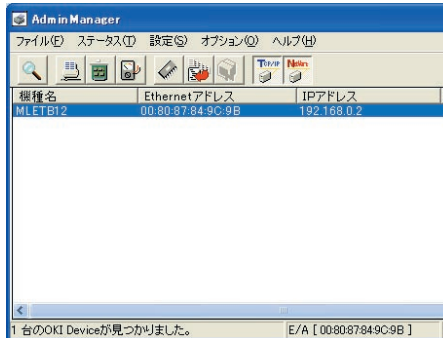
❻設定内容に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

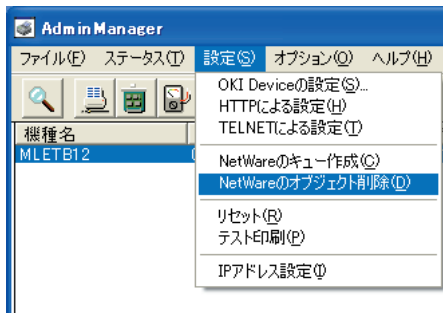
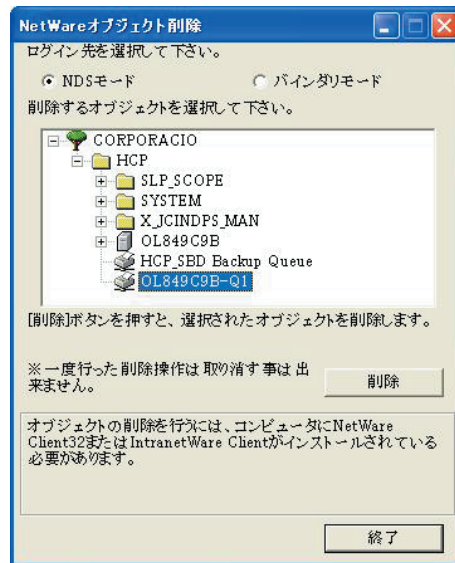
NetWareサーバに設定内容が送信されます。

❼［完了］をクリックします。

NetWareのオブジェクト削除をします

NetWareサーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除することができます。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

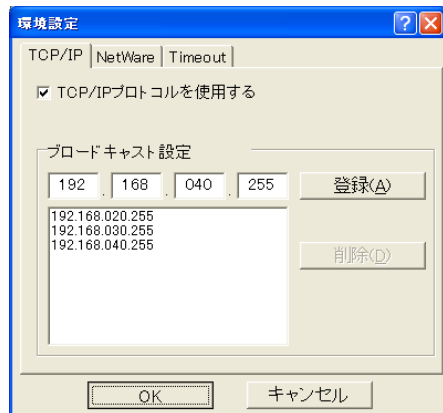
❷ [設定]メニューの[NetWareのオブジェクト削除]を選択します。

❸ [NDSモード]か[バインダリモード]を選択し、削除するオブジェクトを選択します。

❹ [削除]をクリックします。

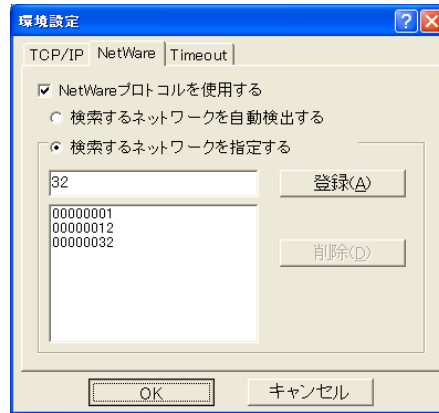
[削除]は取り消すことができません。十分気をつけてオブジェクトを選んでください。

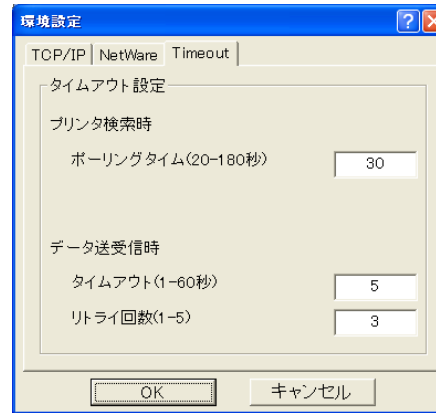
❺ [終了]をクリックします。

環境を設定します

AdminManagerの環境を設定することができます。
[オプション]メニューの[環境設定]を選択します。

TCP/IPタブ

TCP/IPでプリンタの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

NetWareタブ

NetWare(IPX)プロトコルでプリンタの検索をするかどうか設定します。
検索時に取得できたネットワークだけを検索します。
NetWareでプリンタを検索するときのNetWareネットワーク番号を設定します。
NetWareファイルサーバが多数ある場合は、プリンタが存在するネットワーク番号を設定します。

Timeoutタブ

プリンタからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとプリンタの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとプリンタの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメントに存在している必要があります。
- NetWareの設定をするときは、コンピュータにNovel Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

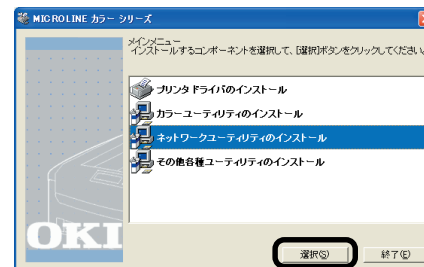
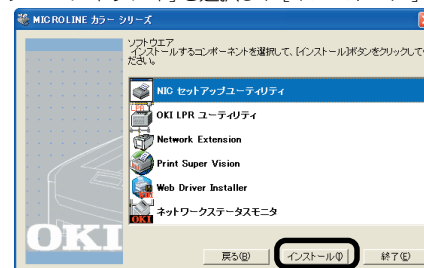
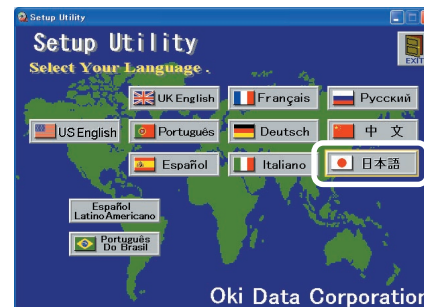
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

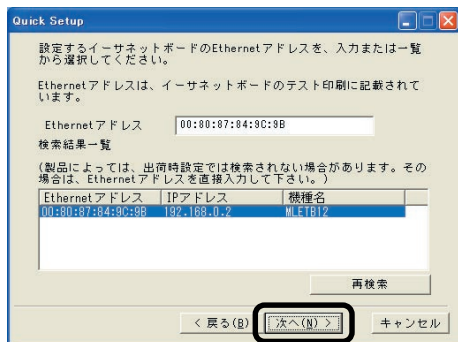
setup

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [日本語]をクリックします。

❾［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

❿［次へ］をクリックします。

⓫設定を行うプリンタのイーサネットアドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

Quick Setupで設定します

❶TCP/IPの設定を行い、［次へ］をクリックします。

❷NetWareの設定を行い、［次へ］をクリックします。

❸ EtherTalkの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❹ NetBEUIの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❺ 設定内容を確認し、[実行]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 設定値を有効にするために、[完了]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Quick Setupを終了します。

OKI LPRユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にOKI LPRユーティリティがインストールされます。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

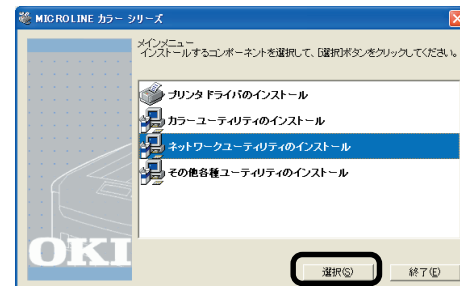
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

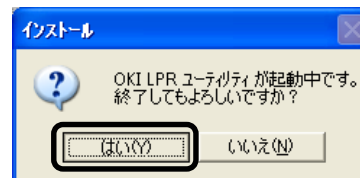
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

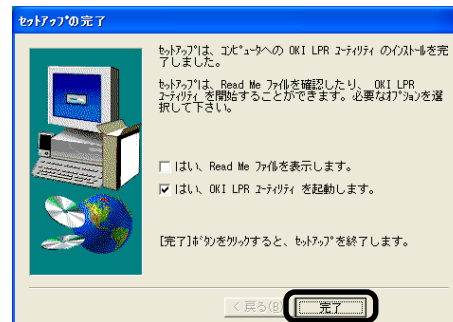
❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [OKI LPRユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ すでにOKI LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので[はい]をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

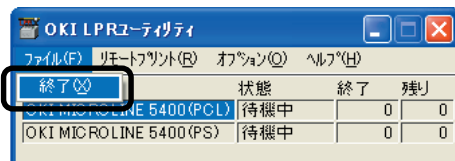
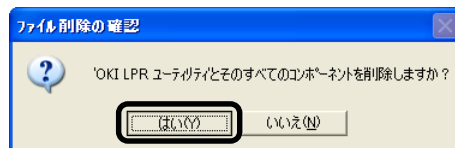
❿ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ [スタートアップに登録する]にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。

⓬ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

削除します

❶[ファイル]メニューの[終了]を選択します。

❷[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[OKI LPRユーティリティ]-[OKI LPRユーティリティの削除]を選択します。

❸[はい]をクリックします。

削除が開始されます。

起動します

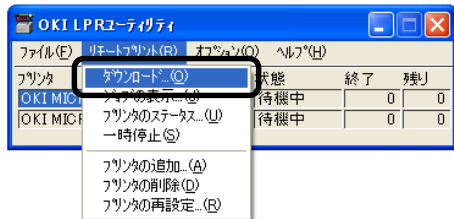
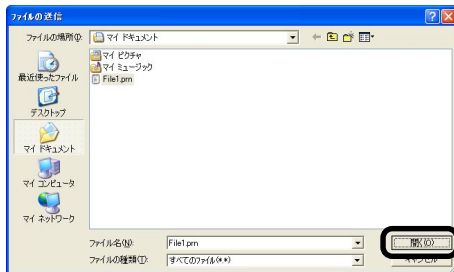
❶[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[OKI LPRユーティリティ]-[OKI LPRユーティリティ]を選択します。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶プリンタを選択します。

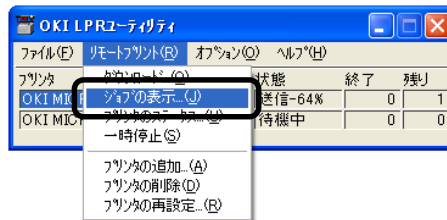
❷[リモートプリント]メニューの[ダウンロード]を選択します。

❸ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

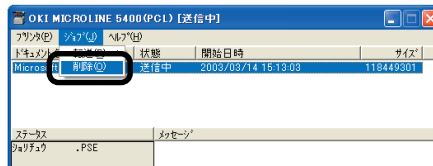
ジョブの表示、削除と手動転送

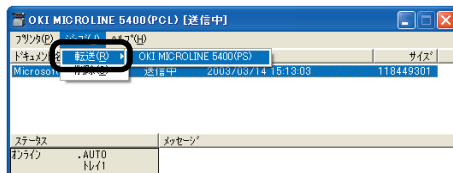
印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶プリンタを選択します。

❷[リモートプリント]メニューの[ジョブの表示]を選択します。

ジョブが表示されます。

❸削除したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[削除]を選択します。

ジョブが削除されます。

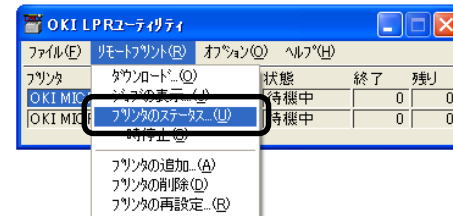
❹転送したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[転送]で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させせることができます。

❶プリンタを選択します。

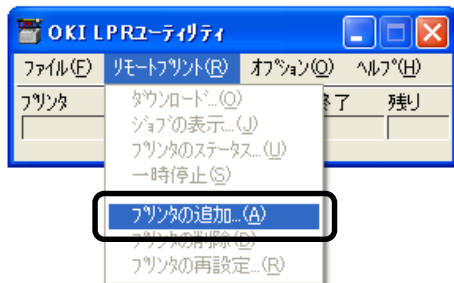
❷[リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス]を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

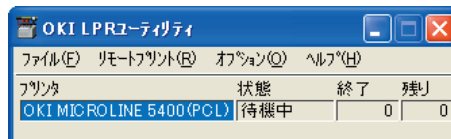
❶ [リモートプリント]メニューの[プリンタの追加]を選択します。

❷ [プリンタ]を選択し、[IPアドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

注

[プリンタ]には、「プリンタとFAX」(WindowsXP/Server2003以外の場合は「プリンタ」)フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

メモ

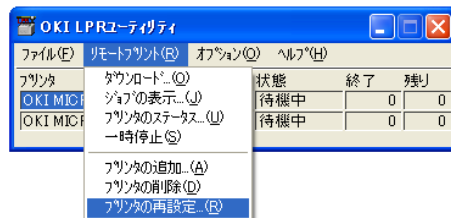
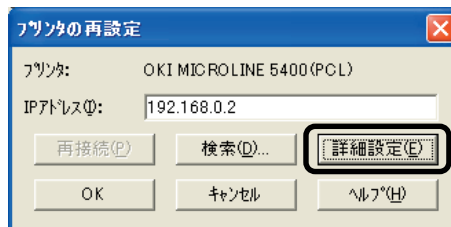
[検索]をクリックしてネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

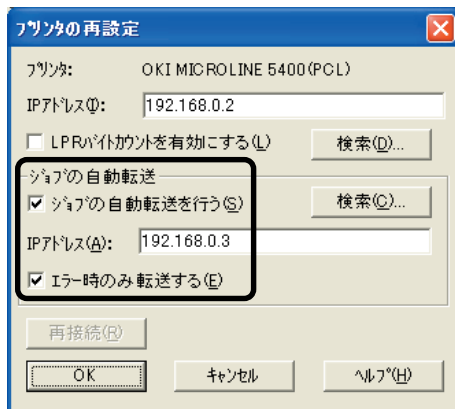
メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント]メニューの[プリンタの再設定]を選択します。

❸ [詳細設定]ボタンをクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけ、転送先プリンタのIPアドレスを設定します。

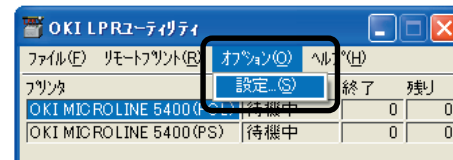
プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

メモ ［検索］をクリックして、ネットワーク上のMICROLINE プリンタを検索することもできます。

❺［OK］をクリックします。

自動的にIPアドレス再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

検索対象は、OKI LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にNetwork Extensionがインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port（WindowsXP/2000/Server2003の場合）
  LPR Port（WindowsNT4.0の場合）
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

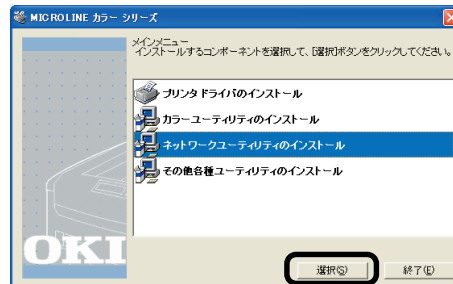
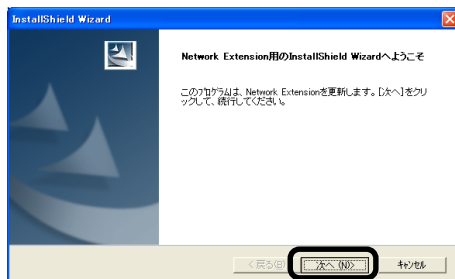
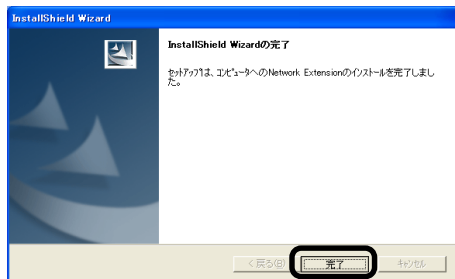
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

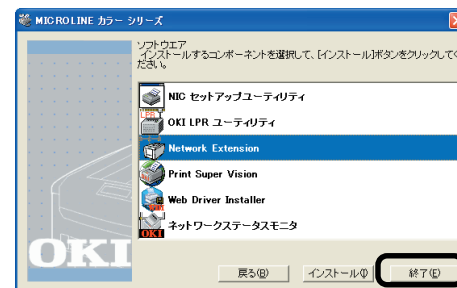
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

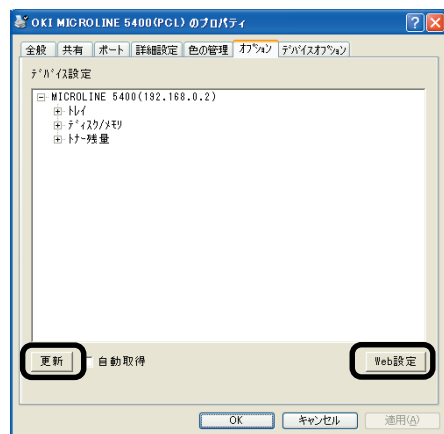
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Network Extension]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ [完了]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は[オプション]タブは表示されません。

(WindowsXPの画面)

1. [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)
2. [OKI MICROLINE 5400]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
3. [オプション]タブをクリックします。
4. [更新]ボタンをクリックします。

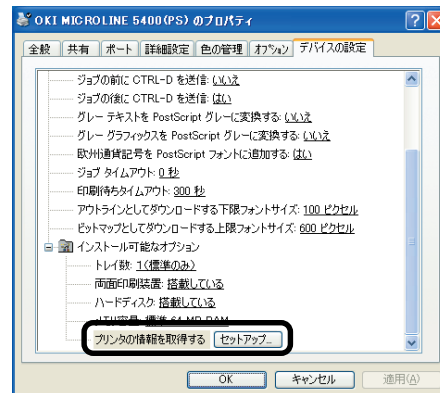
   「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。
5. [OK]をクリックします。

メモ [Web設定]ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザ」(59ページ)をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

- Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。
- WindowsMe/98/95 PSドライバでは利用できません。

WindowsXP PSドライバの場合

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。
2. [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
3. [デバイスの設定]タブをクリックします。
4. [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[セットアップ]をクリックします。
5. [OK]をクリックします。

Windows2000/Server2003 PSドライバの場合

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[セットアップ]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

WindowsNT4.0 PSドライバの場合

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[プリンタの情報を取得する]ボタンをクリックします。

❺ [OK]をクリックします。
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバでプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLドライバの場合

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [OKI Network Extension]を選択し、画面に従って削除します。

PrintSuperVision

ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVisionにアクセスします。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

WindowsXP Professional/2000(Service Pack 1以上)/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ

Microsoftインターネットインフォメーションサーバ(IIS)Ver.5.0以上がインストールされているコンピュータ

TCP/IPで動作しているコンピュータ

ウィルスチェックソフト等によりアクティブサーバページ(ASP)の動作が阻害されない環境のコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ

TCP/IPで動作しているコンピュータ

- CODE-REDやNIMDAのようなウィルス感染を回避するために、PrintSuperVisionのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールされることをお勧めします。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

Windows : WindowsXP Professional

IPアドレス : 192.168.0.3

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

Webブラウザ : Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉

[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

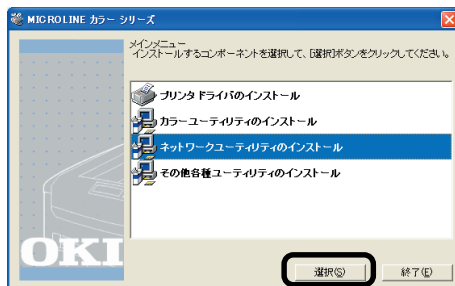
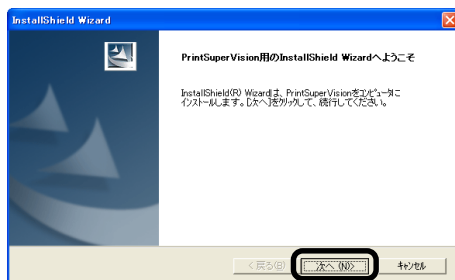
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉

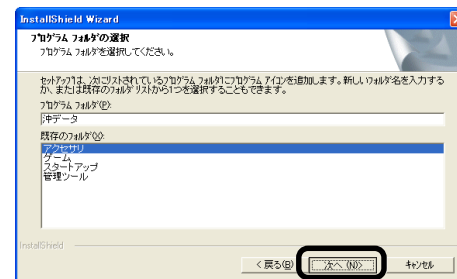
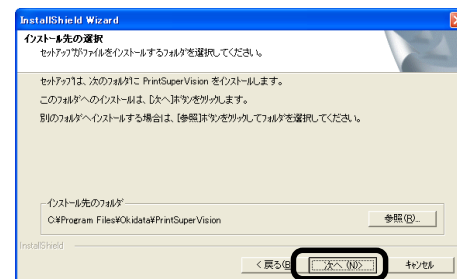
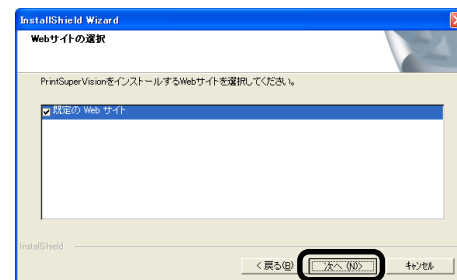
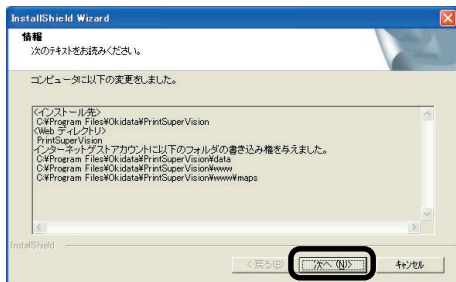
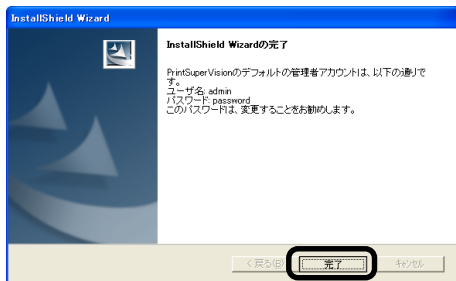
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Print Super Vision]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

❿ インストール先のフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ インストールするWebサイトにチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⓬ [次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

再起動画面が表示された場合は、[今すぐにコンピュータを再起動します]を選択し、[完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[PrintSuperVision]-[PrintSuperVision]を選択します。

削除のしかた

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

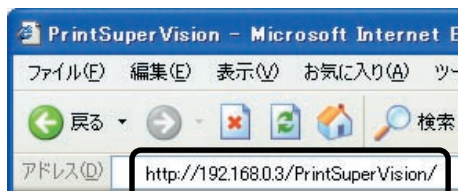
❷ [OKI PrintSuperVision]を選択し、画面に従って削除します。

アクセスします

別のコンピュータでWebブラウザを起動して、PrintSuperVisionがインストールされているコンピュータにアクセスし、設定を変更することができます。設定を変更するには、「Admin」の権限でログインする必要があります。

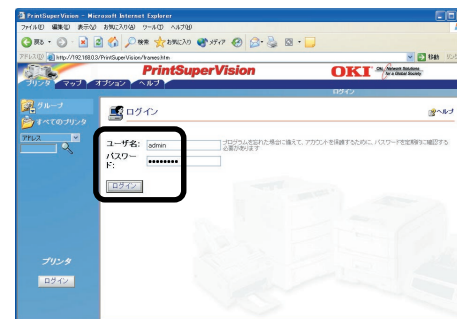
❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]に、URL「http://PrintSuper Visionが起動しているコンピュータのIPアドレス/PrintSuper Vision/」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが
「192.168.0.3」の場合
http://192.168.0.3/PrintSuperVision/

注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例） 正しい入力値： http://192.168.0.3/
誤った入力値： http://192.168.000.003/

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザ名]に「Admin」、[パスワード]に管理者のパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「password」です。

プリンタ　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[よく使うプリンタ]
頻繁に確認する必要があるプリンタを登録することが可能で、このボタンをクリックすることですぐにプリンタの情報を表示させます。

[グループ]
部門別、フロア別、機種別などでプリンタを監視する場合、グループに登録することで容易に分類し、表示することが可能です。

[すべてのプリンタ]
PrintSuperVisionで監視しているプリンタすべての情報を表示します。

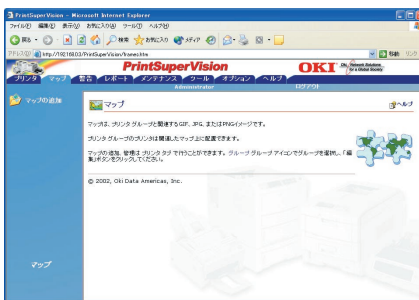
[カスタマイズ]
表示するプリンタ情報をカスタマイズすることができます。

[検索]◎
ネットワークに接続されているプリンタを調べ表示します。

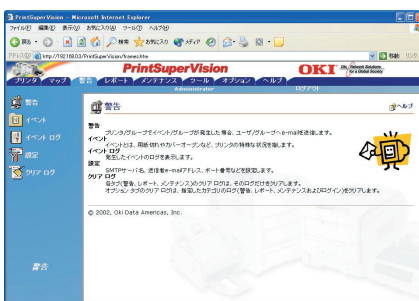
[プリンタの追加]◎
すでにIPアドレスがわかっている場合は[プリンタの追加]で直接アドレスを入力することで特定のプリンタを監視対象に含めることができます。

[条件検索]
アドレス、名前、モデル、場所に一致するプリンタを選択します。

マップ　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[マップの追加]◎
GIF、JPGまたはPNG形式のファイルをPrintSuper Visionに登録することができます。登録されたマップ上にプリンタグループにあるプリンタを対応する場所に配置できます。

警告　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[警告]
プリンタで問題が発生した場合にe-mailを送信する場合の条件を指定します。

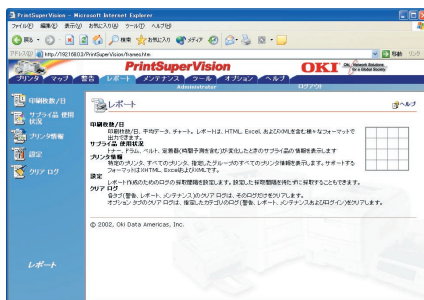
[イベント]
プリンタで問題が発生した場合にPrintSuperVisionで記録をする場合の条件を指定します。

[イベントログ]◎
発生した問題ログを表示します。

[設定]◎
PrintSuperVisionがe-mailを送信させるための各種設定を行います。

[クリアログ]◎
発生したイベントログを削除することができます。

レポート　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［印刷枚数/日］
1日あたりの印刷枚数を表示します。

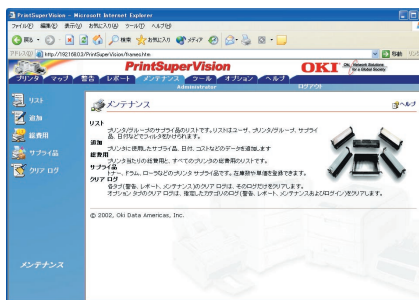
［サプライ品　使用状況］
現在のトナー残量（対応機種のみ）、使用状況から推定したドラム、ベルト、定着器の交換時期などを表示します。

［プリンタ情報］
プリンタの各種情報の表示を行います。

［設定］◎
印刷枚数などのプリンタのデータを収集する間隔を設定します。

［クリアログ］◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

メンテナンス　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［リスト］
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを表示します。

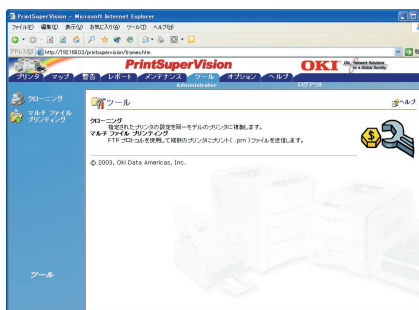
［追加］
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを追加できます。

［総費用］
入力したコスト金額の累計を表示します。

［サプライ品］
トナー、ドラムなどのプリンタサプライ品の金額を保存できます。

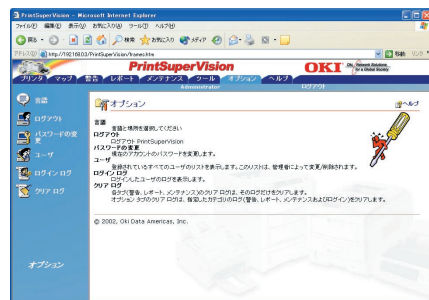
［クリアログ］◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

ツール　タブ（「Admin」ユーザのみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［クローニング］◎
1台のプリンタメニュー設定を複数の他のプリンタに反映することができます。

［マルチファイルプリンティング］◎
1つの印刷ジョブを複数のプリンタに送信します。

オプション　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[言語]
表示する言語を選択します。

[ログアウト]
PrintSuperVisionからログアウトします。

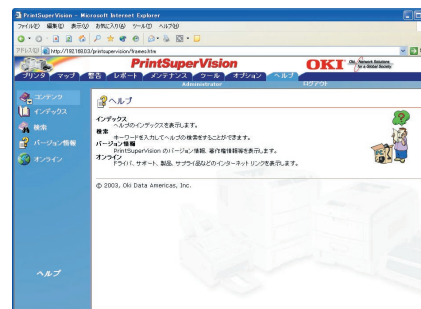
[パスワードの変更]
ユーザパスワードを変更できます。

[ユーザ]
ユーザの追加などユーザ管理ができます。
Admin以外は表示のみです。

[ログインログ]◎
PrintSuperVisionへのログイン記録が表示されます。

[クリアログ]◎
警告、ログインログなどのログ情報をクリアします。

[ログイン]
ログインしていない場合にのみ表示されます。

ヘルプ　タブ

[コンテンツ]
PrintSuperVisionのオンラインヘルプをツリービューで表示します。

[インデックス]
PrintSuperVisionのオンラインヘルプを選択、表示できます。

[検索]
キーワード入力によるヘルプ検索ができます。

[バージョン情報]
PrintSuperVisionのVersion情報を表示します。

[オンライン]
沖データのホームページにリンクしています。

Web Driver Installer

Web Driver Installerとは

Web Driver Installerは、Webベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IPネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタをWebページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできるURLをe-mailで通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windowsエクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installerは、新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は、管理者が5分から2週間の間で設定します。この機能は、無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installerに登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザにe-mailを送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installerにはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installerの運用を開始する前にTCP/IPネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知するe-mailを受け、e-mailに記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installerをインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

e-mail送信機能

Web Driver Installerは、登録されているユーザに自動的にe-mailを送信します。
e-mailの内容は、下表を参照します。

あて先	通知内容	詳　細
管理者	新規プリンタの検出	自動検索機能によって、新しく接続されたプリンタが検索されたことを通知します。
メンテナンスユーザ 一般ユーザ	プリンタの追加	プリンタドライバが登録されているプリンタを検出したときと、既に検出されているプリンタをサポートするプリンタドライバを管理者が登録/更新したときに、プリンタが追加できることを通知します。
	プリンタの削除	Web Driver Installerからプリンタが削除されたことを通知します。
	グループの削除	Web Driver Installerからグループが削除されたことを通知します。
	ユーザの削除	Web Driver Installerからユーザが削除されたことを通知します。
	グループ移動	ユーザが所属しているグループが移動されたことを通知します。
	ユーザ登録確認	新規に登録されたユーザへ登録確認の通知をします。

ユーザ種類

Web Driver Installerのユーザには、管理者、メンテナンスユーザ、一般ユーザと、ゲストユーザの4種類があります。

管理者
　Web Driver Installer の全ての機能を使用できます。
　全てのユーザグループに対してユーザ情報編集などの操作を行えます。
メンテナンスユーザ
　所属しているグループと、その子グループに対してのみ操作を行えます。
一般ユーザ
　管理者またはメンテナンスユーザによって設定された情報を参照してプリンタドライバをインストールできます。
ゲストユーザ
　Web Driver Installerに登録されていないユーザです。プリンタドライバのインストールのみできます。

機　能	管理者	メンテナンスユーザ	一般ユーザ	ゲストユーザ
プリンタドライバのインストール	○	○	○	○
ログイン/ログアウト	○	○	○	
ユーザの編集	○	○*1	○*2	
グループの編集	○	○*1		
プリンタの手動検索	○			
e-mail設定	○			
ドライバ登録	○			

*1 メンテナンスユーザは、自分が属するグループとその子グループの範囲で操作ができます。
*2 一般ユーザは、自分自身のユーザ情報を編集できます。

プリンタドライバインストール機能

ユーザはWebブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、e-mailによる[プリンタの追加]通知に記載されているURLへアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)
　Windows Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000/ Windows NT 4.0(サービスパック6a)日本語版が動作するコンピュータ
　TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
　Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータからWeb Driver InstallerにWebブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5以上または、Netscape Navigator 6.0以上が必要です。
Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installerのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCPポート番号と、サイトを変更するとWeb Driver Installerは動作しません。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)
　Windows 日本語版が動作するコンピュータ
　TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
　Internet Explorer 5.5以上またはNetscape Navigator 6.0以上がインストールされているコンピュータ
　e-mailが受信できるように設定されているコンピュータ
　OkiLPRユーティリティのバージョン3.08以上もインストールされているコンピュータ
また、WebブラウザからマニュアルをAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

Windows Server 2003、Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0でWeb Driver Installerの「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

インストールします

- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールは、サーバコンピュータ上で行います。

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

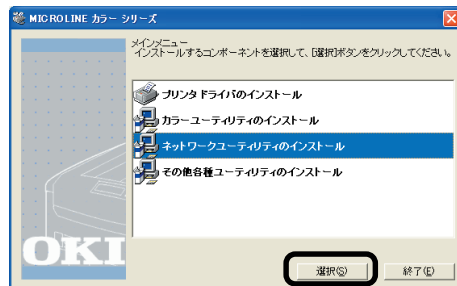
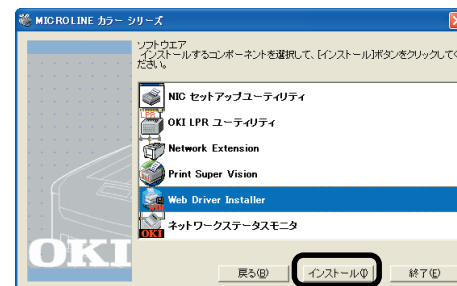
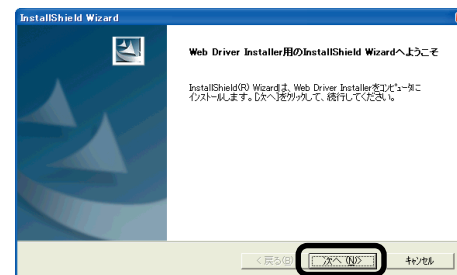
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

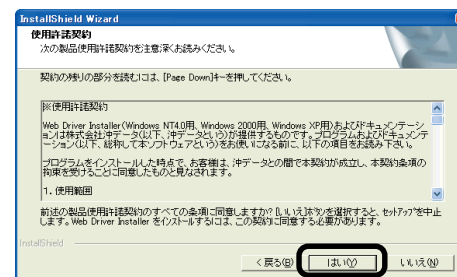
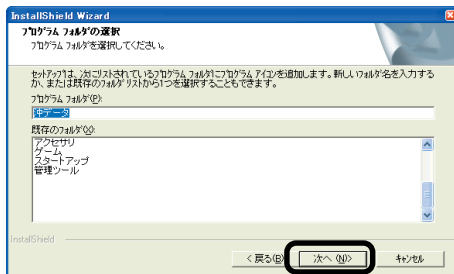
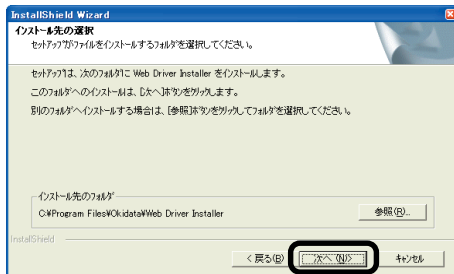
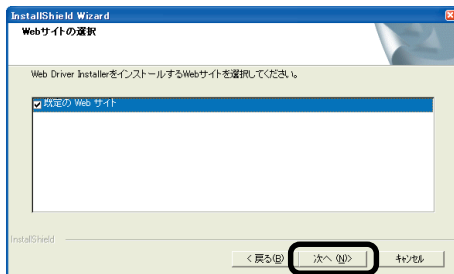
〈Windows2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

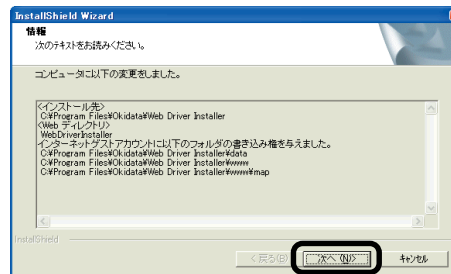
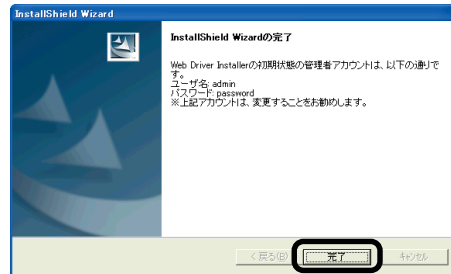
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[Web Driver Installer]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽[次へ]をクリックします。

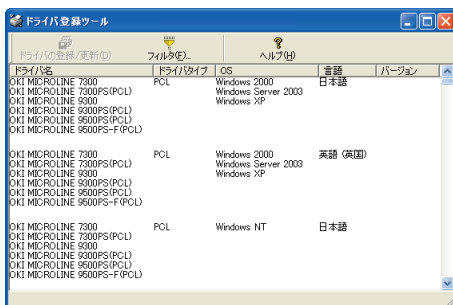
❾[使用許諾契約]をよく読み、[はい]をクリックします。

⑩ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⑪ インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

⑫ インストールするWebサイトを確認し、[次へ]をクリックします。

⑬ インストーラは、ファイルのコピーやプログラムの登録などのインストール処理をします。

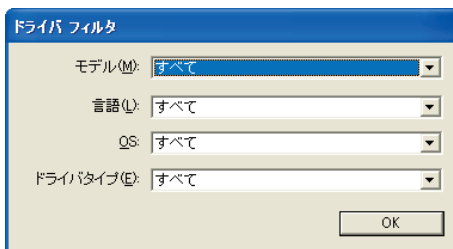
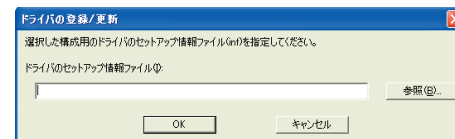
⑭ インストール結果を確認し、[次へ]をクリックします。

⑮ [完了]をクリックします。

注 ここで再起動を必要とする趣旨のメッセージが表示された場合は、必ず再起動してください。

⑯ [終了]をクリックします。

プリンタドライバを登録します

TCP/IPネットワークに接続されているプリンタがあらかじめわかっている場合は、Web Driver Installerの運用を開始する前にプリンタドライバをWeb Driver Installerに登録しておくことをお勧めします。

❶ [スタート]-[プログラム](Windows XPでは、[すべてのプログラム])-[沖データ]-[Web Driver Installer]-[ドライバ登録ツール]を選択します。ドライバ登録ツールが起動します。

メモ バージョン欄に何も表示されていないドライバ構成はドライバが登録されていないことを意味します。バージョン番号または“<不明>”が表示されていると、ドライバが登録されていることを意味します。

❷ リストビューで登録したいドライバ構成を選択します。ツールバーの[フィルタ]をクリックし、ドライバ構成を選択することで、目的のドライバ構成のみを表示することができます。

❸ [ドライバの登録/更新]をクリックすることで、[ドライバの登録/更新]ダイアログが表示されます。

❹ 選択したドライバ構成にあったドライバのセットアップ情報ファイル(INFファイル)のフルパスを入力します。正確な位置が分からない場合は、[参照]をクリックすることで、ツリー上から選択できます。

- 選択したドライバ構成と一致するプリンタのセットアップ情報ファイルを入力してください。
- プリンタのセットアップ情報ファイルの場所が分からない場合は、プリンタのマニュアルを参照してください。

❺ [OK]をクリックすることで、登録または更新が完了します。

初期設定をします

Web Driver Installerを運用するために最低限必要な設定をします。

この設定をする前に、ユーザを追加や、プリンタの検索をしても、e-mailは送信されません。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名	admin
パスワード	password

❹ [設定]をクリックします。

❺ [送信メールサーバ]は、Web Driver Installerがe-mailを送信するためのSMTPサーバを指定します。

[ポート番号]は、SMTPサーバのポート番号を指定します。通常、25が使用されます。

[管理者のメールアカウント]は、Web Driver Installerの管理者のメールアドレスを指定します。Web Driver Installerは、e-mailを送信するために、ここで指定したメールアドレスを送信者として使用します。

メモ　メールサーバによっては、有効な送信者のメールアカウントが必要です。

❻ 設定が終了したら[適用]をクリックします。

❼ 設定内容が正しいかを確認するために、[設定を確認するためのテストメールを送信します]をクリックし、メール受信ソフトで確認メールが届いているかチェックします。[戻る]をクリックすることでメインページに戻ります。

設定を確認するためのテストメールを送信します。
直ちに検索します。

これで、初期設定は完了です。

グループを登録します

Web Driver Installerは、部門やフロアといったネットワークセグメント*1単位のグループ管理をします。

*1 LAN（ローカルエリアネットワーク）におけるネットワークの1単位で、1つの機器から送出されたパケットが無条件に到達する範囲と解釈します。

例として、株式会社ABCは3階建てのビルを持っていて、1階に総務部と経理部、2階に営業1部から営業3部があり、3階に技術1部と技術2部があったとします。Web Driver Installerでグループ分けをすると、下図のようになります。

グループ	検索範囲
株式会社ABC	–
1階	–
総務部	192.168.0.255
経理部	192.168.1.255
2階	–
営業1部	192.168.2.255
営業2部	192.168.2.255
営業3部	192.168.3.255
3階	–
技術1部	192.168.4.255
技術2部	192.168.5.255

このグループ構成をWeb Driver Installerに登録する方法を以下に説明します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

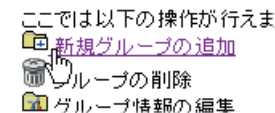
メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているpcのipアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

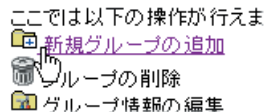
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名 admin
パスワード password

❹ [グループの一覧]にある[新規グループの追加]をクリックします。

❺ [グループ設定]ページの[グループ名]に「1階」と入力し、[OK]をクリックします。「2階」、「3階」も同様に追加します。

❻ [グループの一覧]にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

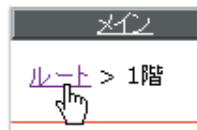
❼「1階」グループの[グループの一覧]にある[新規グループの追加]をクリックします。

ここでは以下の操作が行えま
新規グループの追加
グループの削除
グループ情報の編集

❽[グループ設定]ページの[グループ名]に「総務部」と入力します。また、検索範囲に総務部のブロードキャストIPアドレスを入力します。[OK]をクリックします。「経理部」も同様に追加します。

情報入力フォーム

OK　キャンセル

設定項目	設定値
グループ名※必須	総務部
検索範囲	192.168.0.255

❾「ルート」をクリックして、同様に「2階」の「営業1部」、「営業2部」と、「営業3部」、「3階」の「技術1部」と「技術2部」を作成します。

ユーザを登録します

Web Driver Installerにメンテナンスユーザと一般ユーザを登録します。メンテナンスユーザは、末端グループまたは、親グループに1人の割合で登録できます。また、一般ユーザは末端グループに登録します。例では、総務部グループと経理部グループを管理するメンテナンスユーザ「鈴木 一郎」さんを1階グループに登録します。また、一般ユーザである総務部の「井上 次郎」さんを総務部グループに登録します。

❶デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷[ログイン]をクリックします。

❸[ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

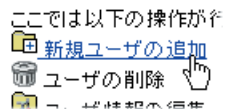
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　　admin
パスワード　　password

❹[グループの一覧]にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

操作	グループ名
	*ルート
	1階
	2階

❺ [ユーザの一覧]にある[新規ユーザの追加]をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

ここでは以下の操作がイ
新規ユーザの追加
ユーザの削除

❻ [種類]は、メンテナンスユーザを選択します。[ユーザ名]、[e-mailアドレス]と、[ログイン名]をそれぞれ埋めます。必要に応じて、[パスワード]を設定します。[OK]をクリックし、保存します。

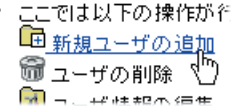
情報入力フォーム

OK キャンセル

設定項目	設定値
種類	◉ メンテナンスユーザ ○ 一般ユーザ
ユーザ名※必須	鈴木 一郎
e-mailアドレス	suzuki@abc.com
ログイン名※必須	suzuki
パスワード	
パスワード再入力	

❼ [グループの一覧]にある「総務部」をクリックし、「総務部」グループのページを表示します。

操作	グループ名	検索
	*1階	-
	総務部	192
	経理部	192

❽ [ユーザの一覧]にある[新規ユーザの追加]をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❾ [種類]は、一般ユーザを選択します。[ユーザ名]、[e-mailアドレス]と、[ログイン名]をそれぞれ埋めます。必要に応じて、[パスワード]を設定します。[OK]をクリックし、保存します。

情報入力フォーム

OK キャンセル

設定項目	設定値
種類	○ メンテナンスユーザ ◉ 一般ユーザ
ユーザ名※必須	井上 次郎
e-mailアドレス	inoue@abc.com
ログイン名※必須	inoue
パスワード	
パスワード再入力	

これで、メンテナンスユーザと、一般ユーザが登録されました。

自動検索を有効にします

Web Driver Installerをバックグラウンドで運用するために、[自動検索]を有効にします。以後、検索間隔ごとに末端グループに設定されているブロードキャストIPアドレスを使って新規プリンタが接続されているか検索する処理を繰り返します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　admin
パスワード　password

❹ [設定]をクリックします。

❺ [自動検索]を「有効」にチェックして、設定を保存するために[適用]をクリックし、[戻る]をクリックすることでメインページに戻ります。

これで、自動検索機能が有効となりました。

ネットワークステータスモニタ

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	:	WindowsXP Home Edition
プリンタ	:	ML5400
IPアドレス	:	192.168.0.2

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

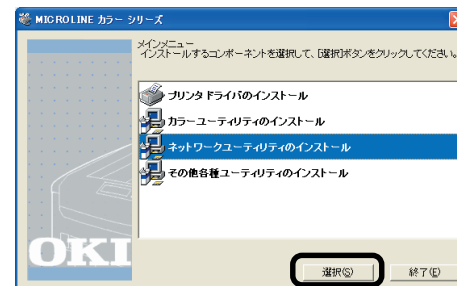
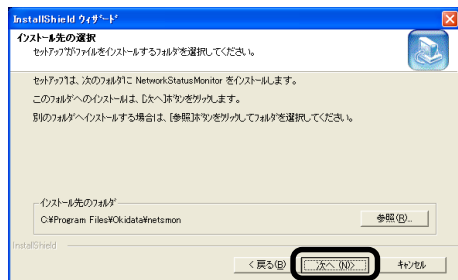
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

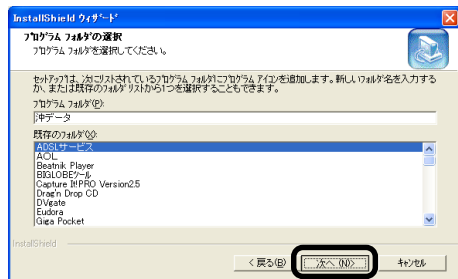
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [ネットワークステータスモニタ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

❾ インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

❿ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ [完了]をクリックします。

⓬ [終了]をクリックします。

起動します

❶[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[ネットワークステータスモニタ]-[ネットワークステータスモニタ]を選択します。

❷接続するプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
- 複数のプリンタに接続したい場合は、手順❶〜❷を繰り返します。
- すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力したIPアドレスが表示されます。

削除します

❶[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷[OKI Network Status Monitor]を選択し、画面に従い削除します。

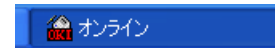
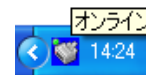
設定メニュー

［接続先変更］
接続したいプリンタのIPアドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。

［監視時間変更］
値を入力して監視間隔を変更します。初期値は5秒です。9桁までの数字を入力してください。0秒は設定できません。

表示メニュー

［最小化表示］
最小化時の表示状態を設定します。［タスクバー］、［アイコン］が選択できます。

・タスクバー設定時の表示

・アイコン設定時の表示

［サブウィンドウ］
詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。

［ポップアップ］
接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

Webブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上もしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

メモ お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.xの場合は、[表示]メニューの[セキュリティ]-[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[プライバシー]-[設定]を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.xの場合は、[編集]メニューの[設定]-[詳細]-[すべてのCookieを受け付ける]に設定します。

Netscape Navigator 6.x〜7の場合は、[編集]メニューの[設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[Cookie]-[すべてのCookieを有効にする]に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：ML5400
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

起動します

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例） 正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

注 [プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認：]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定します

注 Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

注 パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❸ 必要な設定をした後、[送信]をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❸ [メンテナンス]タブをクリックします。

❹ [パスワードの設定]をクリックします。

❺ [新しいパスワードの入力]に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力]に再度新しいパスワードを入力します。

注
- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❻ [送信]をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、[Accepted]が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

このパスワードはTELNET、AdminManagerのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManagerのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［印刷メニュー］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［メディアメニュー］

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラーメニュー］

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成メニュー］

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［エミュレーション］

サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インタフェースメニュー］

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリメニュー］

受信バッファサイズの設定。受信バッファ中のデータ消去を実行します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［ネットワーク情報］
ネットワークの設定情報を確認することができます。

［一般設定］
ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

1）System Contact ......
管理者への連絡先記載エリア

2）System Name ....
プリンタの名称記載エリア

3）System Location .....
プリンタの置き場所記載エリア

［TCP/IP］
TCP/IPに関する情報を設定できます。

［NetWare］
NetWareに関する情報を設定できます。

［EtherTalk］
EtherTalkに関する情報を設定できます。

［NetBEUI/WINS］
NetBEUI/WINSに関する情報を設定できます。

［Email設定］
プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。

［SNMP Traps］
プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。

［IPP］
IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［ジョブキュー］
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[設定ページの印刷]

メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)は一緒に印刷されます。デモページを上記印刷と同時に印刷させることはできません。

[再起動/初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

工場出荷時設定

プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

[操作パネルのロック]

操作パネル(オペレータパネル)の操作を禁止状態に設定します。

[サービスの設定]

ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

[LANの規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

[IPフィルタリング]

TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います」(305ページ)をご覧ください。「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

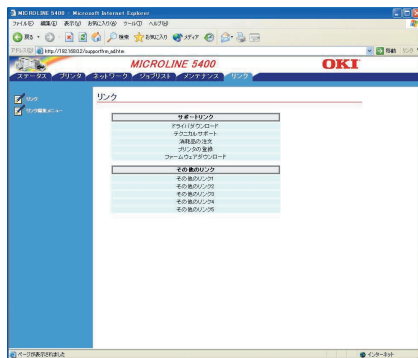
[Hexダンプ]

受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[パスワード設定]

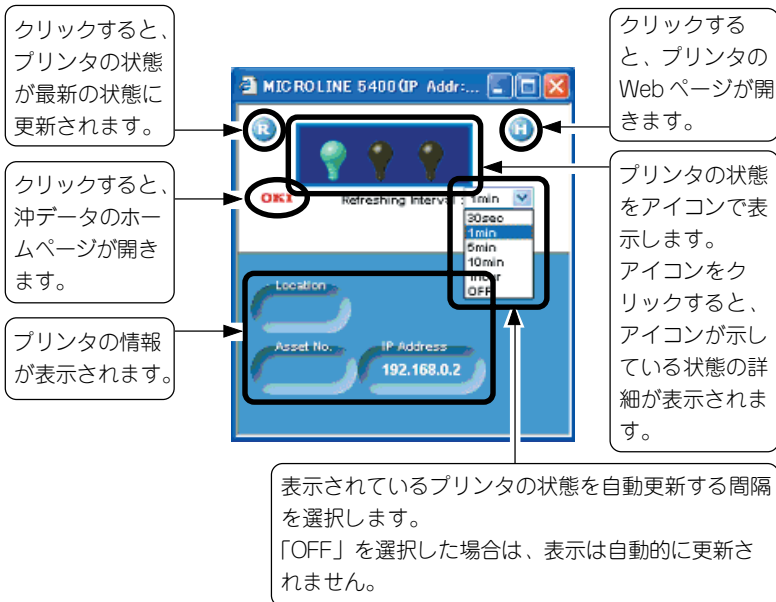
管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

リンク　タブ

［リンク］
製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

［リンク編集メニュー］
管理者が好きなURLを設定できます。
サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。
URLは、http://も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

「Webブラウザ」(59ページ)の「動作環境」を確認してください。

機能説明

クリックすると、プリンタの状態が最新の状態に更新されます。

クリックすると、沖データのホームページが開きます。

プリンタの情報が表示されます。

クリックすると、プリンタのWebページが開きます。

プリンタの状態をアイコンで表示します。アイコンをクリックすると、アイコンが示している状態の詳細が表示されます。

表示されているプリンタの状態を自動更新する間隔を選択します。
「OFF」を選択した場合は、表示は自動的に更新されません。

プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害(印刷は可能)	軽障害なし
右のランプ	重障害(印刷は不可能)	重障害なし

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

〈カバーが開いている場合〉

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　　: Windows2000 Professional
プリンタ　　: ML5400
IPアドレス　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnetでプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

ML5400は「MLETB12」と表示されます。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message     Value     (level.1)
-------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup EtherTalk
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer trap
 7 : Setup SMTP(E-Mail)
 8 : Setup printer trap
 9 : Maintenance
10 : Setup printer port
11 : Display Status
12 : IP Filtering Setup
97 : Network Reset
98 : Set default(Network)
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

注
11： 設定内容を表示します。
97： ネットワークを再起動します。
98： プリンタのネットワークの設定を初期化します。
99： 設定を変更して前画面に戻ります。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? _1

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol: DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "*******"
 11 : Auto Discovery Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 11

 No.  Message                Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Network PnP            : ENABLE
  2 : Rendezvous             : ENABLE
  3 : Printer Name           : "ML849C9B"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNMP設定画面

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SysContact                : ""
  2 : SysName                   : ""
  3 : SysLocation               : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetWare設定画面

```
Please select(1-99)? _3

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetWare Protocol  : ENABLE
  2 : Protocol          : IPX
  3 : Frame Type        : AUTO
  4 : Printer Name      : "ML849C9B-prn1"
  5 : NetWare Mode      : PSERVER
  6 : Setup PSERVER(IP)
  7 : Setup PSERVER(IPX)
  8 : Setup RPRINTER(IPX)
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : NDS Tree                : ""
  2 : NDS Context             : ""
  3 : Print Server Name       : "ML849C9B"
  4 : Password                : ""
  5 : Job Polling Time        : 4
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : NDS Tree               : ""
  2 : NDS Context            : ""
  3 : Print Server Name      : "ML849C9B"
  4 : Password               : ""
  5 : Job Polling Time       : 4
  6 : Bindery Mode           : ENABLE
  7 : File Server 1          : ""
  8 : File Server 2          : ""
  9 : File Server 3          : ""
 10 : File Server 4          : ""
 11 : File Server 5          : ""
 12 : File Server 6          : ""
 13 : File Server 7          : ""
 14 : File Server 8          : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _8

 No.  Message                Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Print Server 1           : ""
  2 : Print Server 2           : ""
  3 : Print Server 3           : ""
  4 : Print Server 4           : ""
  5 : Print Server 5           : ""
  6 : Print Server 6           : ""
  7 : Print Server 7           : ""
  8 : Print Server 8           : ""
  9 : Job Timeout              : 10
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

EtherTalk設定画面

```
Please select(1-99)? _4

 No.  Message                  Value (level.2)
--------------------------------------
  1 : EtherTalk Protocol: ENABLE
  2 : Printer Name       : "MICROLINE 5400"
  3 : Zone Name          : "*"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetBEUI Protocol : ENABLE
  2 : Computer Name    : "ML849C9B"
  3 : Workgroup Name   : "PrintServer"
  4 : Comment          : "EthernetBoard
                                  MLETB12"
  5 : Setup WINS
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : WINS Server (Pri.)    : 0.0.0.0
  2 : WINS Server (Sec.)    : 0.0.0.0
  3 : Scope ID              : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer trap設定画面

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                  Value (level.2)
-----------------------------------------
  1 : Prn-Trap Community     : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX   trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                  Value (level.3)
-----------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : TCP#1 Trap Address     : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : IPX   Trap Enable     : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap   : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap  : DISABLE
  4 : Online Trap           : DISABLE
  5 : Offline Trap          : DISABLE
  6 : Paper Out Trap        : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap        : DISABLE
  8 : Cover Open Trap       : DISABLE
  9 : Printer Error Trap    : DISABLE
 10 : IPX   Trap Address    : "000000000000"
 11 : IPX   Trap Net        : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SMTP Transmit           : DISABLE
  3 : SMTP Server Name        : ""
  4 : SMTP Port Number        : 25
  5 : E-mail Address          : ""
  6 : Reply-To Address        : ""
  7 : Event to Address 1
  8 : Event to Address 2
  9 : Event to Address 3
 10 : Event to Address 4
 11 : Event to Address 5
 12 : Signature line 1        : ""
 13 : Signature line 2        : ""
 14 : Signature line 3        : ""
 15 : Signature line 4        : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : To Address 1            : ""
  2 : Re-send Interval        : DISABLE
  3 : Off Line                : DISABLE
  4 : Consumable Message      : DISABLE
  5 : Toner Low/Out           : DISABLE
  6 : Paper Low/Out           : DISABLE
  7 : Paper Jam               : DISABLE
  8 : Cover Open              : DISABLE
  9 : Stacker Error           : DISABLE
 10 : Mass Storage Error      : DISABLE
 11 : Recoverable  Error      : DISABLE
 12 : Service Call Req.       : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Maintenance設定画面

```
Please select(1-99)? _9

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : FTP Service             : ENABLE
  2 : Telnet Service          : ENABLE
  3 : Web Service             : ENABLE
  4 : SNMP Service            : ENABLE
  5 : LAN Scale               : NORMAL
  6 : DefaultTTL              : 255
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer port設定画面

```
Please select(1-99)? _10

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : BOJ String              : ""
  2 : EOJ String              : ""
  3 : BOJ String(KANJI)       : ""
  4 : EOJ String(KANJI)       : "\x04"
  5 : Printer Type            : PS
  6 : TAB Size    (char.)     : 8
  7 : Page Width  (char.)     : 78
  8 : Page Length(line)       : 64
  9 : FTP/LPR Banner          : NO
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

IP Filtering設定画面

```
Please select(1-99)? _12

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : IP Filtering            : DISABLE
  2 : IP Address range 1
  3 : IP Address range 2
  4 : IP Address range 3
  5 : IP Address range 4
  6 : IP Address range 5
  7 : IP Address range 6
  8 : IP Address range 7
  9 : IP Address range 8
 10 : IP Address range 9
 11 : IP Address range 10
 12 : Admin IP Address        : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

ストレージデバイスマネージャ

プリンタのハードディスク(オプション)の設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をするユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0以上がインストールされていること

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

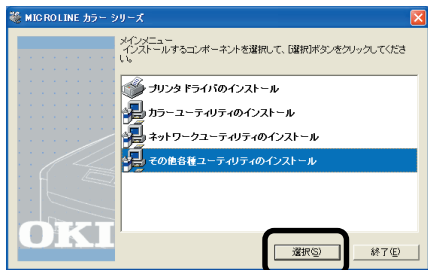
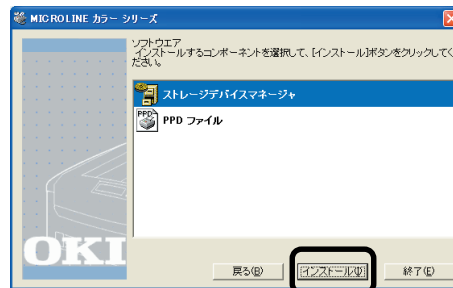
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [その他各種ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [ストレージデバイスマネージャ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINE カラーシリーズ」画面で[終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKIストレージデバイスマネージャ]-[OKIストレージデバイスマネージャ]を選択します。

詳しくは
- 「フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)」(135ページ)
- 「内蔵ハードディスク(オプション)を初期化したい」(220ページ)
- 「内蔵ハードディスク(オプション)やフラッシュメモリの空き容量を確認したい(Windows)」(224ページ)

をご覧ください。

2 Macintosh ソフトウェア

Macintoshスクリーンフォント

動作環境

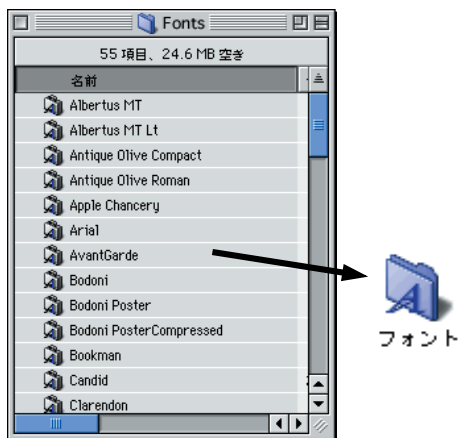
MacOS8.1〜9.2.2日本語版

Mac OS Xでは利用できません。

欧文スクリーンフォントをインストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts]フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを[システムフォルダ]-[フォント]フォルダにコピーします。

❹ Macintoshを再起動します。

- Mac OS Xでは常にTrueTypeスクリーンフォントで印刷されます。
- [Chicago]、[Geneva]、[Monaco]、[NewYork]は添付されておりません。MacOS添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

MicrolinePS Utility

以下の設定をMacintoshで行うユーティリティです。

- ウェイトタイム、パワーセーブなどプリンタの操作パネルで行う各機能
- プリンタ名/ゾーン名の変更
- PostScriptファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整

動作環境

MacOS 8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic環境日本語版が動作するMacintoshでEtherTalkインタフェースを搭載している機種
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

Mac OS Xでは利用できません。

インストールします

プリンタドライバをインストールすると、[MicrolinePS]フォルダ内に[MicrolinePS Utility]も同時にインストールされます。

複数のOSを切り替えて使用するときは、各OSにプリンタドライバをインストールしてください。

起動します

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで[LaserWriter8]をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。

USB接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、[プリンタ]メニューの[省略時プリンタに指定]を選択します。

❷ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]フォルダ内の[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

MicrolinePS Utility

詳しくは
- 「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」(217ページ)
- 「EtherTalkプリンタ名を変更したい」(266ページ)
- 「EtherTalkゾーンを変更したい」(267ページ)
- 「プリンタ内蔵フォントを確認したい」(218ページ)
- 「ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい」(156ページ)
- 「プリンタフォントに置き換えて印刷したい」(144ページ)
- 「コンピュータのフォントで印刷したい」(147ページ)
- 「写真の印刷濃度を調整したい(ハーフトーン調整)」(202ページ)
- 「内蔵ハードディスク(オプション)を初期化したい」(220ページ)

をご覧ください。

PSハーフトーン調整ユーティリティ

以下の設定をMac OS Xで行うユーティリティです。

- ハーフトーン調整

動作環境

Mac OS X 10.1から10.3.1日本語版が動作するMacintosh

MacOS 8.1から9.2.2では利用できません。

インストールします

プリンタドライバをインストールすると、[アプリケーション]-[OKIDATA]フォルダ(Mac OS X 10.1.Xでは[Applications]-[OKIDATA]フォルダ)内に[PSハーフトーン調整ユーティリティ]も同時にインストールされます。

起動します

[アプリケーション]-[OKIDATA]フォルダ(Mac OS X 10.1.Xでは[Applications]-[OKIDATA]フォルダ)内の[PSハーフトーン調整ユーティリティ]をダブルクリックします。

詳しくは

- 「写真の印刷濃度を調整したい(ハーフトーン調整)」(202ページ)

をご覧ください。

Webブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上、SafariもしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

メモ お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.xの場合は、[表示]メニューの[セキュリティ]-[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.xの場合は、[編集]メニューの[設定]-[詳細]-[すべてのCookieを受け付ける]に設定します。

Netscape Navigator 6.x～7の場合は、[編集]メニューの[設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[Cookie]-[すべてのCookieを有効にする]に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：ML5400
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.5.2

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

起動します

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

(例) 正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

[プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認：]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。

設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定します

注 Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザーID]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

注 パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❸ 必要な設定をした後、[送信]をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザーID]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

❸ [メンテナンス]タブをクリックします。

❹ [パスワード設定]をクリックします。

❺ [新しいパスワードの入力]に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力]に再度新しいパスワードを入力します。

注
- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❻ [送信]をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、[Accepted]が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

このパスワードはTELNET、Setup Utilityのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、Setup Utilityのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［印刷メニュー］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［メディアメニュー］

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラーメニュー］

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成メニュー］

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［エミュレーション］

サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インタフェースメニュー］

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリメニュー］

受信バッファサイズの設定。受信バッファ中のデータ消去を実行します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

［一般設定］

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

1）System Contact ......
管理者への連絡先記載エリア

2）System Name ....
プリンタの名称記載エリア

3）System Location .....
プリンタの置き場所記載エリア

［TCP/IP］

TCP/IPに関する情報を設定できます。

［NetWare］

NetWareに関する情報を設定できます。

［EtherTalk］

EtherTalkに関する情報を設定できます。

［NetBEUI/WINS］

NetBEUI/WINSに関する情報を設定できます。

［Email設定］

プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。

［SNMP Traps］

プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。

［IPP］

IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［ジョブキュー］

プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［設定ページの印刷］

メニューマップ、ネットワークの設定情報（Network Information）、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報（Network Information）は一緒に印刷されます。デモページを上記印刷と同時に印刷させることはできません。

［再起動/初期化］

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

工場出荷時設定

プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

［操作パネルのロック］

操作パネル（オペレータパネル）の操作を禁止状態に設定します。

［サービスの設定］

ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

［LANの規模の設定］

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

［IPフィルタリング］

TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います」（254ページ）をご覧ください。「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［Hexダンプ］

受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［パスワード設定］

管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

リンク　タブ

［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

［リンク編集メニュー］

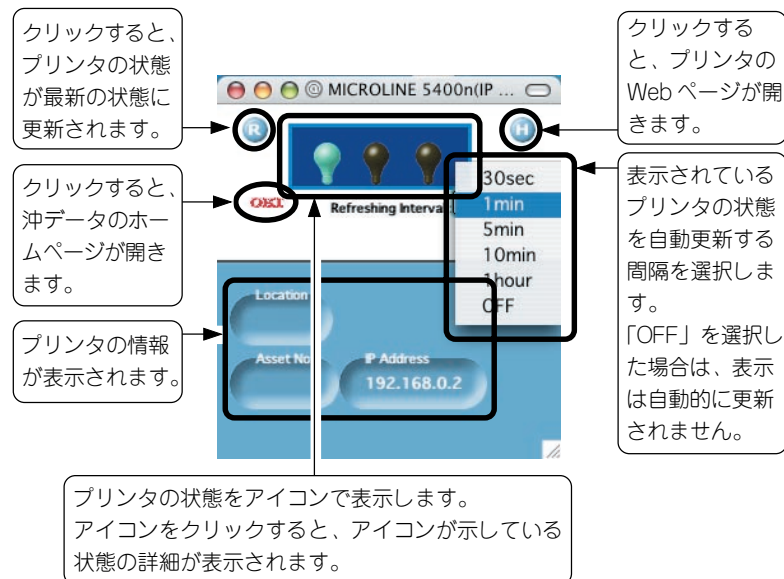
管理者が好きなURLを設定できます。

サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。

URLは、http://も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

「Webブラウザ」(77ページ)の「動作環境」を確認してください。

機能説明

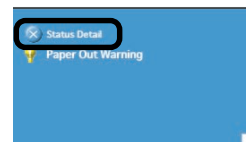
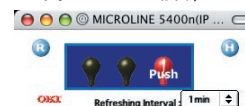
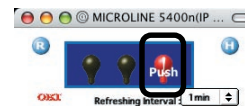
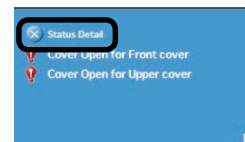
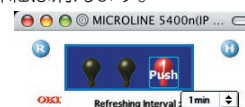
プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害（印刷は可能）	軽障害なし
右のランプ	重障害（印刷は不可能）	重障害なし

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

［×］ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

〈カバーが開いている場合〉

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

［×］ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

Setup Utility

プリンタのネットワークの設定ができます。

動作環境

MacOS8.1〜9.2.2日本語版
TCP/IPが動作しているMacintosh

・MacintoshにTCP/IPの設定が必要です。[コントロールパネル]-[TCP/IP]で設定を行ってください。
・Mac OS X、Mac OS X Classic環境には対応していません。

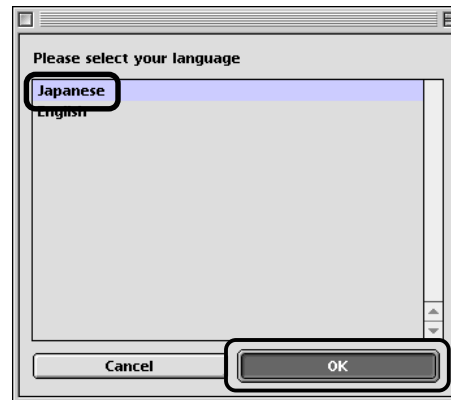
起動します

すでにSetup Utilityがインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ Macintoshが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [Utility]-[Network]フォルダの中の[Installer]をダブルクリックします。

❹ [Japanese]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

初期設定では、Macintosh HDの[Oki Tools]フォルダにインストールされます。

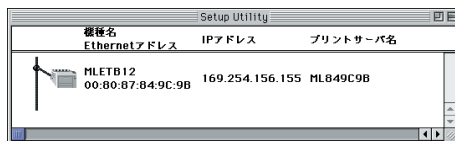
❻ [Setup Utilityを起動しますか？]で[はい]を選択し、[完了]をクリックします。

Setup Utilityが起動します。

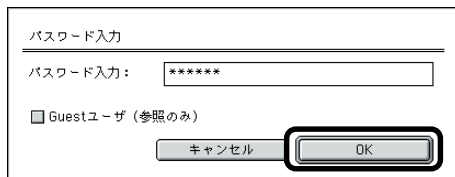
Oki Deviceの設定

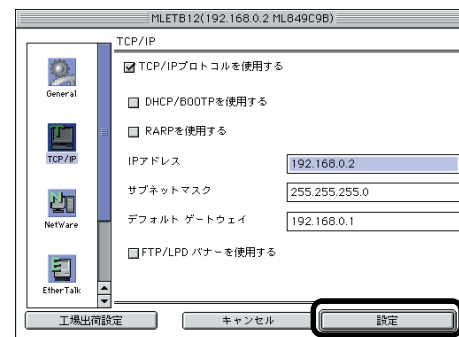
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(232ページ)をご覧ください。

❶一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❷[設定]メニューの[Oki Deviceの設定]を選択します。

❸[パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「イーサネットアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹必要な項目を設定し、[設定]をクリックします。

❺設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

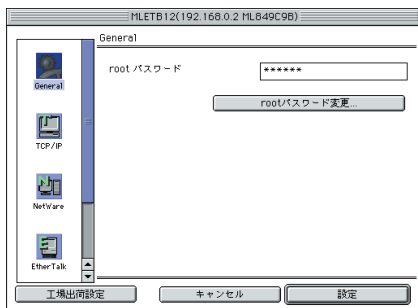
❻新しい設定値を有効にするため、[OK]をクリックします。

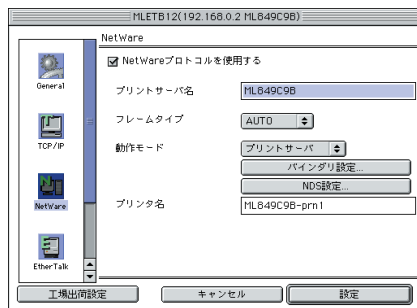
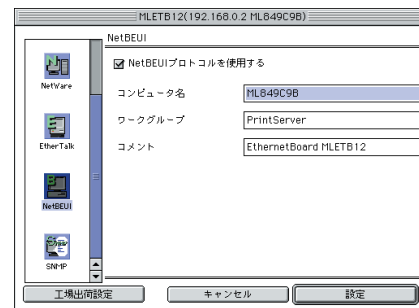
注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❼プリンタの電源をOFF/ONします。

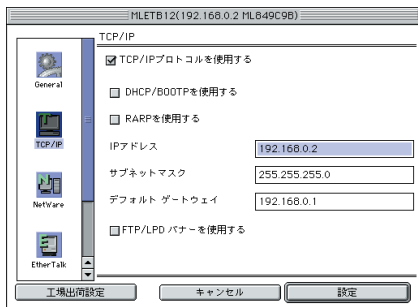
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

❽Setup Utilityを終了します。

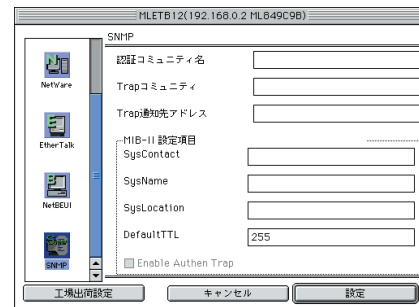
General

パスワードを変更します。

NetWare

NetWareを利用する場合に設定します。（279ページ）

NetBEUI

NetBEUIを利用する場合に設定します。

TCP/IP

IPアドレスなどの設定をします。

EtherTalk

EtherTalkプリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMP

SNMPを利用する場合に設定します。

3 いろいろな用紙に印刷するための設定

- この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは[TextEdit]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。
- Mac OS X 10.0から10.0.4では[プリンタの機能]パネル内の機能は使用できません。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

メモ 使用できるはがき・封筒の種類については、「使用できる用紙」（セットアップ編）をご覧ください。

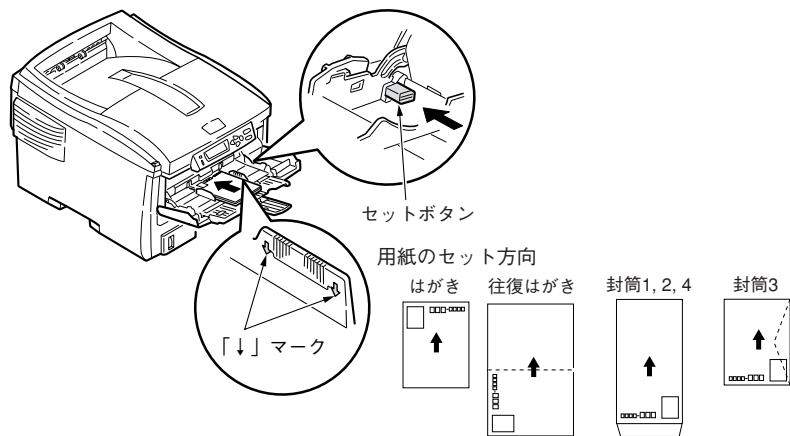
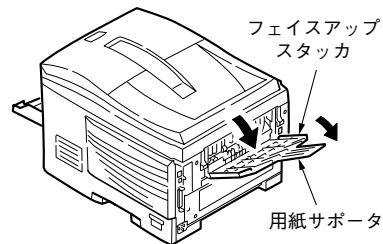
1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくは「10　印刷します」（セットアップ編）の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。

メモ
- マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「10　印刷します」（セットアップ編）の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。
- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷や、両面印刷（オプション）はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

セットボタン
「↓」マーク

用紙のセット方向

はがき　往復はがき　封筒1, 2, 4　封筒3

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。（セットアップ編 43 ページを参照）

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

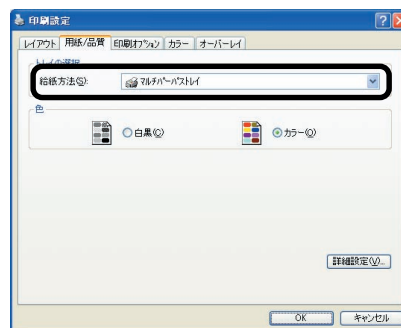
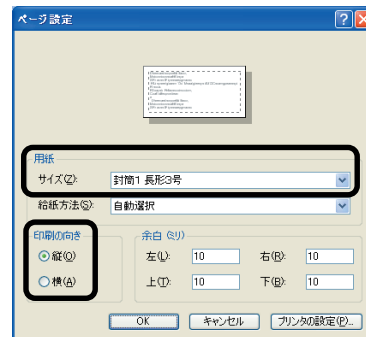
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒1］〜［封筒4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

- 封筒1〜4で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒1〜4で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［プロパティ］をクリックし、［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］の［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PS プリンタドライバ

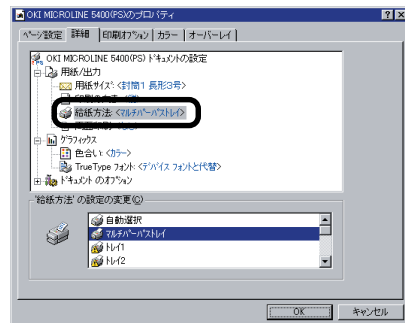
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒1］〜［封筒4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

- 封筒1〜4で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒1〜4で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

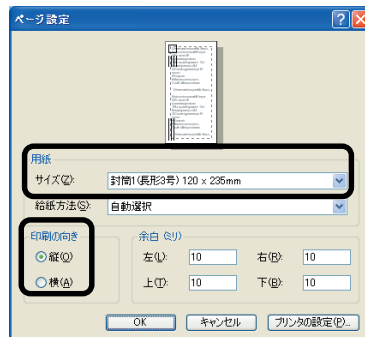
❷ [サイズ]で[はがき]、[往復はがき]または[封筒1]～[封筒4]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]をクリックします。

❺ [詳細]タブの[給紙方法]で[マルチパーパストレイ]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ

- 封筒1～4で、縦長(長形でフラップ(のりしろ)が上になる向き)に印刷する場合、「ページ設定」画面の[印刷の向き]で[横]を選択します。
- 封筒1～4で、横長(長形でフラップ(のりしろ)が右側になる向き)に印刷する場合、「ページ設定」画面の[印刷の向き]で[縦]を選択します。「印刷」画面の[プロパティ]をクリックし、[詳細]タブの[180°]で[回転あり]を選択します。

❻ 「印刷」画面で[OK]をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[はがき]、[往復はがき]または[封筒1]～[封筒4]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺ [設定]タブの[給紙方法]で[マルチパーパストレイ]を選択し、[OK]をクリックします。(Windows2000では、[OK]をクリックする必要はありません。)

❻ 「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

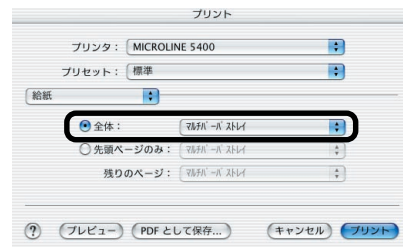
❷ [用紙]で[はがき]、[往復はがき]または[封筒1]～[封筒4]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [給紙元]で[マルチパーパストレイ]を選択します。

- 封筒1～4で、縦長(長形でフラップ(のりしろ)が上になる向き)に印刷する場合、「用紙設定」画面の[方向]で横方向を選択します。
- 封筒1～4で、横長(長形でフラップ(のりしろ)が右側になる向き)に印刷する場合、「用紙設定」画面の[方向]で縦方向を選択します。[ファイル]の「プリント」画面の[ジョブオプション]パネルで[180°]にチェックを付けます。

❺ [プリント]をクリックし、印刷します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [対象プリンタ]でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]または[封筒1]～[封筒4]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [プリンタ]でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ [給紙]パネルで[マルチパーパストレイ]を選択します。

- 封筒1～4で、縦長(長形でフラップ(のりしろ)が上になる向き)に印刷する場合、「ページ設定」画面の[方向]で縦方向を選択します。[ファイル]の「プリント」画面の[プリンタ機能]パネルの[印刷オプション]機能セットで[180°]にチェックを付けます。
- 封筒1～4で、横長(長形でフラップ(のりしろ)が右側になる向き)に印刷する場合、「ページ設定」画面の[方向]で横方向(中央のアイコン)を選択します。

❻ [プリント]をクリックし、印刷します。

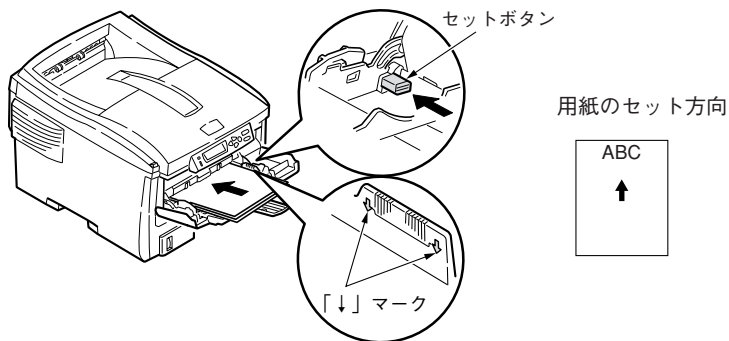
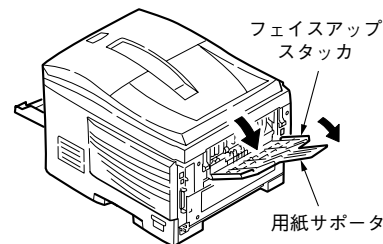
ラベル紙、OHPシートに印刷したい

メモ 使用できるラベル紙・OHPシートの種類については、「使用できる用紙」（セットアップ編）をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙、OHP シートはマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくは「10　印刷します」（セットアップ編）の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。

メモ
- マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「10　印刷します」（セットアップ編）の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。
- ラベル紙、OHPシートは用紙カセットからの印刷や、両面印刷（オプション）はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

用紙のセット方向

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。（セットアップ編 43 ページを参照）

4 操作パネルでメディアタイプを設定します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［MPトレイ　メディアタイプ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［ラベルシ］または［OHP］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

5 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PS プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❷ [用紙]で[A4]または[レター]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [給紙元]で[マルチパーパストレイ]を選択します。

❺ [プリント]をクリックし、印刷します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [対象プリンタ]でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ]で[A4]または[レター]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [プリンタ]でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

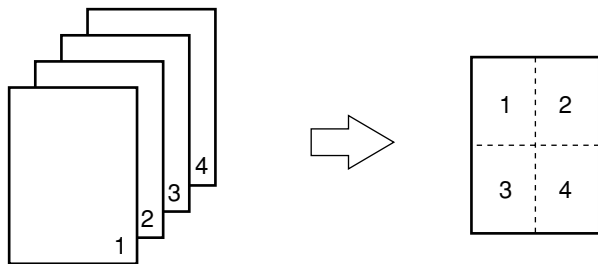
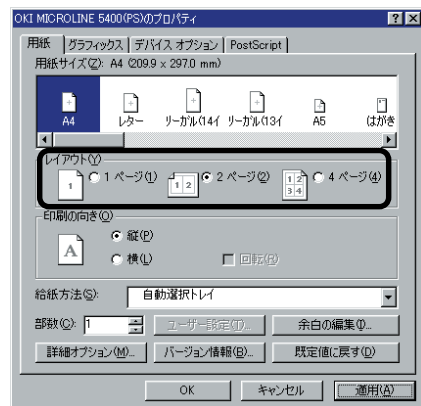
❺ [給紙]パネルで[マルチパーパストレイ]を選択します。

❻ [プリント]をクリックし、印刷します。

4 便利な印刷機能

・この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは[TextEdit]を例にしています。
・アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
・プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
・プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。
・Mac OS X 10.0から10.0.4では[プリンタの機能]パネル内の機能は使用できません。
・WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで全ての機能を使用するためには、「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」を使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。
・「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」は、マイクロソフト社ホームページの「Service Pack 6a CD-ROM申し込みのご案内」ページから入手することができます。

複数ページを1枚に印刷したい

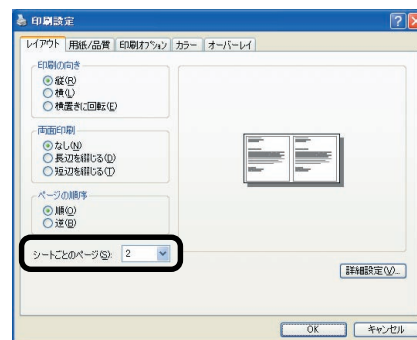
複数ページのデータを1枚の用紙に縮小して印刷できます。

・この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
・Windows PCLプリンタドライバではとじしろも設定できます。
・アプリケーションによっては利用できない場合があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷[OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸[用紙]タブの[レイアウト]を選択します。

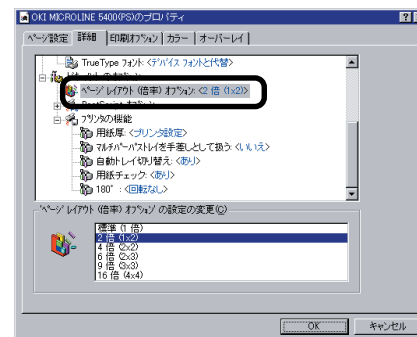
レイアウト
　割り付けるページ数、配置を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

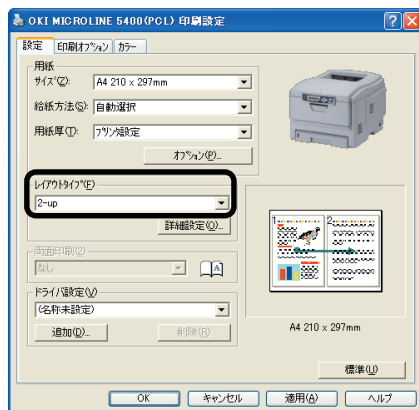
❹[レイアウト]タブの[シートごとのページ]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[詳細]タブの[ページレイアウト（倍率）オプション]で[n倍]（nは1枚に印刷するページ数）を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[設定]タブの[レイアウトタイプ]で[n-up](nは1枚に印刷するページ数)を選択します。

❺[詳細設定]をクリックし、必要に応じて[枠線]、[ページ配置]、[とじ代]を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

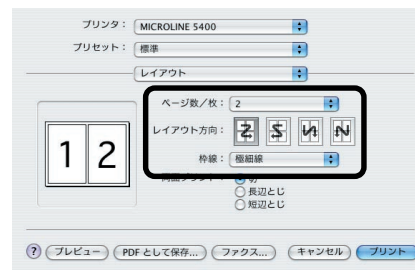
❸[レイアウト]パネルの[ページ割り付け]、[レイアウト方向]、[枠線]を選択します。

ページ割り付け

割り付けるページ数、配置を選択します。
必ず[2ページ分]、[4ページ分]…を選択してください。[4(縦方向)]、[6(縦方向)]…は選択しないでください。

枠線

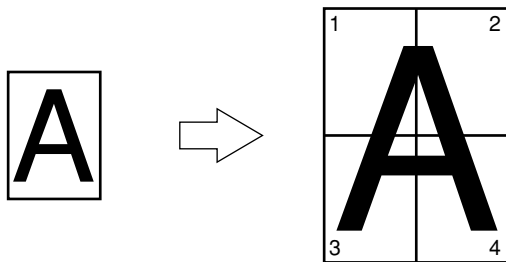
各ページを枠線で囲むことができます。

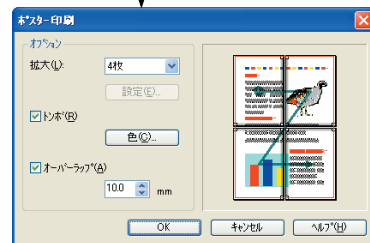
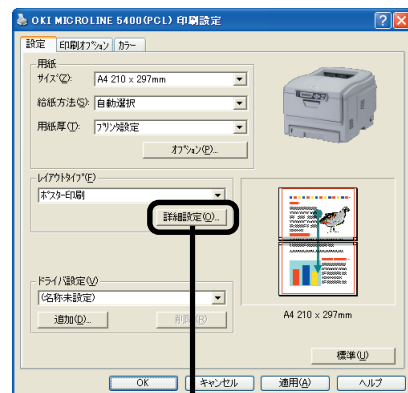
Mac OS Xプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[レイアウト]パネルの[ページ数/枚]、[レイアウト方向]、[枠線]を選択します。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- Windows PCLプリンタドライバのみで利用できます。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000/Server2003で[ポスター印刷]が動作しない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[MLLAPP3]を選択してください。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[レイアウトタイプ]で[ポスター印刷]を選択します。

❺ [詳細設定]をクリックし、必要に応じて[拡大]、[トンボ]、[オーバーラップ]などを設定できます。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

- 長さが355.6mmを超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップで排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定し、プリンタにセットしてください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが355.6mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。
- マルチパーパストレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 用紙カセット（トレイ1、トレイ2）から給紙する場合は、プリンタ側の「メディアメニュー」の「トレイ1　ヨウシサイズ」または「トレイ2　ヨウシサイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- WindowsNT4.0プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- PSプリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」または「はやい」を設定すると正しく印刷できる場合があります。
- 幅が100mm未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、デフォルト設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。
- Mac OS X 10.0〜10.2.3では利用できません。

［設定できるサイズ］

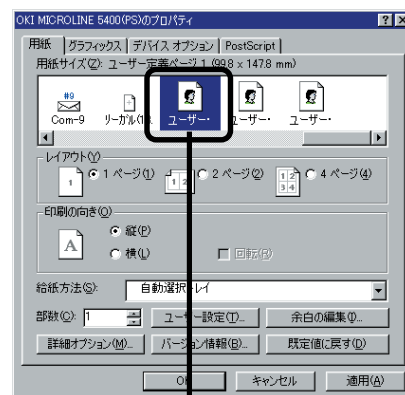
幅　：100〜215.9mm
長さ：148〜1200mm

［用紙カセットから給紙できるサイズ］

	トレイ1	トレイ2
幅	：105〜215.9mm	148〜215.9mm
長さ	：148〜355.6mm	210〜355.6mm

［両面印刷できるサイズ］

幅　：148〜215.9mm
長さ：210〜355.6mm

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

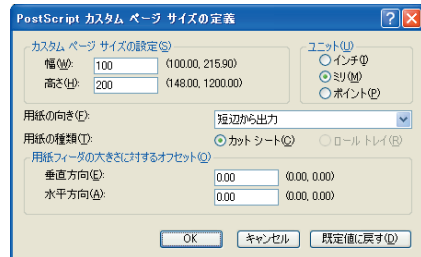
❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［用紙］タブの［用紙サイズ］の中から［ユーザー定義ページ1］を選択します。

❹［ユーザー設定］をクリックし、「ユーザー定義サイズ」画面で［用紙名］、［幅］、［長さ］、［横置き］を入力、または選択します。

❺［OK］をクリックします。

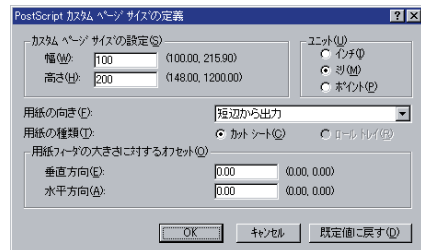
［ユーザー定義ページ］は1〜3までの3つが選択でき、それぞれに任意の値を入力できます。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

❹ [用紙サイズ]で[PostScriptカスタムページサイズ]を選択します。

❺「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で[幅]と[高さ]を入力します。

❻ [OK]をクリックします。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

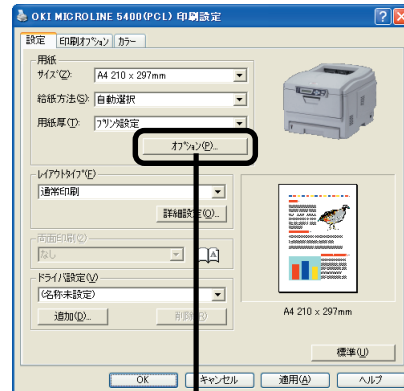
❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ [詳細]タブの[用紙サイズ]で[PostScriptカスタムページサイズ]を選択します。

❹「PostScriptカスタムページサイズ定義」画面で[幅]と[高さ]を入力します。

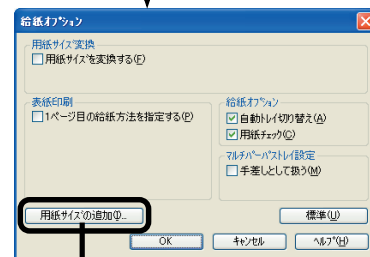
❺ [OK]をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

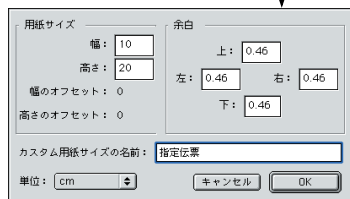
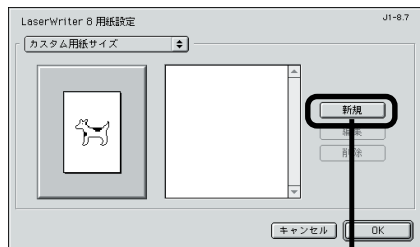
WindowsNT4.0の場合
[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で[用紙サイズの追加]をクリックします。

❺「用紙サイズの追加」画面で[名称]、[幅]、[長さ]を入力します。

❻ [追加]をクリックします。

作成した用紙は、[設定]タブの[サイズ]リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

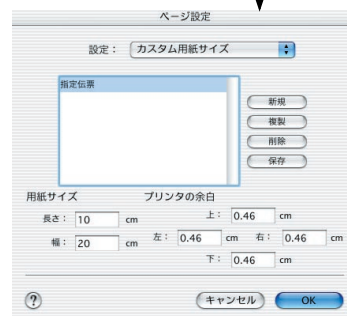
❸[カスタム用紙サイズ]パネルで[新規]をクリックし、[幅]と[高さ]、[カスタム用紙サイズの名前]を入力します。

余白
上下左右の余白を設定します。

❹[OK]をクリックします。

作成した用紙は、[ページ属性]パネルの[用紙]リストの下の方に表示されます。

Mac OS Xプリンタドライバ

Mac OS X 10.2.3以前のバージョンでは利用できません。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

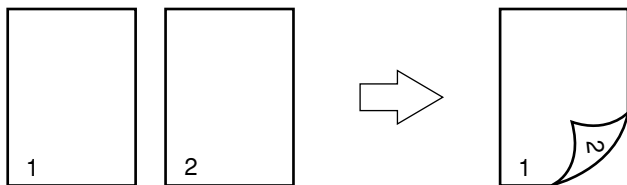
❸[カスタム用紙サイズ]パネルの[新規]をクリックします。

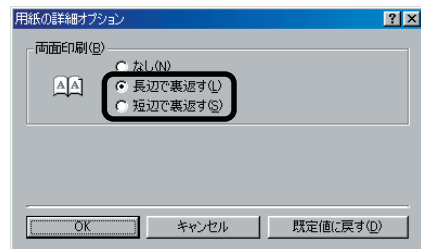
❹「カスタム用紙サイズ編集」画面で、[カスタム用紙サイズの名前]、[幅]、[長さ]を入力します。

❺[保存]をクリックします。

作成した用紙は[ページ属性]パネルの[用紙サイズ]リストの下の方に表示されます。

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。

- オプションの両面印刷ユニットが必要です。
- 両面印刷する場合は、64MBのメモリの増設を推奨します。
- プリンタドライバで両面印刷ユニットを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷ユニット」(セットアップ編)をご覧ください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 両面印刷できる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。A6用紙は使用できません。
- 両面印刷できるカスタムサイズの幅の長さの範囲については、「任意の用紙サイズに印刷したい」(103ページ)をご覧ください。
- 両面印刷できる用紙の厚さは、連量55kg〜90kg(64〜105g/m²)です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

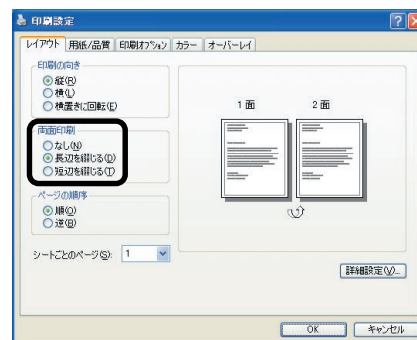
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [用紙]タブの[詳細オプション]をクリックします。

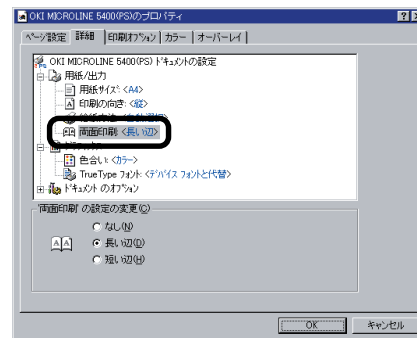
❺ [両面印刷]で[長辺で裏返す]または[短辺で裏返す]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [レイアウト]タブの[両面印刷]で[長辺を綴じる]または[短辺を綴じる]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[両面印刷]で[長い辺]または[短い辺]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

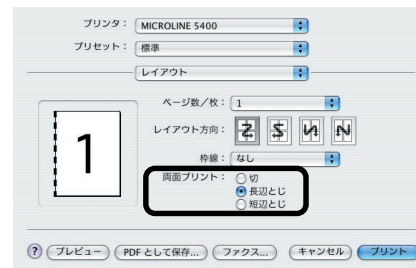
❹[設定]タブの[両面印刷]で[長辺とじ]または[短辺とじ]を選択します。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[レイアウト]パネルの[両面にプリント]にチェックを付け、[とじしろ]のアイコンを選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

(Mac OS X 10.3未満の場合)

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[レイアウト]パネルの[両面プリント]で[長辺とじ]または[短辺とじ]を選択します。Mac OS X 10.3未満では、[両面印刷]パネルの[両面にプリントする]にチェックを付け、[製本]のアイコンを選択します。

モノクロ(白黒)を高速で印刷したい

モノクロ(白黒)ページを高速(24ページ/分)で印刷します。
操作パネルでは4種類の設定ができます。

プリンタドライバでの設定方法

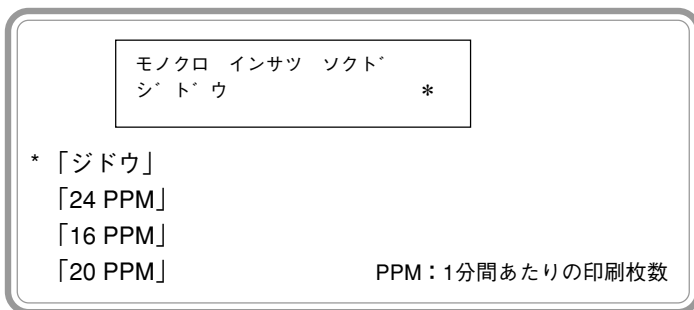
プリンタドライバでの設定方法は、「モノクロ(白黒)で印刷したい」(194ページ)をご覧ください。モノクロを高速(24ページ/分)で印刷することができます。

操作パネルでの設定方法

操作パネルでモノクロインサツソクドを設定します。

```
モノクロ　インサツ　ソクド゛
シ゛ ト゛ ウ                *
```

* 「ジドウ」
「24 PPM」
「16 PPM」
「20 PPM」

PPM：1分間あたりの印刷枚数

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インサツ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[モノクロ　インサツ　ソクド]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

〈「ジドウ」の場合〉
印刷速度とイメージドラム寿命がバランス良く動作するよう制御します。
通常は[ジドウ]のままご利用ください。ジョブの先頭がモノクロページの場合に20PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると16PPMに印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。

〈「24PPM」の場合〉
モノクロの大量印刷に適しています。ジョブの先頭がモノクロページの場合に24PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると16PPMに印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。[ジドウ]、[16PPM]、[20PPM]と比較し、モノクロ・カラーページが切り替わる際の待ち時間が長くなります。

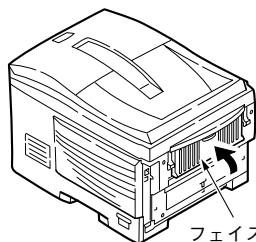
〈「16PPM」の場合〉
カラーの大量印刷に適しています。モノクロ・カラーページいずれの場合も常に16PPMで印字しますのでモノクロ・カラーページの切り替わる際の待ち時間はありませんが、カラー(YMC)イメージドラムの寿命が短くなります。

〈「20PPM」の場合〉
1つのジョブ内でカラーページの後にモノクロページを大量に含むデータを印刷する場合に適しています。モノクロページは常に20PPM、カラーページは常に16PPMで印刷します。モノクロ・カラーページが切り替わる際に待ち時間が発生しますが、[ジドウ]、[24PPM]、[16PPM]と比較し、カラー(YMC)イメージドラムの寿命を延ばすことができます。

ページ順に取り出したい

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。
二通りの方法があります。

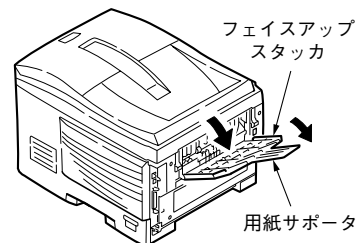
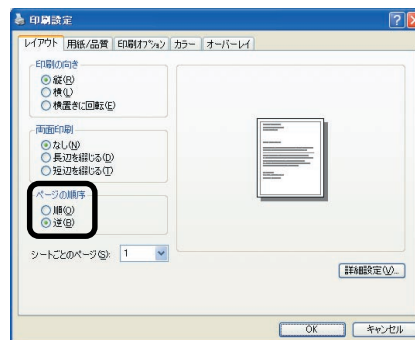
フェイスダウンスタッカに排出する

印刷面が下になって排出されます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

連量が151～172kg（176～200g/m²）の用紙、A6サイズ、長さが355.6mmを超えるカスタムサイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する

印刷面が上になって排出されます。

WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ1、トレイ2（オプション）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず操作パネルでトレイ1、トレイ2（オプション）、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- メニュー設定の「MPトレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「ショウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルでMPトレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インサツ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、[MPトレイ　ノ　ツカイカタ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、[ヨウシチガイ　ノ　トキ]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

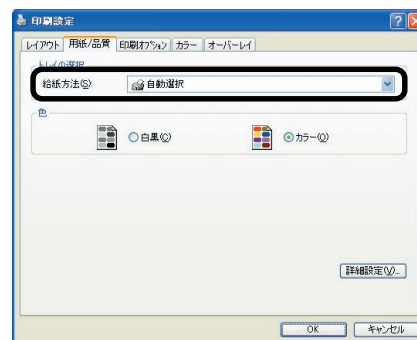
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

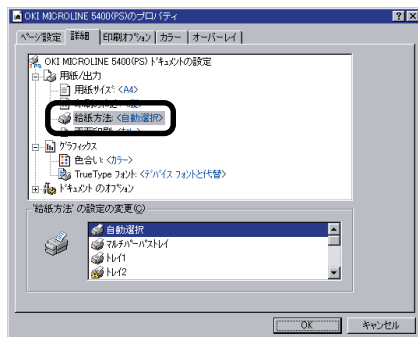
❹ [用紙]タブの[給紙方法]で[自動選択トレイ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

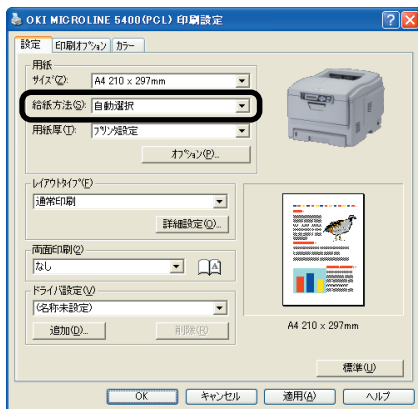
❹ [用紙/品質]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[詳細]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[設定]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[一般設定]パネルの[給紙元]で[全体]、[自動選択]を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

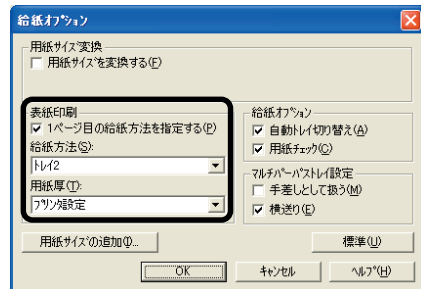
❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[給紙]パネルで[全体]、[自動選択]を選択します。

表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで１ページ目を別のトレイから給紙できます。１ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

Windows PSプリンタドライバでは利用できません。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［表紙印刷］の［１ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙元］で［１枚目］のラジオボタンをクリックし、［１枚目］と［残り］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

給紙方法でメディアタイプは指定せずに、必ずトレイを選択してください。

Mac OS Xプリンタドライバ

Mac OS X 10.2.3未満では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［先頭ページのみ］をチェックし、［先頭ページ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ1、トレイ2（オプション）、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

- 必ず操作パネルで、用紙カセットの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- メニュー設定の「MPトレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「ショウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、［MPトレイ　ノ　ツカイカタ］を表示します。

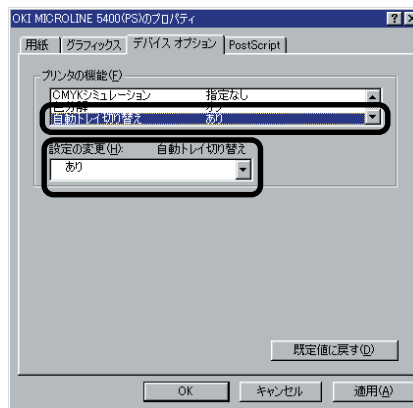
❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、［ヨウシチガイ　ノ　トキ］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

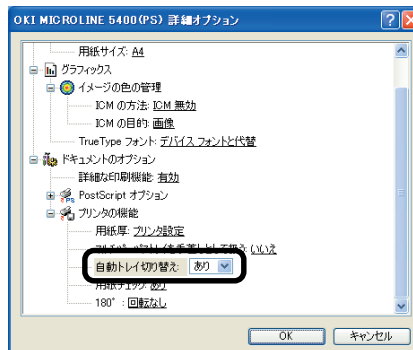
2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［自動トレイ切り替え］を、［設定の変更］で［あり］を選択します。

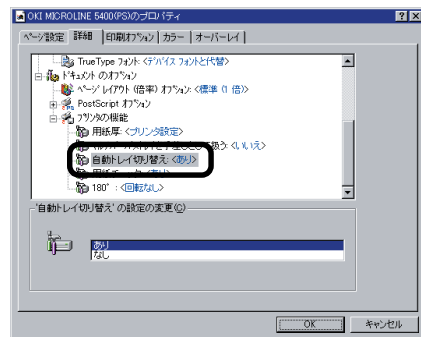
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

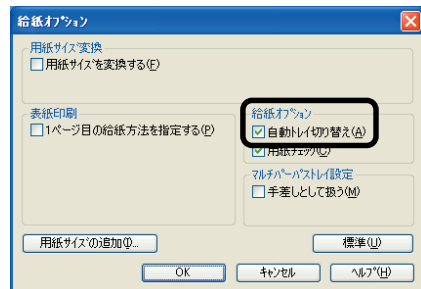
❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[詳細]タブの[プリンタの機能]の[+]をクリックし、[自動トレイ切り替え]で[あり]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

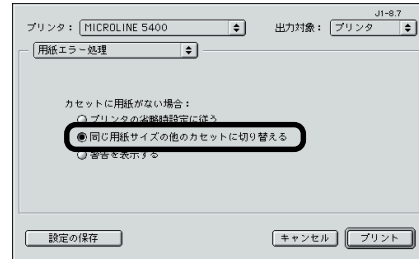
❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

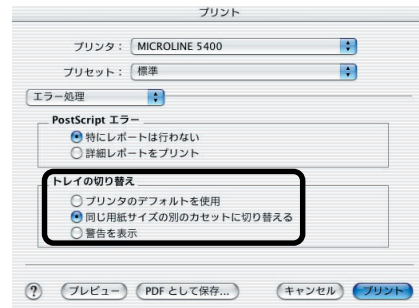
❹[設定]タブの[オプション]をクリックします。

❺[自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

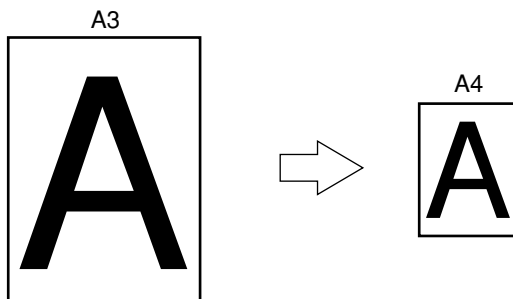
❸[用紙エラー処理]パネルの[カセットに用紙がない場合]で[同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える]を選択します。

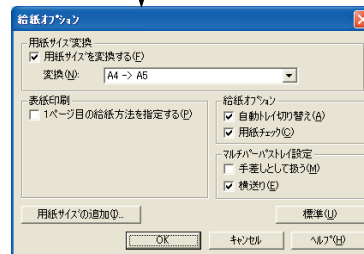
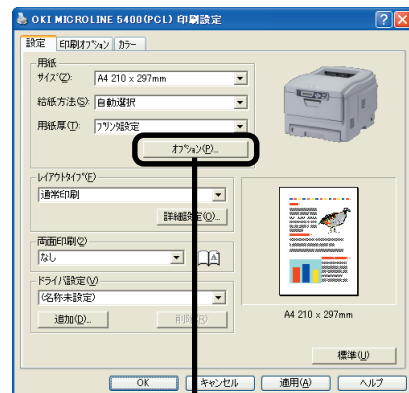
Mac OS Xプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[エラー処理]パネルの[トレイの切り替え]で[同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える]を選択します。

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

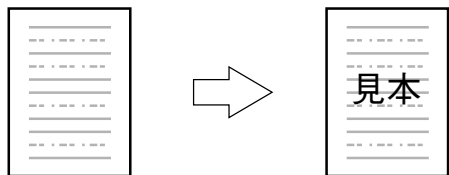
❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

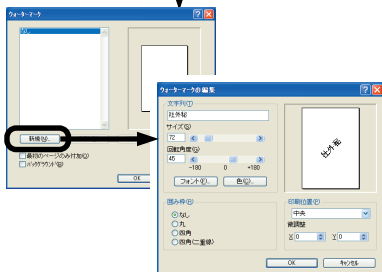
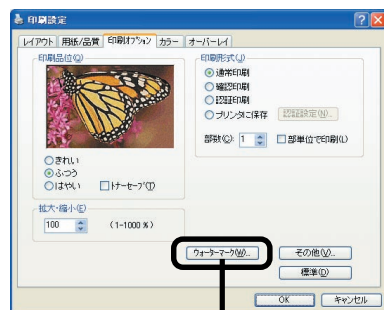
❹ [設定]タブの[サイズ]で編集する用紙サイズを選択します。

❺ [オプション]をクリックします。

❻ [用紙サイズを変換する]にチェックを付け、[変換]で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

アプリケーションから印刷される内容とは独立して[見本]や[社外秘]などの文字を重ね印刷できます。

- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバのウォーターマーク機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

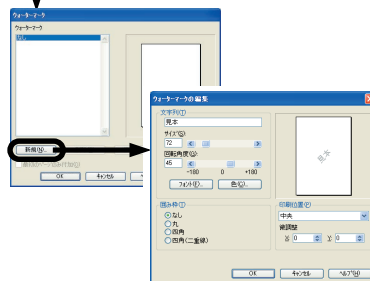
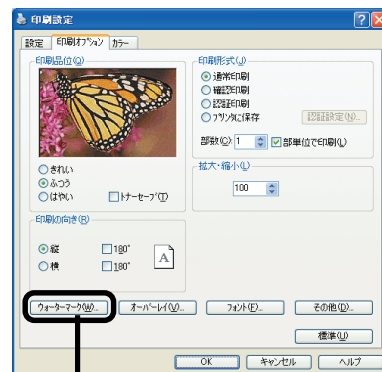
❹ [印刷オプション]タブの[ウォーターマーク]をクリックします。

❺ [新規]をクリックします。

❻「ウォーターマークの編集」画面で[文字列]を入力し[サイズ]他を選択します。

❼ [OK]をクリックします。

- PSプリンタドライバの場合、初期設定ではウォーターマークは書類中の文字や図形の上に重なって印刷されます。文字や図形の下にウォーターマークを印刷したい場合は、[ウォーターマーク]タブで[バックグラウンド]にチェックします。
- [バックグラウンド]にチェックをすると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されないことがあります。この場合は、[バックグラウンド]のチェックを外してください。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブの[ウォーターマーク]をクリックします。

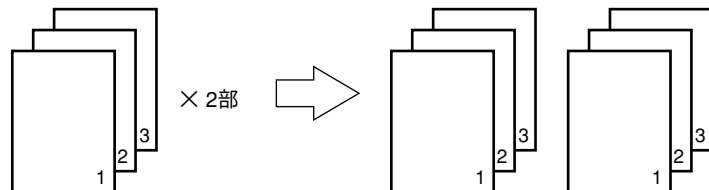
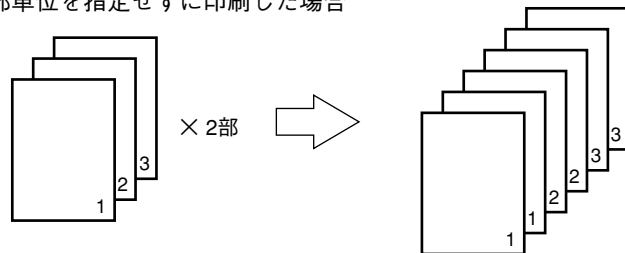
❺ [新規]をクリックします。

❻「ウォーターマークの編集」画面で[文字列]を入力し[サイズ]他を選択します。

❼ [OK]をクリックします。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

- PSプリンタドライバを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- 印刷ジョブを蓄えるメモリの容量が不足した場合、[チョウアイエラー]を表示して一部のみ印刷を行います。「オンライン」スイッチを押すとワーニング表示は消えます。プリンタに内蔵ハードディスクが装着されていると、メモリが不足しても内蔵ハードディスクに蓄えて印刷します。
- Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバではプリンタのメモリを利用しないで印刷することもできます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

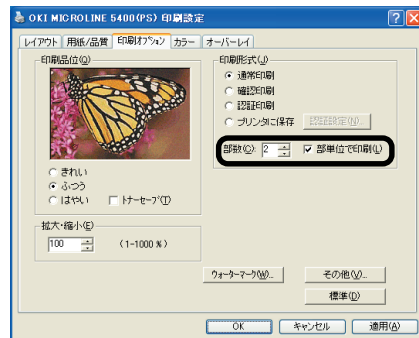
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

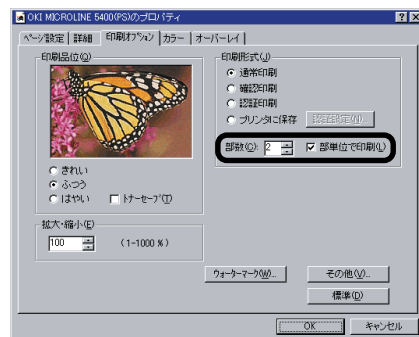
❹ [用紙]タブで[部数]に印刷部数を入力し、[デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[部単位で印刷]を、[設定の変更]で[はい]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力し、[部単位で印刷]にチェックを付けます。

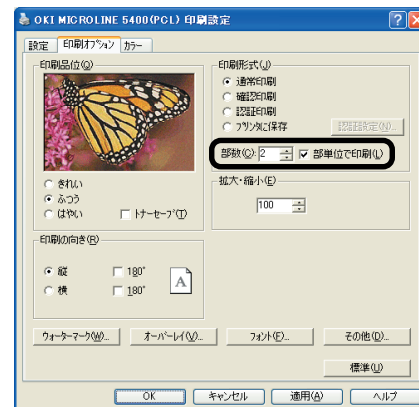
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [印刷オプション]タブの[部数]に印刷部数を入力し、[部単位で印刷]にチェックを付けます。

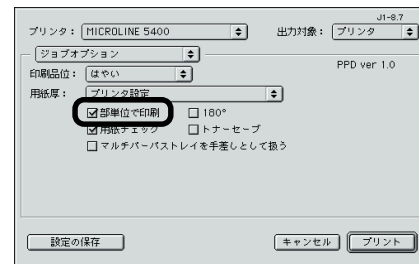
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブで[部数]を入力し、[プリンタの機能]の[部単位で印刷]で[はい]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力し、[部単位で印刷]にチェックを付けます。

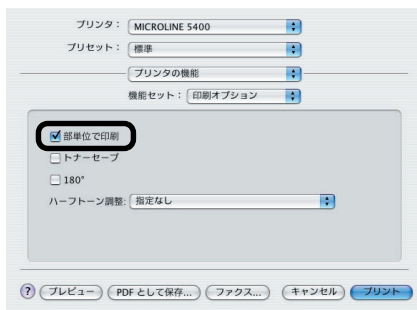
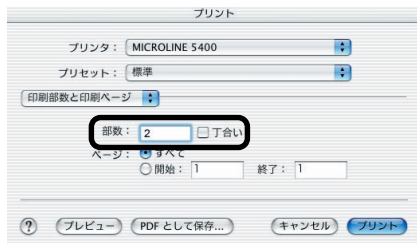
Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [一般設定]パネルの[部数]に印刷部数を入力し、[ジョブオプション]パネルの[部単位で印刷]にチェックを付けます。

[一般設定]パネルの[丁合い]にチェックを付けるとプリンタのメモリを利用しないで印刷します。

Mac OS Xプリンタドライバ

Mac OS X 10.0〜10.0.4では指定できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷部数と印刷ページ]パネルの[丁合い]のチェックを外し、[部数]に印刷部数を入力し、[プリンタの機能]パネルの[印刷オプション]機能セットで[部単位で印刷]にチェックを付けます。

[印刷部数と印刷ページ]パネルの[丁合い]にチェックを付けると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、最初に一部のみ印刷して確認し、その後残りの部数を印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、［ディスク　ファイルシステム　フル］を表示して印刷は行われません。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- 部数は2部以上指定してください。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの確認印刷機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

1 アプリケーションから印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力します。

❺［印刷形式］で［確認印刷］を選択します。

❻「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
　4桁の数字で設定します。

❼印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力します。

❺[印刷形式]で[確認印刷]を選択します。

❻「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❼印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力します。

❺[印刷形式]で[確認印刷]を選択します。

❻「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❼印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[一般設定]パネルの[部数]に印刷部数を入力します。

❹[ジョブタイプ]パネルの[印刷形式]で[確認印刷]を選択し、[ジョブ名]、[パスワード]を入力します。

❺[設定の保存]をクリックし、確認メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。

❻印刷します。

2 印刷結果を確認します。

3 問題がなければ、プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻[ジョブセレクト]で 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ 「設定」スイッチを押します。

❽[COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定」スイッチを押します。

残りの部数の印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❻で「キャンセル」スイッチを押すと[ジョブ　サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL]と表示します。「設定」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ(Windows)でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[スプールジョブの管理]を選択します。

❺ [確認印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(初期値はPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての確認印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、［ディスク　ファイルシステム　フル］を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの認証印刷機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

1 アプリケーションから印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［ジョブタイプ］を、［設定の変更］で［認証印刷］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］で［PASSWORD 1〜4］を選択し、［設定値の変更］で値を設定します。

PASSWORD 1〜4
　4桁のパスワードの各桁の数字を設定します。

❻ 印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[認証印刷]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[認証印刷]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[認証印刷]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ジョブタイプ]パネルの[印刷形式]で[認証印刷]を選択し、[ジョブ名]、[パスワード]を入力します。

❹ [設定の保存]をクリックし、確認メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト]で 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、印刷するジョブ（手順1で入力したジョブ名）を選択します。

❼ 「設定」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定」スイッチを押します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

・パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
・印刷を行わない場合は、手順6で 「キャンセル」スイッチを押すと[ジョブ　サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL]と表示します。「設定」スイッチを押すとジョブを削除できます。
また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[スプールジョブの管理]を選択します。

❺ [認証印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード（初期値はPASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

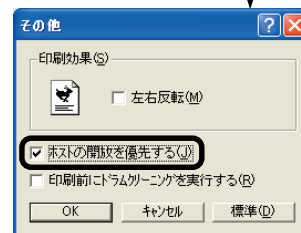
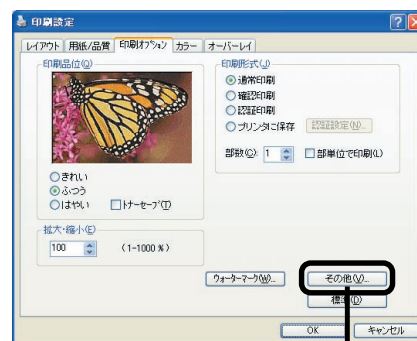
❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

PCの開放を早くしたい(バッファ印刷)

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク(オプション)が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク ファイルシステム フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1 プリンタを設置します」(セットアップ編)の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバのバッファ印刷機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PS/PCLプリンタドライバ

(WindowsXP PSプリンタドライバの画面)

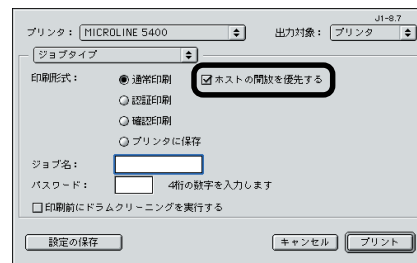
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺ [ホストの開放を優先する]にチェックを付けます。(WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバでは[デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[ホストの開放を優先する]を、[設定の変更]で[オン]を選択します。)

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ジョブタイプ]パネルの[ホストの開放を優先する]にチェックを付けます。

ジョブを保存して繰り返し印刷したい

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存する内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

1 アプリケーションから印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[ジョブタイプ]を、[設定の変更]で[プリンタに保存]を選択します。

❺ [プリンタの機能]で[PASSWORD 1〜4]を選択し、[設定の変更]で値を設定します。

PASSWORD 1〜4
4桁のパスワードの各桁の数字を設定します。

❻ 印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[プリンタに保存]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[プリンタに保存]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブの[印刷形式]で[プリンタに保存]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[ジョブタイプ]パネルの[印刷形式]で[プリンタに保存]を選択し、[ジョブ名]、[パスワード]を入力します。

❹[設定の保存]をクリックし、確認メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。

❺印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト]で「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを押し、印刷するジョブ（手順1で入力したジョブ名）を選択します。

❼ 「設定」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定」スイッチを押します。

印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順6で「キャンセル」スイッチを押すと[ジョブ　サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL]と表示します。「設定」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[スプールジョブの管理]を選択します。

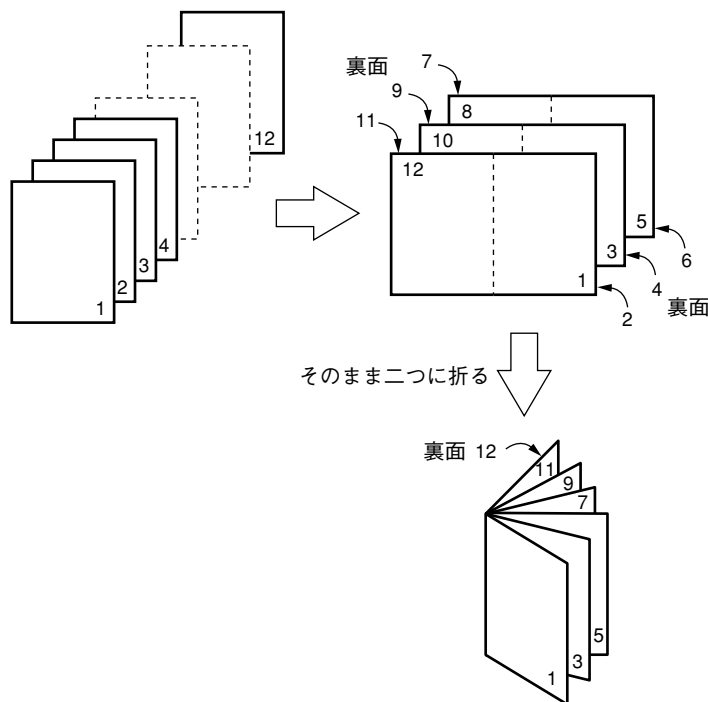
❺ [認証印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード（初期値はPASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- WindowsMe/98/95, NT4.0 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- オプションの両面印刷ユニットが必要です。
- プリンタドライバで両面印刷ユニットを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷ユニット」（セットアップ編）をご覧ください。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

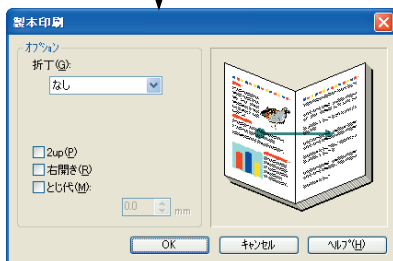
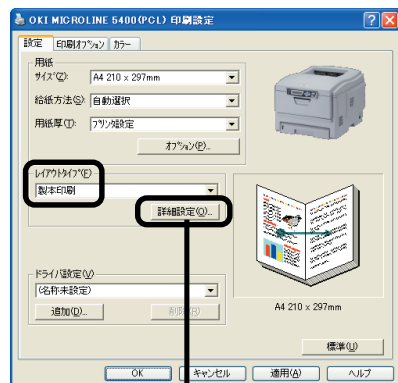
❺［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

（例） A4サイズの用紙を使用してA5サイズの小冊子を作る場合

［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

Windows PCLプリンタドライバ

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000/Server2003で[製本印刷]が選択できない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[MLLAPP3]を選択してください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定]タブの[レイアウトタイプ]で[製本印刷]を選択します。

❺ [詳細設定]をクリックし、必要に応じて[折丁]、[2up]、[右開き]、[とじ代]を設定します。

折丁
製本するページの単位です。

右開き
小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ [設定]タブの[サイズ]で用紙サイズを選択し、[オプション]をクリックして[用紙サイズを変換する]にチェックを付けて、[変換]で該当する値を選択します。

メモ （例） A4サイズの用紙を使用してA5サイズの小冊子を作る場合
[詳細設定]の[用紙サイズ]で[A4]を選択します。

フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク(オプション)が装着されている場合に利用できます。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」(72ページ)をご覧ください。
- Windows PSプリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバのフォームオーバーレイ機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PSプリンタドライバ

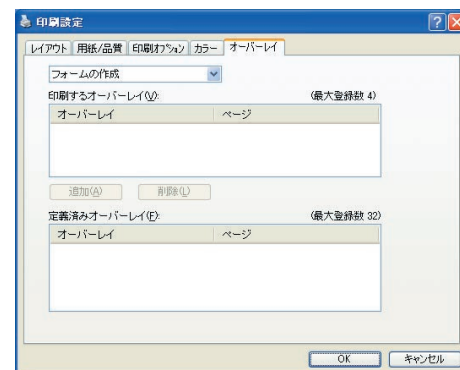
1 フォームを作成します。

❶[印刷先のポート]を[FILE:]にします。詳しくは、「印刷データをファイルに出力したい」(154ページ)をご覧ください。

❷アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺[オーバーレイ]タブの[フォームの作成]を選択します。

(WindowsXPの画面)

❻印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼[印刷先のポート]を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

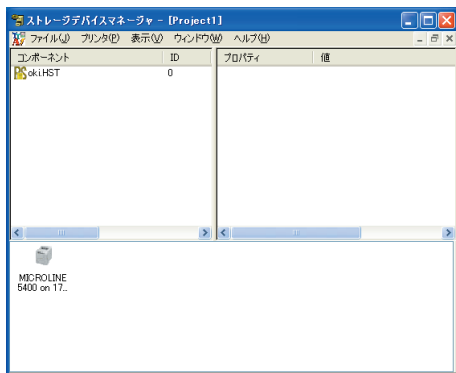
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ [ファイル]メニューから[プロジェクトの新規作成]を選択します。

❺ [ファイル]メニューの[プロジェクトへファイルの追加]を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、[OK]をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル]メニューから[プロジェクトの送信]を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で[OK]をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

4

フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ プロパティを開きます。

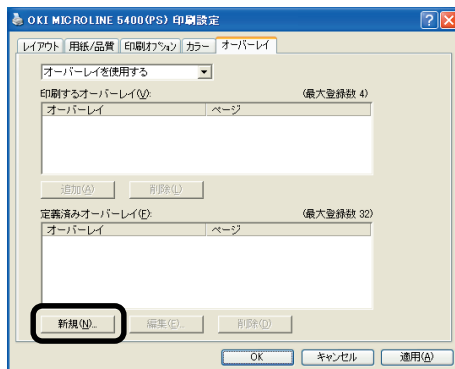
WindowsXP/2000/Server2003の場合

[OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

WindowsNT4.0の場合

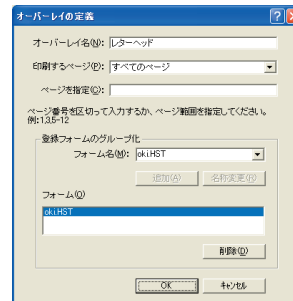
[OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

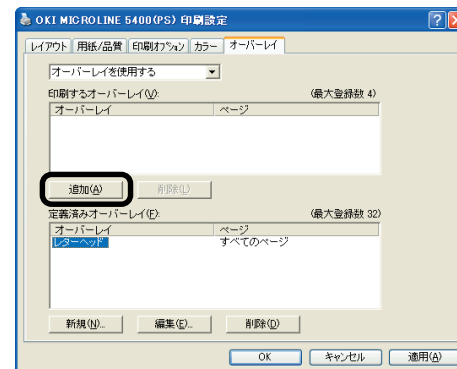
❸ オーバーレイを使用する設定をします。

[オーバーレイ]タブで[オーバーレイを使用する]を選択します。

❹ [新規]をクリックします。

❺ [フォーム名]にOKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、[追加]をクリックします。

❻ [オーバーレイ名]を入力し、[印刷するページ]でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、[ページを指定]に適用するページを入力します。

メモ オーバーレイは、フォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [OK]をクリックします。

❽ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

❾ 印刷します。

Windows PCLプリンタドライバ

1 フォームを作成します。

❶ [印刷先のポート]を[FILE:]にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」(154ページ)をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ [印刷先のポート]を元に戻します。

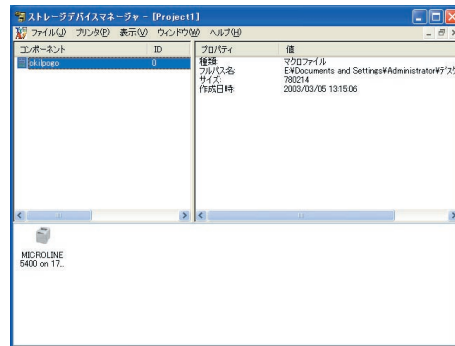
2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ [ファイル]メニューから[プロジェクトの新規作成]を選択します。

❺ [ファイル]メニューの[プロジェクトへファイルの追加]を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID]に任意の数字を入力し、[OK]をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル]メニューから[プロジェクトの送信]を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で[OK]をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

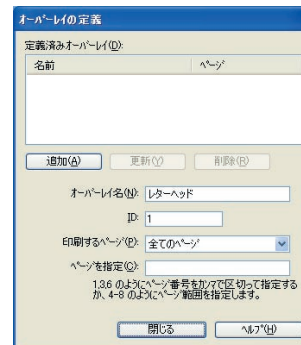
❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブの[オーバーレイ]をクリックします。

❺「オーバーレイ」画面の[オーバーレイを使用する]にチェックを付け、[オーバーレイの定義]をクリックします。

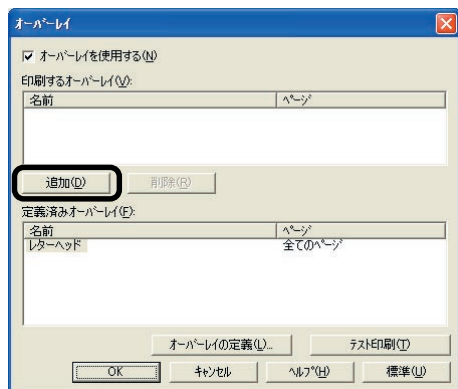
❻[オーバーレイ名]を入力し、[ID]にOKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームのIDを入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのID(フォームファイル)を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼[印刷するページ]でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、[ページを指定]に適用するページを入力します。

❽[追加]をクリックします。

❾[閉じる]をクリックします。

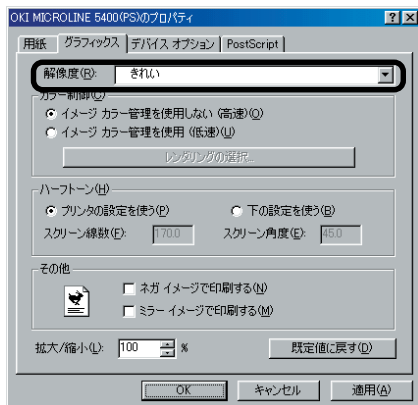
4 フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

⓫ 印刷します。

高解像度で印刷したい

600×1200dpiの高解像度で印刷することができます。

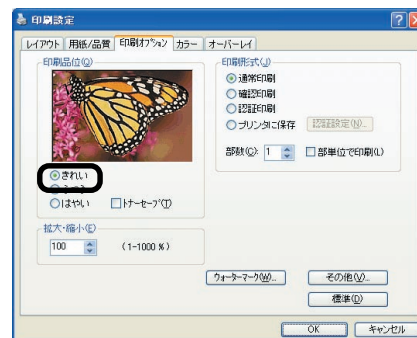
- PSプリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、[印刷品位]で「ふつう」または「はやい」を設定すると正しく印刷できる場合があります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

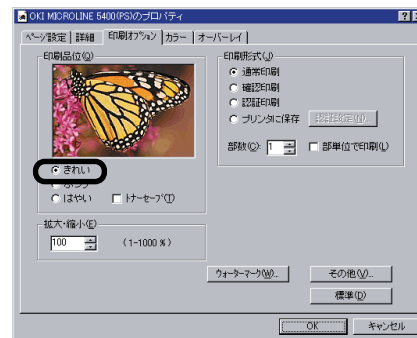
❹ [グラフィックス]タブの[解像度]で[きれい]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

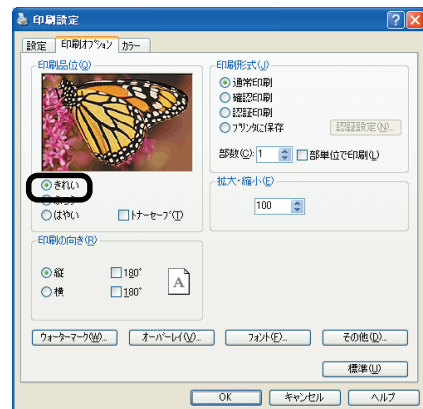
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [印刷オプション]タブの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

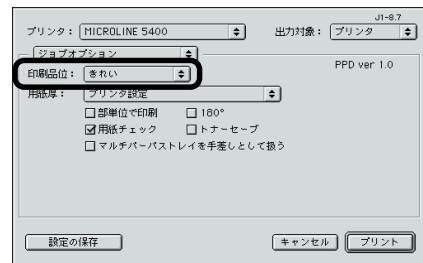
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[グラフィックス]の[解像度]で[1200]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ジョブオプション]パネルの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

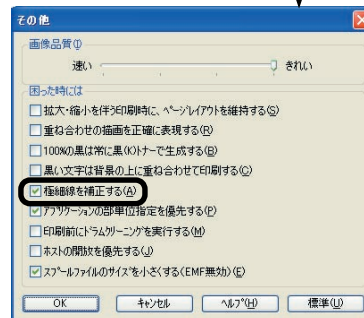
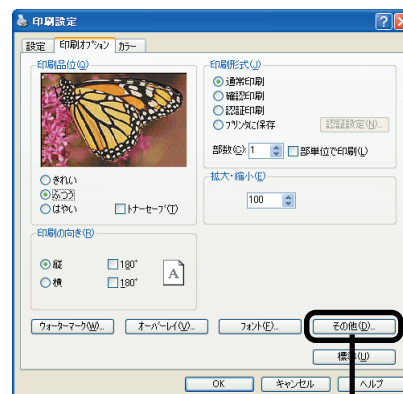
❸ [プリンタ機能]パネルの[印刷品位]機能セットで[印刷品位]で[きれい]を選択します。

細線がかすれるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

Windows PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

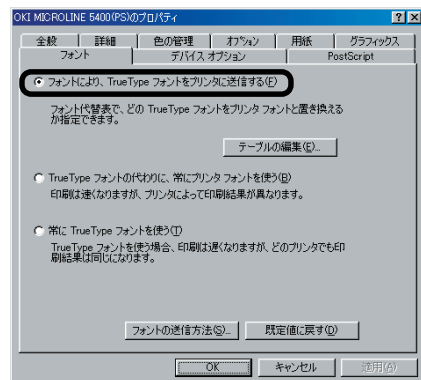
❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺ [極細線を補正する]にチェックを付けます。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

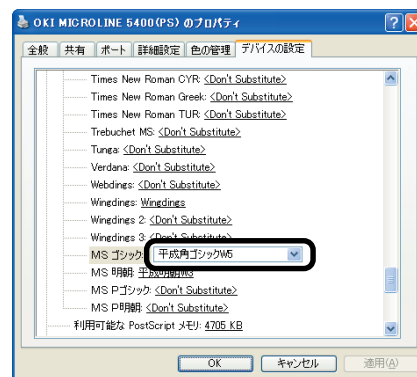
- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [フォント]タブの[フォントにより、True Typeフォントをプリンタに送信する]を選択します。

すべてのTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えることはできません。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

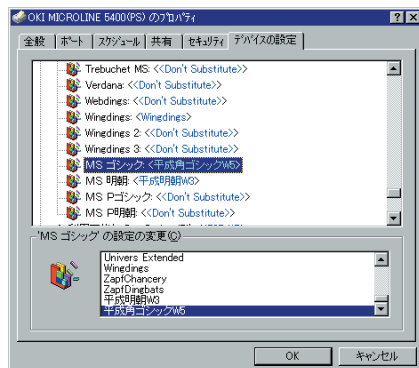
❸ [デバイスの設定]タブの[フォント代替表]で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、[OK]をクリックします。

❹ アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

❺ [詳細設定]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❻ [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

❼ [TrueTypeフォント]で[デバイスフォントと代替]を選択します。

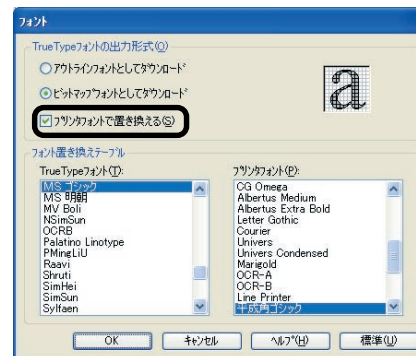
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブの[フォント代替表]でTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、[OK]をクリックします。

❹ アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

❺ [プロパティ]をクリックし、[詳細]タブの[グラフィックス]の[TrueTypeフォント]で[デバイスフォントと代替]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

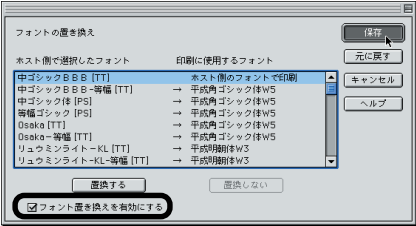
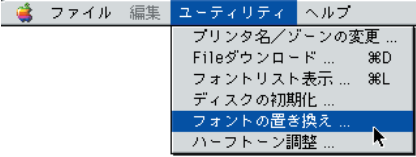
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。

❺「フォント」画面の[プリンタフォントで置き換える]にチェックを付けます。

❻ [フォント置き換えテーブル]でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[フォントの置き換え...]を選択します。

❸ [ホスト側で選択したフォント]ごとに、[置換する]または[置換しない]をクリックします。

❹ [フォント置き換えを有効にする]にチェックを付けます。

❺ [保存]をクリックします。

置き換えフォント一覧表

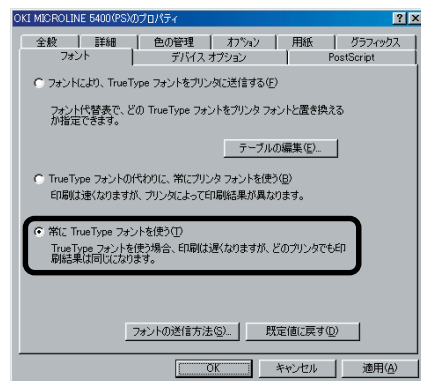
ホスト側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	—	PS	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体W3
等幅明朝	—	PS	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体W3
丸ゴシック-M	MaruGothic-Medium	TT	—

TT：TrueTypeフォント
PS：PostScriptフォント

コンピュータのフォントで印刷したい

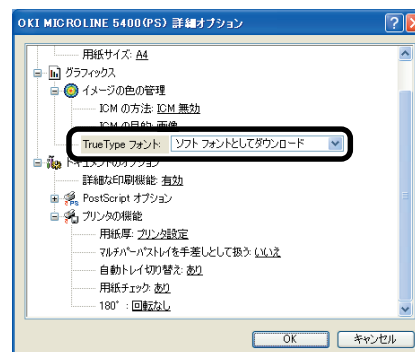
TrueTypeフォントを画面表示のまま出力できます。

印刷時間が長くなることがあります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [フォント]タブの[常にTrueTypeフォントを使う]を選択します。

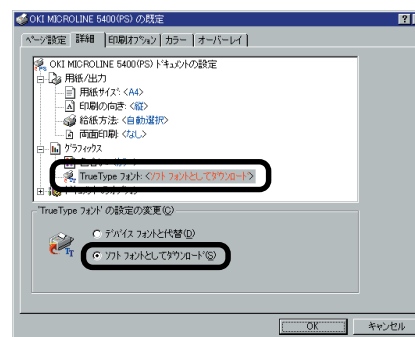
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

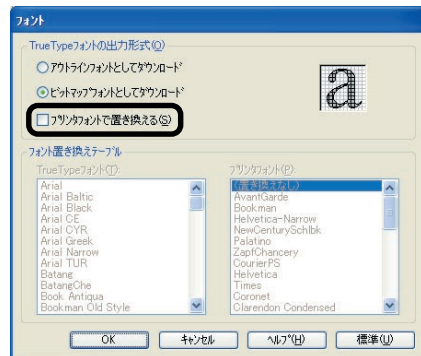
❺ [TrueTypeフォント]で[ソフトフォントとしてダウンロード]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[グラフィックス]の[TrueTypeフォント]で[ソフトフォントとしてダウンロード]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。

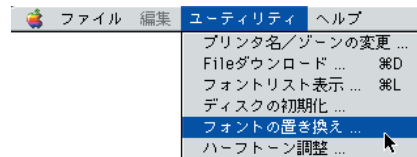
❺「フォント」画面の[プリンタフォントで置き換える]のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード

プリンタでフォントイメージを作成します。

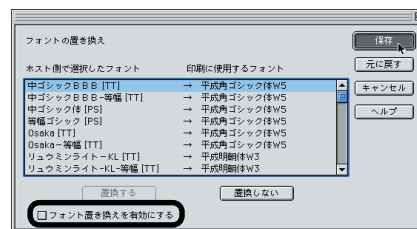
ビットマップフォントとしてダウンロード

プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintoshプリンタドライバ

❶[MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

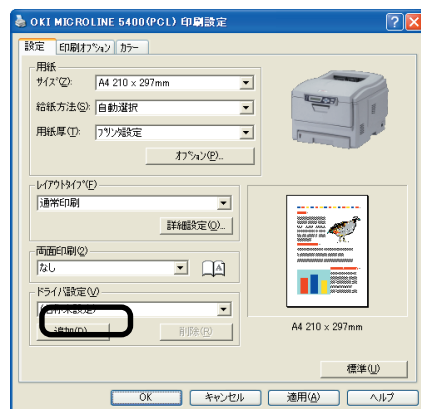
❷[ユーティリティ]メニューから[フォントの置き換え...]を選択します。

❸[フォント置き換えを有効にする]のチェックを外します。

❹[保存]をクリックします。

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

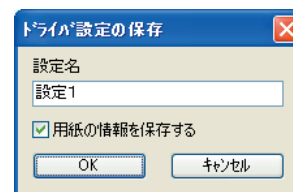
- Windows PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

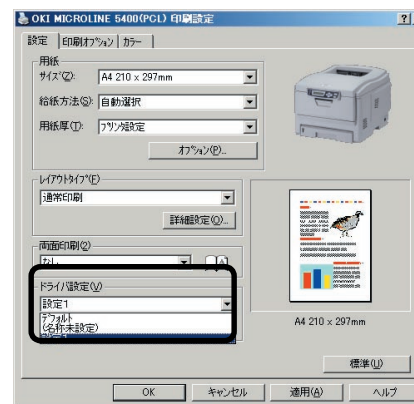
WindowsNT4.0の場合
[OKI MICROLINE 5400(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定]タブの[ドライバ設定]で[追加]を選択します。

❺ [設定名]に設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

用紙情報を保存する
チェックを付けると、[設定]タブの[用紙]の設定も保存します。

最大14個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [ドライバ設定]で、使用する設定を選択し、[OK]をクリックします。

プリンタドライバのデフォルトを変更したい

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

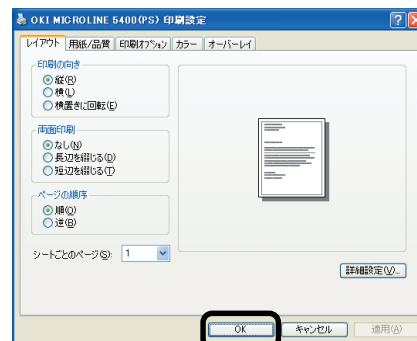
WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

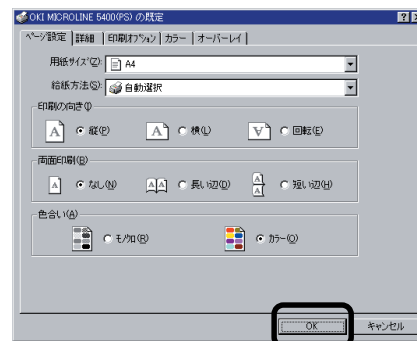
❷ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/Server2003プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

WindowsNT4.0プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

Macintoshプリンタドライバ

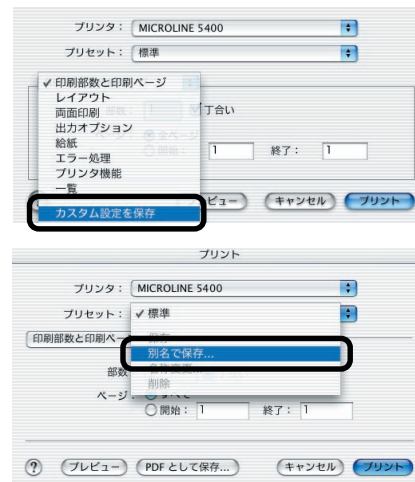
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[設定の保存]をクリックします。

❹ 確認画面で[OK]をクリックします。

- [用紙設定]ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ Mac OS X 10.1.5以前の場合は、[カスタム設定を保存]を選択します。

Mac OS X 10.2以降の場合は、[プリセット]で[別名で保存]を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK]をクリックします。

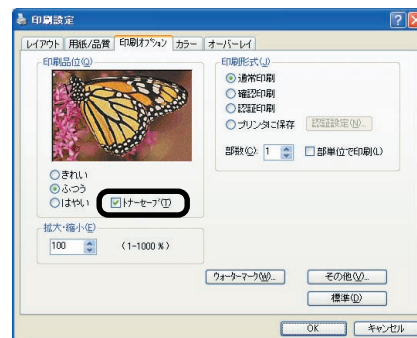
❺ [キャンセル]をクリックします。

印刷時に[プリセット]で保存した設定名(Mac OS X 10.1.5以前の場合は[カスタム])を選択してください。

トナーをセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

- 100%黒の色には無効です。
- ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。
- PostScriptでCMYK印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYKで印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScriptでグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIEカラースペースで印刷データを作成するOSやアプリケーションでは無効となります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

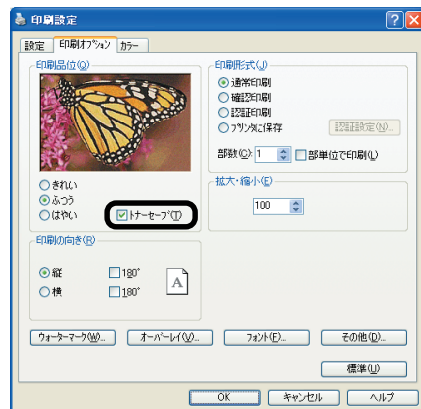
Windows PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません）

❹ ［印刷オプション］タブの［トナーセーブ］をチェックします。（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバでは、［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［トナーセーブ］を、［設定の変更］で［あり］を選択します。）

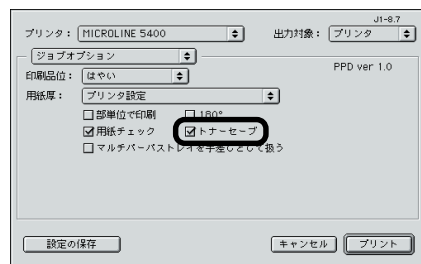
- ［カラー］タブ（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバでは［デバイスオプション］タブ）の［印刷モード］で［ASICカラーマッチング］が選択されていない場合、［トナーセーブ］は選択できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、［詳細］タブの［プリンタの機能］の［トナーセーブ］で［あり］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

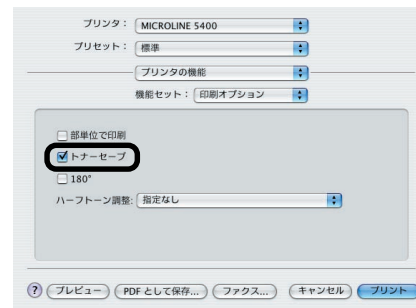
❹ [印刷オプション]タブの[トナーセーブ]をチェックします。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ジョブオプション]パネルの[トナーセーブ]にチェックします。

[カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]が選択されていない場合、[トナーセーブ]は利用できません。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

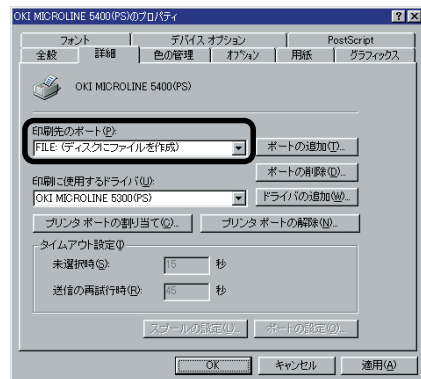
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタ機能]パネルの[印刷オプション]機能セットで[トナーセーブ]にチェックします。

- [プリンタ機能]パネルの[カラー]機能セットで[ASICカラーマッチング]が選択されていない場合、[トナーセーブ]は利用できません。
- OSに添付されるプリンタドライバの制限により、汎用的なアプリケーションで[ASICカラーマッチング]を指定しても、[PostScriptカラーマッチング]で動作します。
- Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

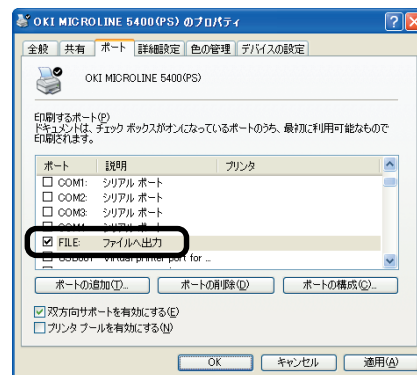
WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

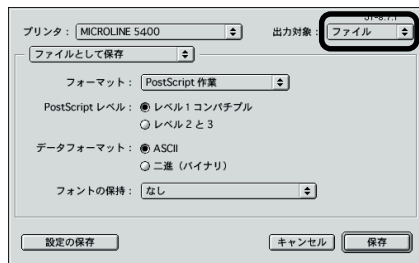
❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[ファイル名]を入力し、[フォルダ]を選択し、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[出力先ファイル名]を入力し、[OK]をクリックします。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [出力先]で[ファイル]を選択します。

❹ [ファイルとして保存]パネルで設定を行います。

フォーマット
ポストスクリプトファイル形式を指定します。

PostScriptレベル
出力するプリンタに合わせて指定します。

データフォーマット
アスキー/バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。

バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントの保持
ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScriptフォントしか使っていない場合は[なし]を選択します。

❺ 印刷します。[名前]に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存]をクリックします。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

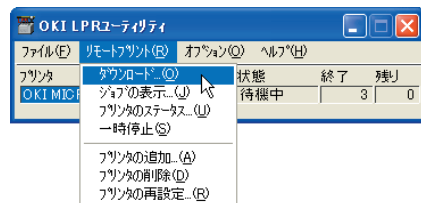
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [出力オプション]パネルで[ファイルとして保存]にチェックを付け、[フォーマット]で[PostScript]を選択し、[保存]をクリックします。

❹ [別名で保存]に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存]をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

OKI LPRユーティリティ（Windows）を使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

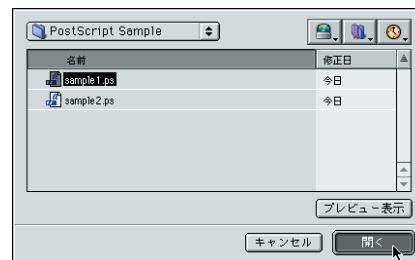
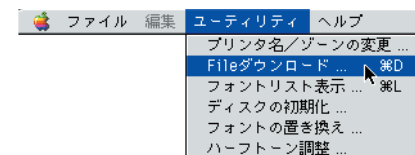
❶ OKI LPRユーティリティを起動します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

Mac OS Xでは利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［Fileダウンロード...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

ポストスクリプトファイルをドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

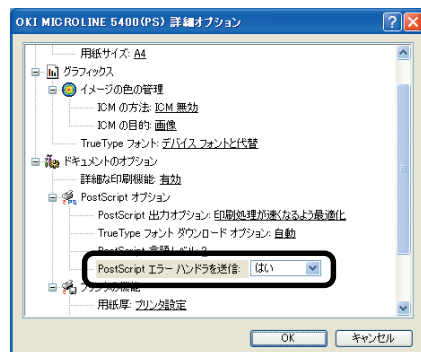
ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5400(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [PostScript]タブの[PostScriptエラー情報を印刷する]にチェックを付け、[OK]をクリックします。

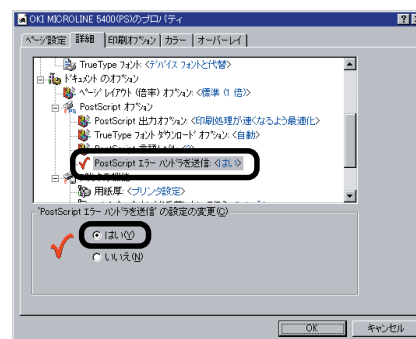
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

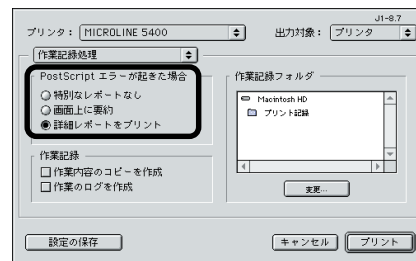
❺ [PostScriptオプション]-[PostScriptエラーハンドラを送信]で[はい]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

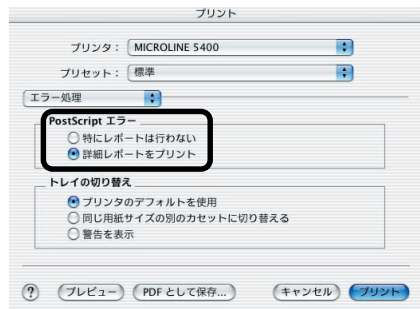
❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[PostScriptオプション]-[PostScriptエラーハンドラを送信]で[はい]を選択します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [作業記録処理]パネルの[PostScriptエラーが起きた場合]で[詳細レポートをプリント]を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [エラー処理]パネルの[PostScriptエラー]で[詳細レポートをプリント]を選択します。

アプリケーション別の設定

PSプリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker 7.0J/6.5J/6.0J（Windows版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0Jで印刷するには、PPDファイルのインストールが必要です。

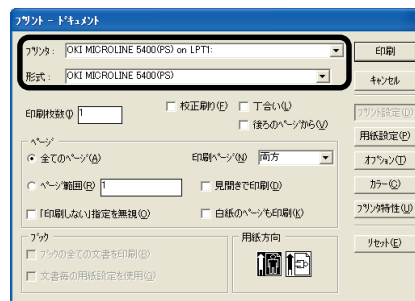
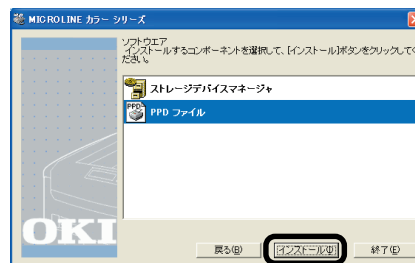
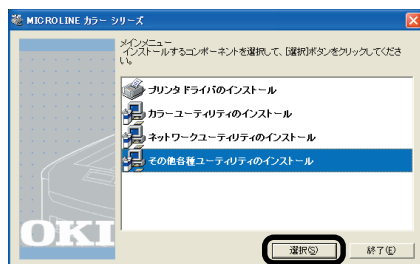
❶「プリンタソフトウェアＣＤ-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブルメディアのある領域]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]-[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [その他各種ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [PPDファイル]を選択し、[インストール]をクリックします。

❼「インストール先の選択」画面が表示されたら、[参照]をクリックして、インストールするフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

PageMaker7.0Jの場合
pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.5Jの場合
pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.0Jの場合
pm6¥rsrc¥ppd4

❽ [次へ]をクリックします。

PPDファイルがインストールされます。

❾ [完了]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

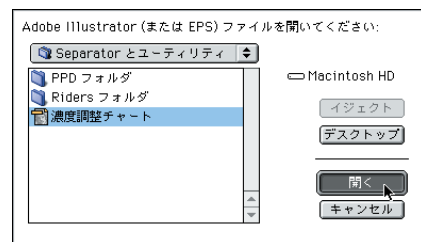
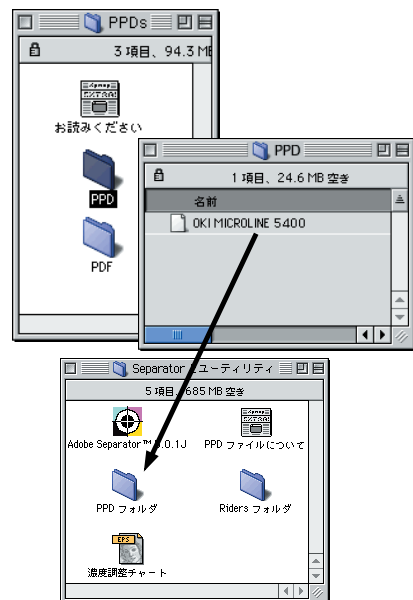
⓫ PageMakerの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

⓬ [プリンタ]と[形式]で[OKI MICROLINE 5400(PS)]を選択します。

[プリンタ]はプリンタドライバを、[形式]はPPDファイルを意味しています。

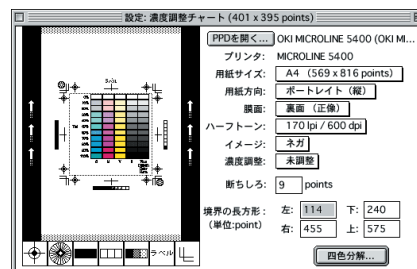
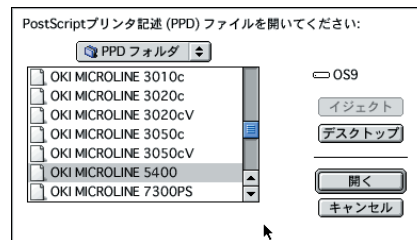
⓭ [印刷]をクリックします。

Adobe Separator（Macintosh版Illustrator5.5Jに付属）

カラーセパレーションをするためには、PPDファイルのインストールが必要です。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」の「PPDs」フォルダの「PPD」フォルダを開きます。

❷プリンタの機種に応じた「PPDファイル」を「Adobe Separator」が入っているフォルダの「PPDフォルダ」にコピーします。

❸「Adobe Separator」をダブルクリックして、起動します。

❹印刷するファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❺使用するプリンタのPPDファイルを選択し、［開く］をクリックします。
一度PPDファイルを選択していると、この画面は表示されません。

❻「プリンタ」と「PPDファイル」が正しく設定されているか確認します。

QuarkXPress4.1/4.0J(Windows版、Macintosh版)

- カラーマッチングを行うには、[補助]メニューの[Xtentionマネジャー]で[Quark CMS]がONになっている必要があります。
- [ファイル]メニューの[印刷]-[出力]パネルで[ハーフトーン]を必ず[プリンタ]にしてください。[計算値]にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は[ファイル]メニューの[印刷]-[プリンタフォント]タブでプリンタフォントを検索することができません。プリンタフォントを使うときは[プリンタフォント]タブの[ポストスクリプト印刷]の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J (Windows版、Macintosh版)

- [ファイル]メニューの[用紙設定]で[ハーフトーンスクリーン]をクリックし、[プリンタの初期設定値を使う]を必ずONにしてください(Macintoshでは[ファイル]メニューの[用紙設定]-[Adobe PhotoshopXX]パネルの[ハーフトーンスクリーン])。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J (Windows版、Macintosh版)

- [ファイル]メニューの[書類設定]で[プリンタの初期設定値を使う]を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand9.0/8.0J(Macintosh版)

- ICCプロファイルが表示されない場合は、[システムフォルダ]の[ColorSync 特性]または[ColorSync プロファイル]にある[OKI MICROLINE5400 1200dpi (PS)]、[OKI MICROLINE5400 600dpi (PS)]ファイルを[システムフォルダ]-[初期設定]-[ColorSync™特性]フォルダにコピーしてください。

5 カラーについて

- Mac OS X 10.0から10.0.4では［プリンタの機能］パネル内の機能は使用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで全ての機能を使用するためには、「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」を使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。
- 「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」は、マイクロソフト社ホームページの「Service Pack 6a CD-ROM申し込みのご案内」ページから入手することができます。

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

○：動作する
×：動作しない
ー：機能なし
△：一部のOSバージョンやアプリケーションでは動作する

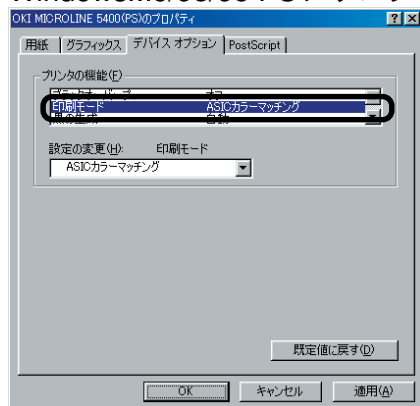
	ﾌﾟﾘﾝﾀに内蔵のｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ(ASIC)	ﾌﾟﾘﾝﾀに内蔵のｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ(PostScript CRD)	WindowsのImage Color Matching (ICM)	ICCﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用したｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ(ICM)	MacintoshのColorSync	ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝのｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ
WindowsMe/98 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	○	×	ー	○
Windows95 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	○	ー	ー	○
WindowsXP/2000/Server2003 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	○	○	ー	○
WindowsNT4.0 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	ー	ー	ー	○
Windows PCLﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	ー	×	ー	ー	○
MacOS 8 / 9 ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	ー	ー	○	○
Mac OS X ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	△	○	ー	ー	△	○

「Image Color Matching」、「Color Sync」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

カラーマッチングしたい（ASICカラーマッチング）

プリンタに搭載されている専用アクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。

- カラー調整の選択肢はRGBカラースペースの印刷データに対して有効です。
- CMYKカラースペースの印刷データはプリンタのCMYK各色の配合を直接指定しているのでカラー調整の選択肢は有効になりません。
- CMYKカラースペースの印刷データはCMYKシミュレーションの選択肢が利用できます。詳しくは「印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい」を参照してください。
- Mac OS XではOSに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASICカラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

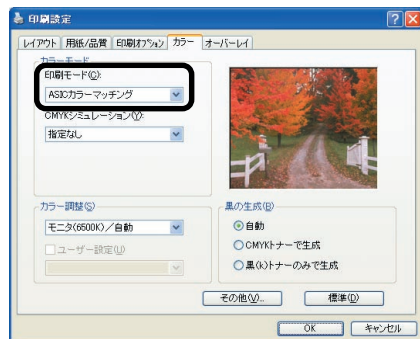
❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［印刷モード］を、［設定の変更］で［ASICカラーマッチング］を選択します。

必要に応じて、［カラー調整］を変更します。

［カラー調整］

カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- モニタ（6500K）／自動
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
- モニタ（6500K）／コントラスト重視
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
- モニタ（9300K）
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- デジタルカメラ
  カラーマッチングの際に、写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
- sRGB
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

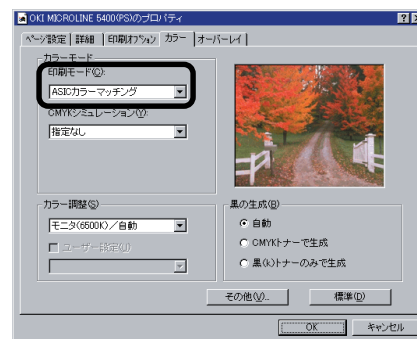
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[カラー調整]を変更します。

ICCプロファイルをインストールしている場合は、[レイアウト]タブで[詳細設定]をクリックし、[ICMの方法]で[ICM無効]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

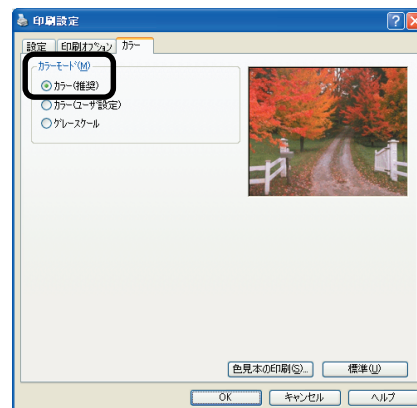
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[カラー調整]を変更します。

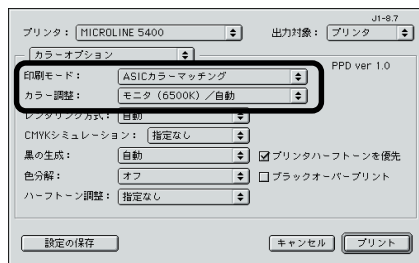
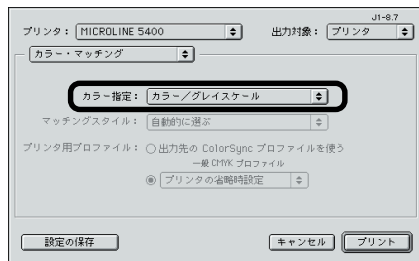
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[印刷モード]や[カラー調整]を変更します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー（推奨）]を選択します。

[カラー（ユーザ設定）]にすると[カラー調整]、[黒の生成]、[明暗の調整]が設定できます。

5 カラーマッチングしたい（ASICカラーマッチング）

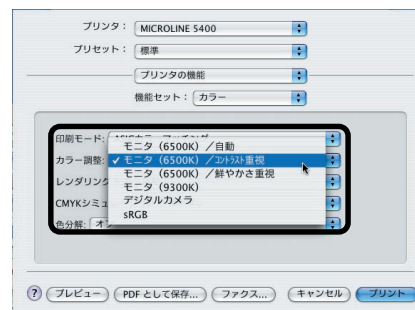
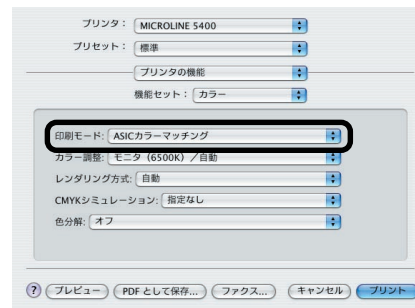
Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラー・マッチング]パネルの[カラー指定]で[カラー／グレースケール]を選択します。

❹ [カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[カラー調整]を変更します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタ機能]パネルの[カラー]機能セットの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[カラー調整]を変更します。

Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASICカラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

カラーマッチングしたい（PostScriptカラーマッチング）

PostScript言語の標準のカラーマッチング機構であるカラーレンダリング辞書（CRD）を使用してカラーマッチングを行います。

- この機能はPSドライバでのみ利用できます。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[印刷モード]を、[設定の変更]で[PostScript カラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[レンダリング方式]を変更します。

［レンダリング方式］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法でカラーマッチングします。通常はこの設定でお使いください。
- コントラスト重視
  階調性（明暗の調子）を重視した方法でカラーマッチングします。すべての色はプリンタの色域内の色に均等に変換されます。写真に適しています。
- 鮮やかさ重視
  鮮やかさを重視した方法でカラーマッチングします。プリンタの色域外の色は彩度の近い色域内の色に変換されます。図形、文字に適しています。
- カラーメトリック
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。またマッチングの際に白部分への着色を抑制します。特定の色をマッチングするのに適しています。
- 絶対色彩
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。「カラーメトリック」で淡い色部分の若干の色の誤差がでる場合に選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[PostScript カラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[レンダリング方式]を変更します。

ICCプロファイルをインストールしている場合は、[レイアウト]タブで[詳細設定]をクリックし、[ICMの方法]で[ICM無効]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

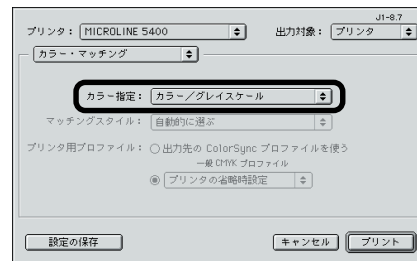
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[PostScript カラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[レンダリング方式]を変更します。

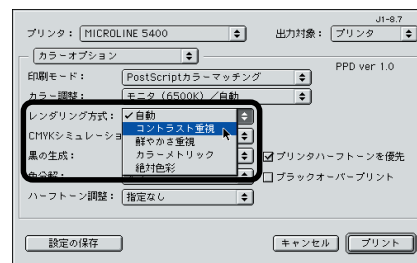
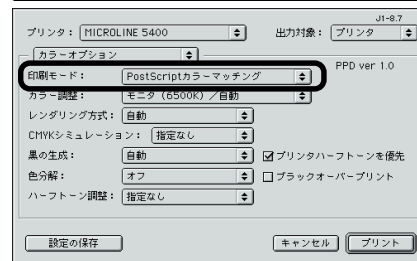
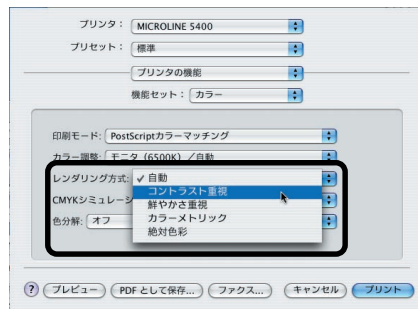
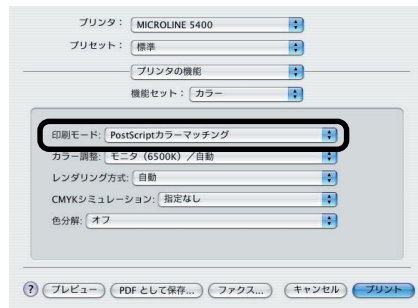
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[印刷モード]や[レンダリング方式]を変更します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラー・マッチング]パネルの[カラー指定]で[カラー／グレースケール]にします。

❹ [カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[PostScriptカラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[レンダリング方式]を変更します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタ機能]パネルの[カラー]機能セットの[印刷モード]で[PostScriptカラーマッチング]を選択します。

必要に応じて、[レンダリング方式]を変更します。

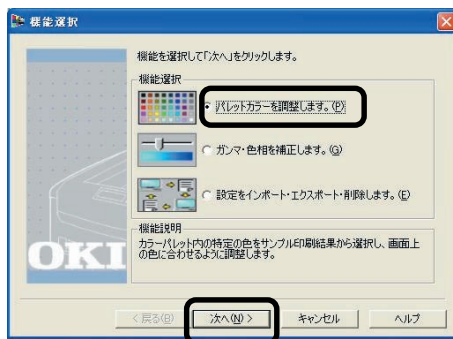
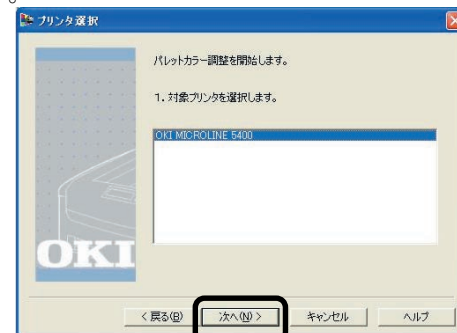
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい(Windows)

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft ExcelやWordなどで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [パレットカラーを調整します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して[サンプル印刷]をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❺ [次へ]をクリックします。

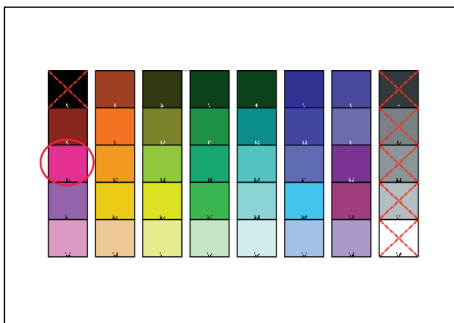
「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻ [テスト印刷]をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

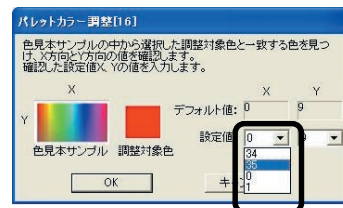
 ×印がついている色は調整できません。

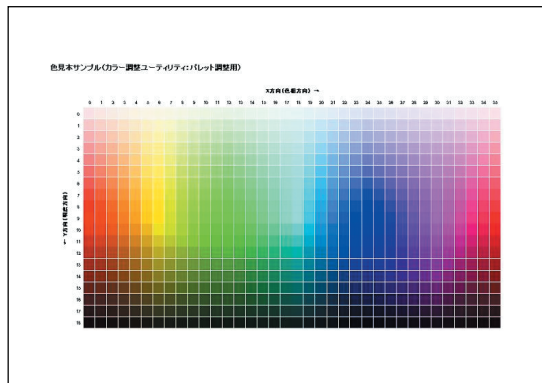
❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

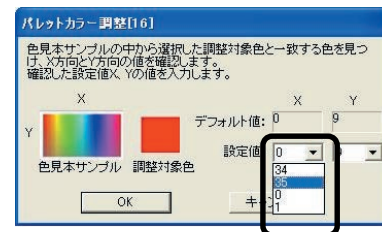
❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

⑩「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

⑪「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⑫「調整値入力」画面で、⑩で確認したX値とY値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⑬[テスト印刷]をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、[次へ]をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、❽〜⑬を繰り返します。

⓮ 設定の名前を入力し、[保存]をクリックします。

⓯ [OK]をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

⓰ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラー調整]で[ユーザ設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

- [印刷モード]が[ASICカラーマッチング]の場合にのみ有効です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(ユーザ設定)]を選択します。

❺ [カラー調整]で[ユーザー設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

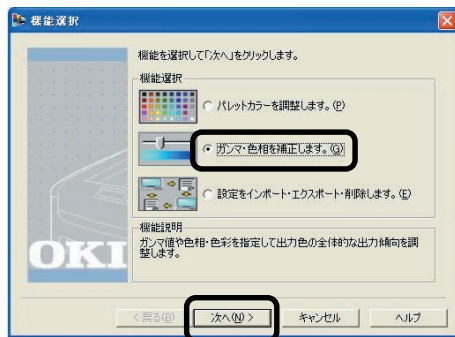
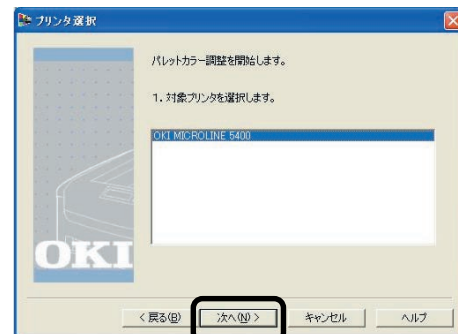
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

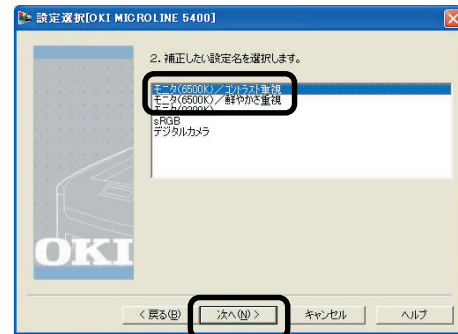
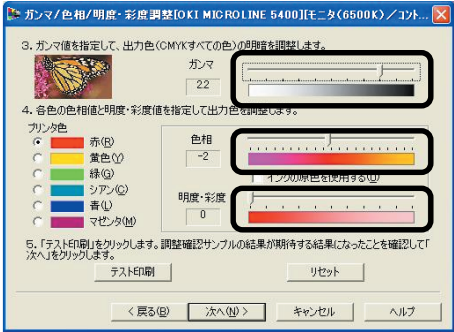
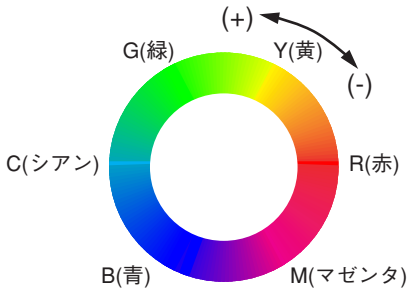
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

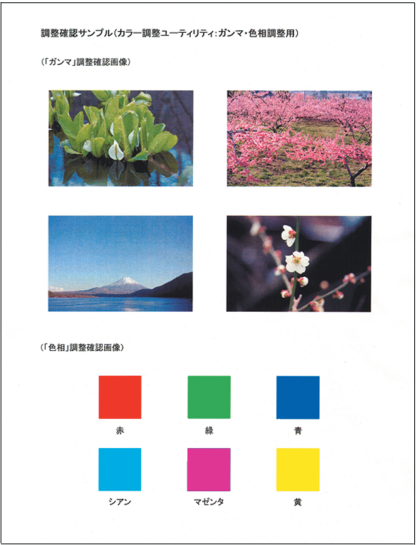
❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [ガンマ・色相を補正します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

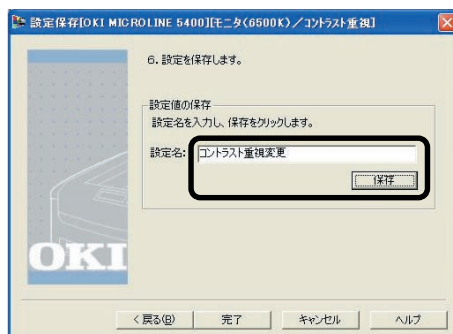
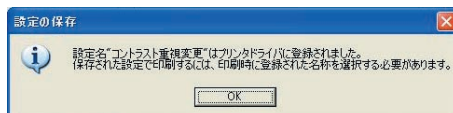
メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、[次へ]をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相/明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- [ガンマ]を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- [色相]は色相環の順方向(+)または逆方向(−)に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(+)方向に動かすとG(緑)に近づき、(−)方向に動かすとR(赤)に近づきます。

メモ [インクの原色を使用する]は、トナーの原色100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては[色相]スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン(C)	シアントナー100%
マゼンタ(M)	マゼンタトナー100%
イエロー(Y)	イエロートナー100%
赤(R)	マゼンタトナー100% ＋ イエロートナー100%
緑(G)	シアントナー100% ＋ イエロートナー100%
青(B)	シアントナー100% ＋ マゼンタトナー100%

❻ [テスト印刷]をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、[設定]をクリックします。

希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ [保存]をクリックします。

❾ 設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

❿ [OK]をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[完了]をクリックしてください。

⓫ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラー調整]で[ユーザ設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

- [印刷モード]が[ASICカラーマッチング]の場合にのみ有効です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(ユーザ設定)]を選択します。

❺ [カラー調整]で[ユーザー設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

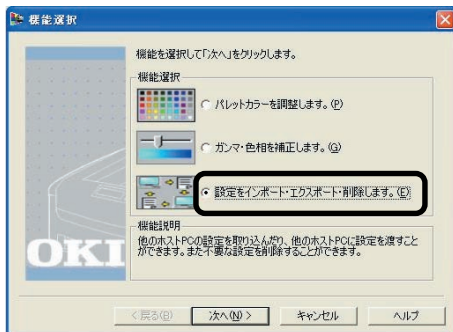
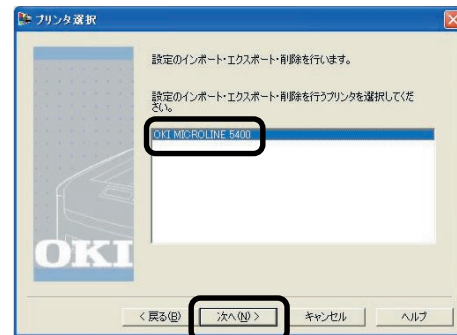
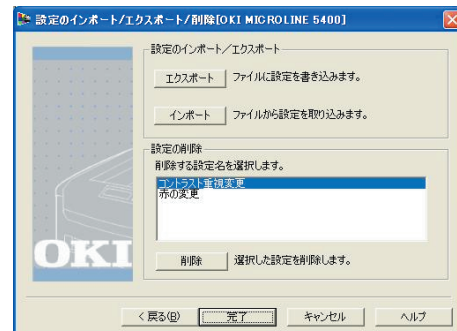
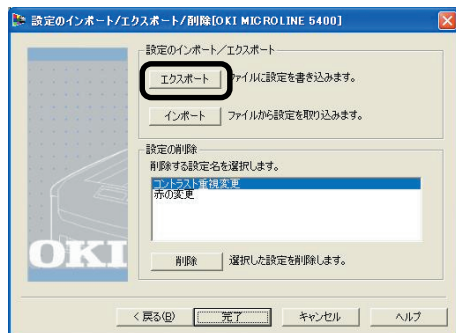
カラー調整の設定をファイルに保存したい（Windows）

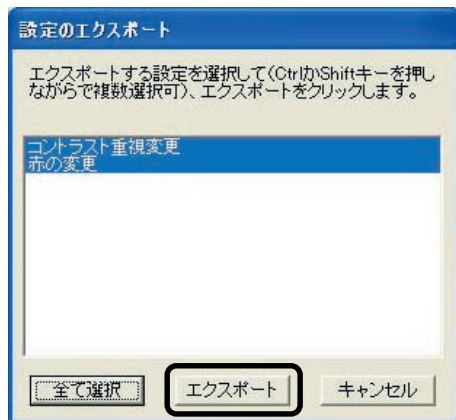
カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

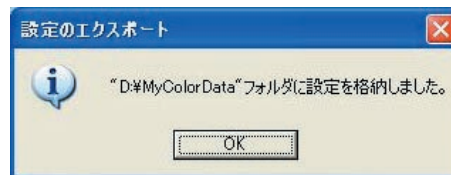
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

❶ [エクスポート]をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、[エクスポート]をクリックします。

メモ Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して[保存]をクリックします。

❹ [OK]をクリックします。

❺ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

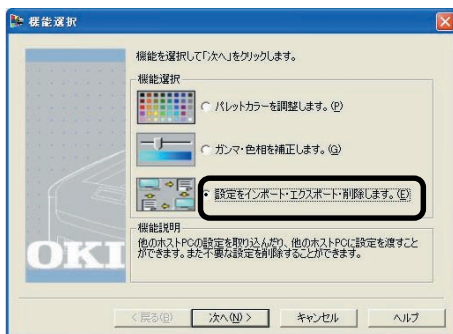
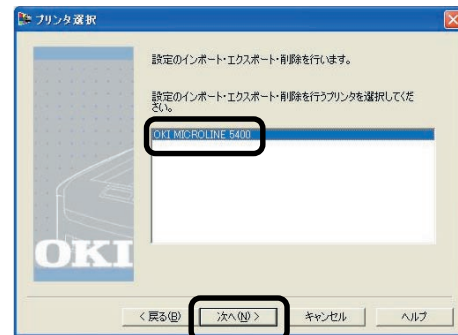
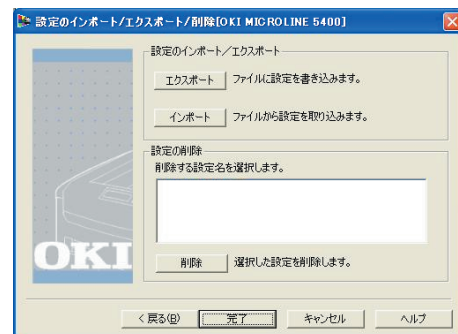
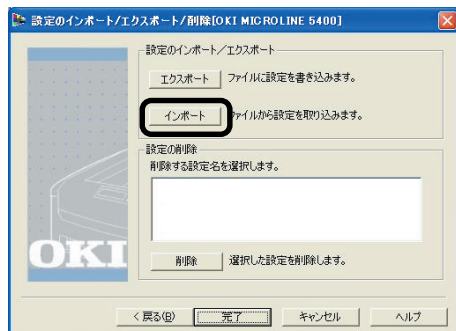
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Windows）

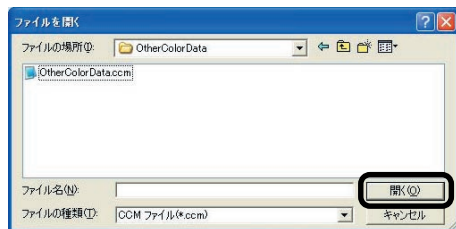
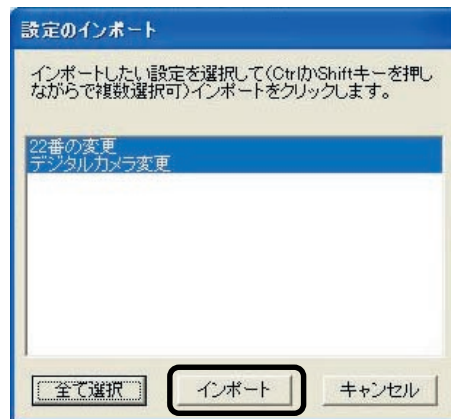
カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

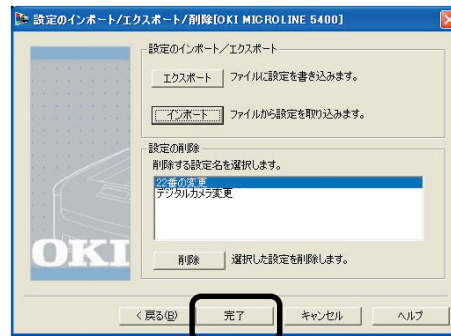
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を読み込みたいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を読み込みます。

❶ [インポート]をクリックします。

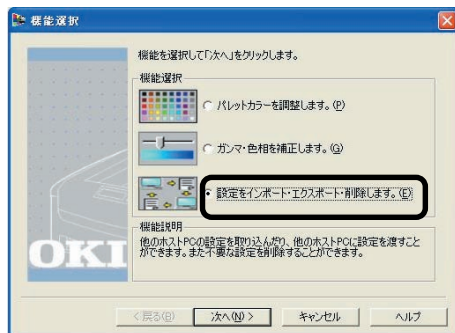
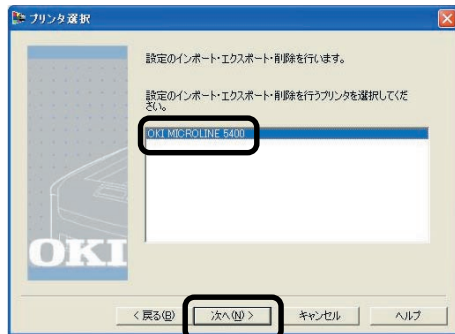
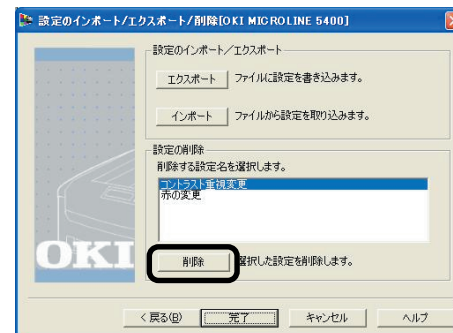
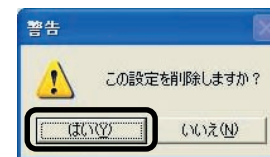
❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、[インポート]をクリックします。

メモ Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ 設定が読み込めたことを確認し、[完了]をクリックします。

カラー調整の設定を削除したい（Windows）

不要になったカラー調整を削除できます。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、[削除]をクリックします。

❺ [はい]をクリックし、設定を削除します。

❻ 設定が削除されたことを確認し、[完了]をクリックします。

ICCプロファイルを定義してカラーマッチングしたい

ICCプロファイル

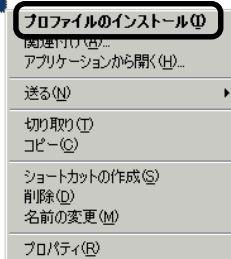
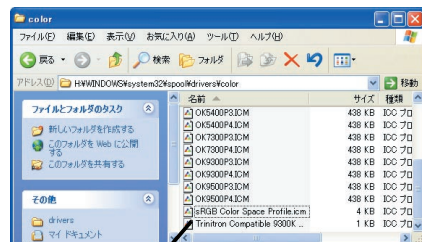
ICC(International Color Consortium)により規定されたフォーマットに準拠した、入出力装置のカラーの特性を記述したファイルです。カラーマッチング処理の際に、装置に依存するカラー空間から、XYZ表色系やCIE L*a*b*表色系などの装置に依存しないカラー空間への変換、あるいはその逆の変換のために使用されます。
プリンタ用に添付されたICCプロファイルはCMYK出力装置として定義されています。CMYK出力装置のプロファイルを読み込めるアプリケーションソフトでご使用いただけます。
「プリンタソフトウェアCD-ROM」に添付されたICCプロファイルにはプリンタごとに1200×600dpi用と600dpi用があります。印刷時の解像度設定に合わせて選択してください。
ICCプロファイルは、プリンタドライバをインストールすると自動的に以下のディレクトリにインストールされます。WindowsXP/2000/Server2003では、自動的にインストールされませんので「WindowsのImage Color Matchingを使いたい」(189ページ)の手順で追加してください。

- WindowsXP/Server2003 PSプリンタドライバ
  Cドライブ-[Windows]-[system32]-[spool]-[drivers]-[color]フォルダ内
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ
  Cドライブ-[Windows]-[system]-[color]フォルダ内
- Windows2000 PSプリンタドライバ
  Cドライブ-[WINNT]-[system32]-[spool]-[drivers]-[color]フォルダ内
- Macintosh
  ColorSync2.1：[システムフォルダ]-[初期設定]-[ColorSync™特性]フォルダ内
  ColorSync2.5/2.6：　[システムフォルダ]-[ColorSync特性]フォルダ内
  ColorSync3.0：[システムフォルダ]-[ColorSyncプロファイル]フォルダ内

ICCプロファイルを指定したカラーマッチング

任意のRGB入力装置(モニタやスキャナ)とCMYK出力装置(プリンタ)を指定することで、入出力装置間のカラーマッチングを指定することができます。
ユーザ自身で測色機やプロファイル作成ツールを使ってプリンタ用のプロファイルを作成・カスタマイズができる上級ユーザ向けの機能となります。
カラーマッチングにWindows ICMを使用して指定された任意の入力装置と出力装置間のカラーマッチングのレンダリングルールを定義したPostScript のカラースペース配列(Color Space Array)とカラーレンダリング辞書(Color Rendering Dictionary)を構築し、プリンタにダウンロードします。
プリンタはダウンロードされるPostScript のカラースペース配列(Color Space Array)とカラーレンダリング辞書(Color Rendering Dictionary)を用いてカラーマッチング処理を行います。

- この機能はWindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバでのみ利用できます。WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- Windows XP/2000/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 一般的なアプリケーションで使用されるRGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際にカラーマッチング処理が適用されます。アプリケーションがRGBカラースペース以外のデータを扱う場合にはカラーマッチングが適用されません。
- RGB入力装置(モニタやスキャナ)用のプロファイルの入手方法は各装置のメーカにお問い合わせください。
- この機能は共有プリンタの場合にはご利用できません。

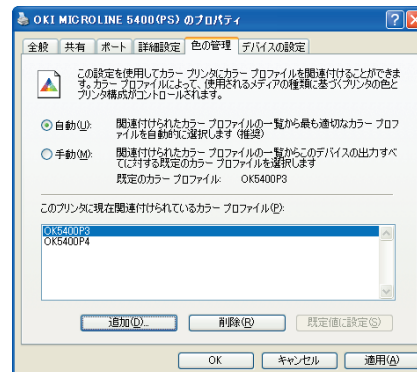
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ Cドライブ-[Windows]-[system32]-[spool]-[drivers]-[color]フォルダ(Windows2000では、Cドライブ-[WINNT]-[system32]-[spool]-[printer]-[color]フォルダ)を開きます。

❷ カラーマッチングの対象とするRGB入力装置(モニタやスキャナ)のICCプロファイルを見つけます。

注 入力装置(モニタやスキャナ)用のプロファイルが見つからない場合には各入力装置のメーカや販売元に入手方法等をお問い合わせください。

❸ プロファイルを右クリックし、[プロファイルのインストール]を選択します。

注 プロファイルのアイコンが白になっている場合には、既にインストールされていますのでこの操作は必要ありません。

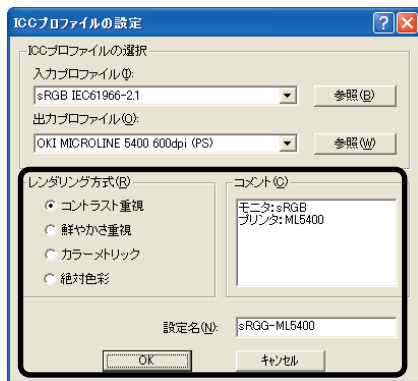
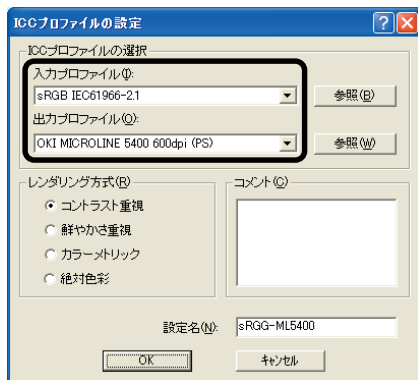
❹ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❺ [OKI MICROLINE 5400(PS)]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❻ [色の管理]タブで[追加]をクリックします。

❼ [ファイルの場所]でICCプロファイルを選択し[追加]をクリックし、[OK]をクリックします。

プリンタに標準添付されたICCプロファイルを使用する場合には[プリンタソフトウェアCD-ROM]をセットし、CD-ROM内の[ICM]-[PS]フォルダを指定して、ICCプロファイル[OK5400P3(1200×600dpi)]または[OK5400P4(600dpi)]を選択します。

❽ [OKI MICROLINE 5400(PS)]をマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❾ [カラー]タブの[印刷モード]で[ICCプロファイルを使用]を選択し、[新規]をクリックします。

⑩ [入力プロファイル]でモニタやスキャナ等のお使いの入力装置を選択します。

装置名が表示されていない場合には、右側の[参照]をクリックしてICCプロファイルを選択します。

⑪ [出力プロファイル]でプリンタのICCプロファイルを選択します。

- 装置名が表示されていない場合には、右側の[参照]をクリックしてICCプロファイルを選択します。
- プリンタに標準添付されたICCプロファイルはメニュー中にプリンタ名右横に解像度表示を伴って表示されています。[印刷品位]の指定が[きれい]であれば1200dpi、[ふつう]、[はやい]では600dpiと記述されたプロファイルを選択します。

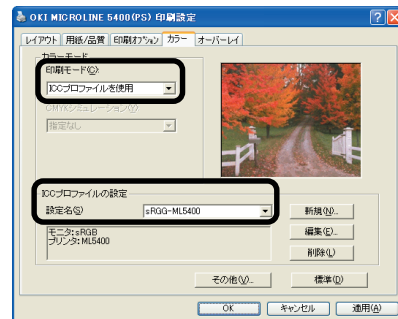
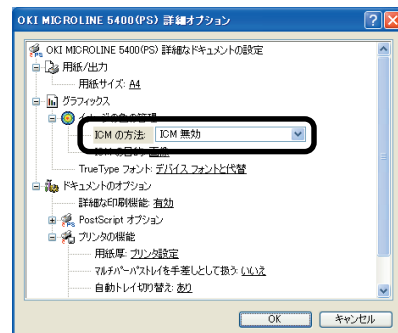
⑫ 必要に応じて[レンダリング方式]を選択し、コメント欄にコメントを入力します。

⑬ [設定名]を入力し、[OK]をクリックします。

選択したプロファイルによっては、必要なタグ情報の不足等によりカラーマッチングに必要なデータが作成されない場合があります。

[レンダリング方式]

カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- コントラスト重視
  階調性(明暗の調子)を重視した方法でカラーマッチングします。すべての色はプリンタの色域内の色に均等に変換されます。写真に適しています。
- 鮮やかさ重視
  鮮やかさを重視した方法でカラーマッチングします。プリンタの色域外の色は彩度の近い色域内の色に変換されます。図形、文字に適しています。
- カラーメトリック
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。またマッチングの際に白部分への着色を抑制します。特定の色をマッチングするのに適しています。
- 絶対色彩
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。「カラーメトリック」で淡い色部分に若干の色の誤差がでる場合に選択します。

⑭ アプリケーションを起動します。

⑮ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

⑯ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

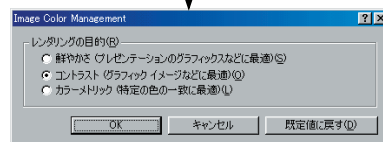
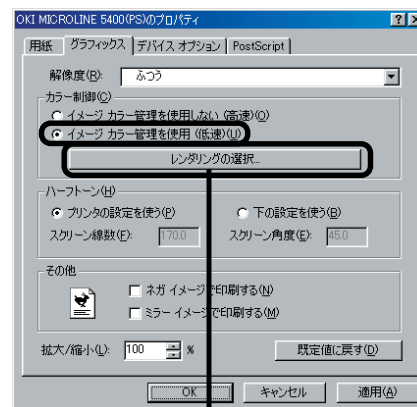
⑰ [レイアウト]タブで[詳細設定]をクリックし、[ICMの方法]を[ICM無効]にし、[OK]をクリックします。

⑱ [カラー]タブの[印刷モード]で[ICCプロファイルを使用]を選択し、[設定名]で手順⑬で付けた設定名を選択します。

WindowsのImage Color Matchingを使いたい

Windows Me/98/95/2000/XP/Server2003に標準のイメージカラーマッチング(ICM)を使用して、モニタ(画面表示色)と印刷結果の間でカラーマッチングを行います。Windows ICMは、ICCプロファイルを参照して、表示装置に依存したカラー表現を、装置に依存しない国際的なカラー標準の値に変換し、さらに装置に依存しないカラー表現をプリンタの印刷色にマッチングさせます。カラーマッチング処理時には、モニタ用のICCプロファイル(色の特性を記述したファイル)と、[色の管理]タブで割り当てられているプリンタ用ICCプロファイルが参照されます。

- アプリケーションが「Image Color Matching」に対応している必要があります。
- 一般的なアプリケーションで使用されるRGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際にのみカラーマッチング処理が適用されます。
- モニタのキャリブレーションが完了していることを確認してください。
- WindowsXP/2000/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバでは利用できません。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[グラフィックス]タブの[カラー制御]で[イメージカラー管理を使用]を選択します。

❺[レンダリングの選択]をクリックし、[レンダリングの目的]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(Windows XPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷[OKI MICROLINE 5400(PS)]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸[色の管理]タブで[追加]をクリックします。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺[ファイルの場所]でCD-ROM内の[ICM]-[PS]フォルダを指定し、ICCプロファイル[OK5400P3(1200×600dpi)]または[OK5400P4(600dpi)]を選択し[追加]をクリックします。

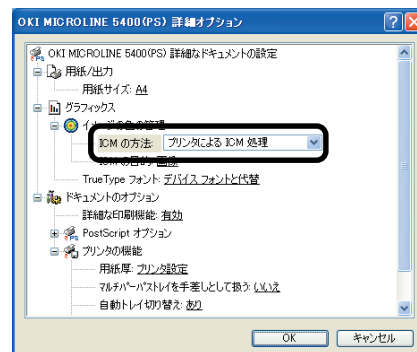
❻アプリケーションを起動します。

❼[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❽[詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

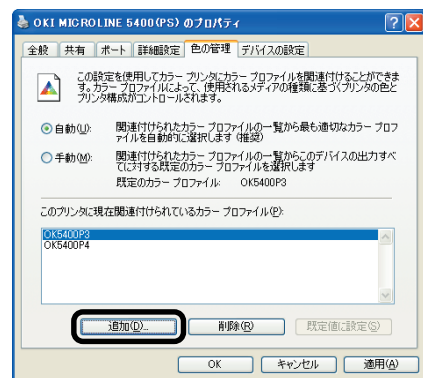
❾[レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

❿[ICMの方法]で[プリンタによるICM処理]を選択します。
必要があれば、[ICMの目的]で適当な項目を選択し、[OK]をクリックします。

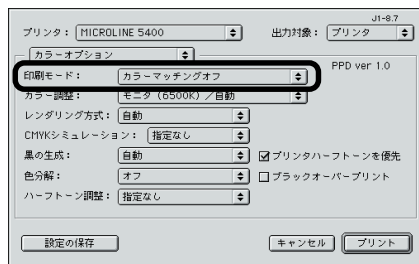
⓫[カラー]タブの[印刷モード]で[カラーマッチングオフ]を選択します。

グラフィックス
鮮やかさを重視した色になります。プリンタの色域外の色は、彩度の近い色域内の色に変換されます。図形、文字に適しています。

画像
明暗の変化を重視した色になります。すべての色はプリンタの色域内に均等に変換されます。写真に適しています。

色の校正
「完全一致」と同じですが、白地への着色を抑えます。

完全一致
プリンタの色域内の色は補正を行いません。プリンタの色域外の色はもっとも近いプリンタ色に変換されます。

MacintoshのColorSyncを使いたい

・アプリケーションがColorSyncに対応している必要があります。
・モニタのキャリブレーション、ICCプロファイル設定が完了していることを確認してください。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラー・マッチング]パネルの[カラー指定]で[Color Syncカラー・マッチング]を選択します。

[プリンタ用プロファイル]で[OKI MICROLINE 5400 1200dpi]または[OKI MICROLINE 5400 600dpi]を選択します。

❹ [カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[カラーマッチングオフ]を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

Mac OS X 10.3未満では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ColorSync]パネルの[Quartzフィルタ]で[フィルタを追加]を選択し、新規にフィルタを作成します。

❹ [ColorSync]パネルの[Quartzフィルタ]で作成した設定を選択します。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。プリンタに内蔵のカラーマッチングで利用できます。

- ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

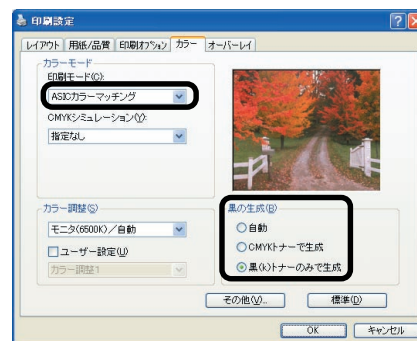
❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[印刷モード]を、[設定の変更]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

❺ [プリンタの機能]で[黒の生成]を選択し、[設定の変更]で適当な項目を選択します。

黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
- CMYKトナーで生成
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
- 黒(K)トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。この場合は[自動]または[CMYKトナーで生成]を選択してください。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

❺ [黒の生成]から適当な項目を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

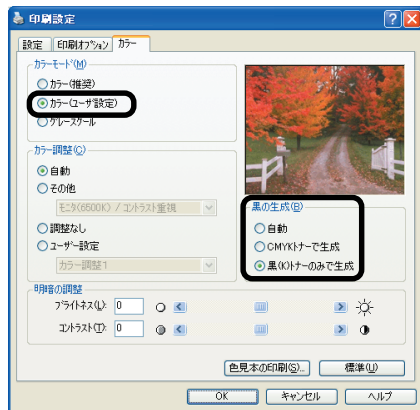
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

❺ [黒の生成]から適当な項目を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択し、[黒の生成]を変更します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

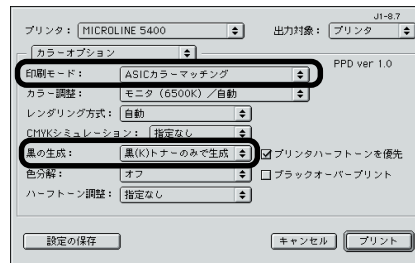
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブで[カラー(ユーザ指定)]を選択し、[黒の生成]から適当な項目を選択します。

黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
- CMYKトナーで生成
  イメージ中の黒の生成方法を指定します。
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。
- 黒(K)トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。

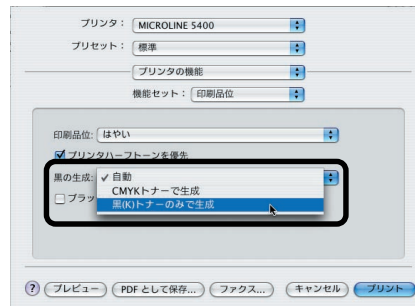
Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[ASICカラーマッチング]を選択します。

❹ [黒の生成]から適当な項目を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタの機能]パネルの[印刷品位]機能セットの[黒の生成]から適当な項目を選択します。

ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。
Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASICカラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

モノクロ(白黒)で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール(階調のある白黒)で印刷します。

以下の設定を行なうと、モノクロ(白黒)を高速(24ページ/分)に印刷することができます。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[印刷モード]を、[設定の変更]で[グレースケール]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[グレースケール]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[印刷モード]で[グレースケール]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[印刷モード]で[グレースケール]を選択します。

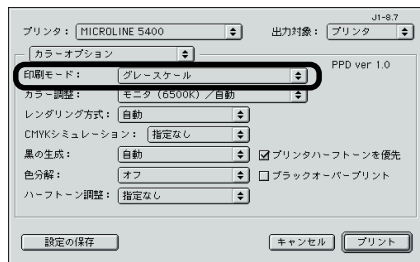
Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[カラー]タブの[カラーモード]で[グレースケール]を選択します。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[グレースケール]を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[プリンタの機能]パネルの[カラー]機能セットの[印刷モード]で[グレースケール]を選択します。

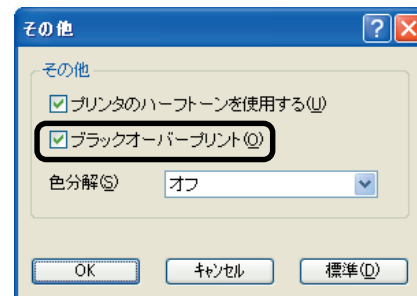
文字と背景の間の白すじをなくしたい(ブラックオーバープリント)

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷(オーバープリント)することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、True Typeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合(トナー層厚として240%を超える場合)にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン50%、マゼンタ50%、イエロー50%の背景色の上に黒100%の文字を描画すると、トナー層厚は50+50+50+100=250%となり、240%を超えることになります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[ブラックオーバープリント]を、[設定の変更]で[オン]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [カラー]タブの[その他]をクリックします。
5. [ブラックオーバープリント]にチェックを付けます。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

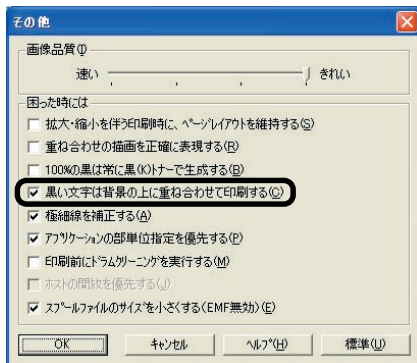
❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[カラー]タブの[その他]をクリックします。

❺[ブラックオーバープリント]にチェックを付けます。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[ブラックオーバープリント]で[オン]を選択します。

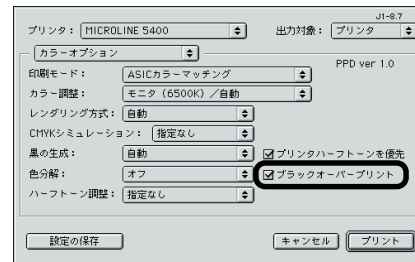
Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

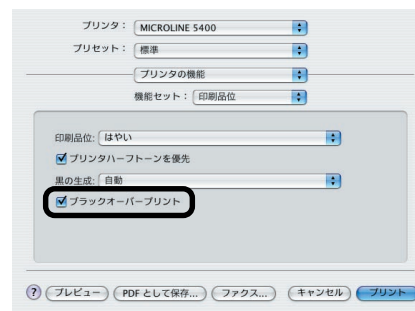
❺[黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する]にチェックを付けます。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[カラーオプション]パネルの[ブラックオーバープリント]にチェックを付けます。

Mac OS Xプリンタドライバ

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[プリンタの機能]パネルの[印刷品位]機能セットの[ブラックオーバープリント]にチェックを付けます。

ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。
Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASICカラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい

CMYKカラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性をプリンタでシミュレートします。

- Windows PCLドライバでは利用できません。
- Mac OS Xプリンタドライバでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- [印刷モード]が[ASICカラーマッチング]、または[カラーマッチングオフ]のとき有効になります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[CMYKシミュレーション]を、[設定の変更]でシミュレートしたいインク特性を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー]タブの[CMYKシミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

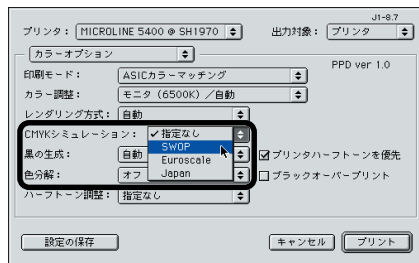
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[CMYKシミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択します。

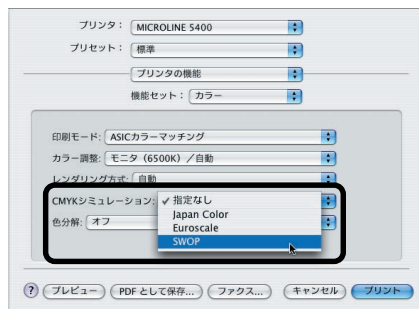
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[CMYKシミュレーション]を変更します。

Macintoshプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラーオプション]パネルの[CMYKシミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタの機能]パネルの[カラー]機能セットの[CMYKシミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択します。

ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。
Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASICカラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい(Windows)

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

・Windows95、Macintoshでは利用できません。
・色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、13ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

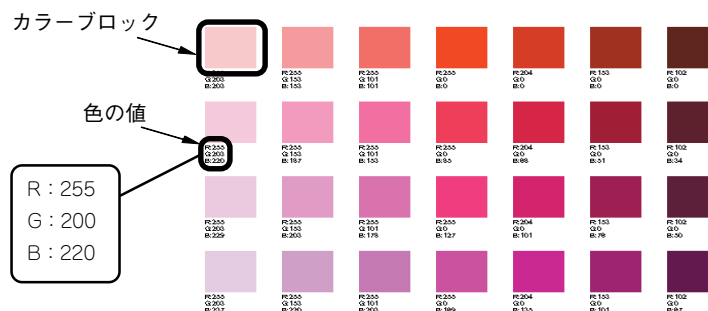
❶[スタート]-[プログラム](Windows XPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[色見本印刷ユーティリティ]-[色見本印刷ユーティリティ]を選択します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸プリンタを選択します。

❹[OK]または[印刷]をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。

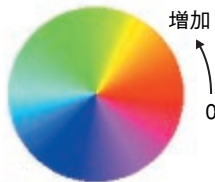
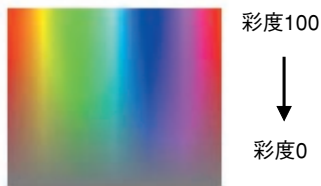
(サンプル)

メモ カラーブロックの下に表示されるRGB値は、カラーブロックのR(赤)、G(緑)、B(青)の色の成分量(0～255)を表しています。

❺印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されているRGB値をメモします。

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶ [ファイル]メニューの[カスタム色見本]を選択します。

❷ 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、[OK]をクリックします。

色相： 色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度： 鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

明度： 濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ プリンタを選択します。

❺ [OK]または[印刷]をクリックします。

プリンタから1ページ印刷されます。

❻ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

写真の印刷濃度を調整したい(ハーフトーン調整)

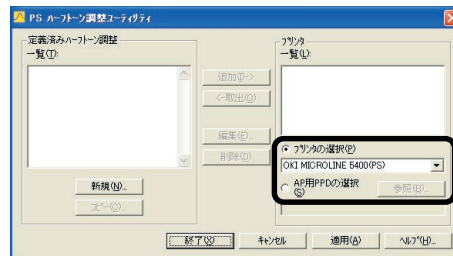
プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整することができます。
写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

- Windows PCLプリンタドライバでは利用できません。
- PSハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、13ページをご覧ください。
- Windowsでは[ハーフトーン調整名]を登録後、プリンタドライバの[カラー]タブに[ハーフトーン調整]メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、[ハーフトーン調整]で[指定なし]を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5Jの場合は、[プリント]ダイアログの[形式]で[プリンタ名]を選択してから[プリンタ特性]をクリックし、[ハーフトーン調整]で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、またはEPSファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、[ハーフトーン調整]で[指定なし]を選択してください。
- PSハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。[プリンタ](WindowsXPは[プリンタとFAX])フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PSプリンタドライバ

1 ハーフトーン調整名を登録します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [プリンタの選択]からプリンタを選択します。

アプリケーション(Adobe PageMaker等)によっては印刷時に独自に用意されたPPDファイルを使用するものがあります。この場合は[AP用PPDの選択]を選択し、[参照]をクリックしてアプリケーションの使用するPPDファイルを選択します。

❸ [新規]をクリックします。

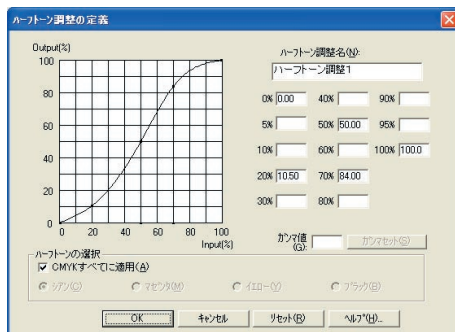
❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから[OK]をクリックします。
各色ごとに調整するときは、[CMYKすべてに適用]のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。

線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

- ガンマ値を入力する。

ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

〈調整の目安〉

以下を参考にしてください。
赤を濃くする場合　シアンの値を上げます。
青を濃くする場合　イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合　マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合　シアンの値を下げます。
青を薄くする場合　イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合　マゼンタの値を下げます。

❺ [追加→]をクリックします。

ハーフトーン調整名が[プリンタ]の[一覧]に表示されます。

❻ [適用]をクリックします。

1つのPPDファイルにWindowsMe/98/95では1つ、WindowsXP/2000/NT4.0/Server 2003では最大6つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPDへの登録完了画面で[OK]をクリックします。

❽ [終了]をクリックし、PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

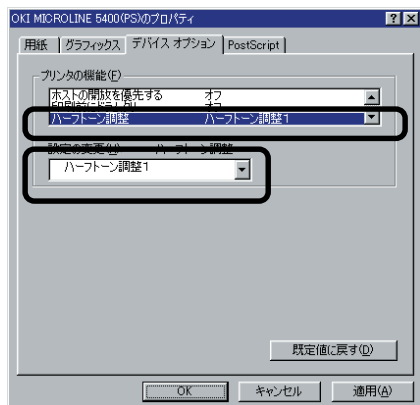
2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

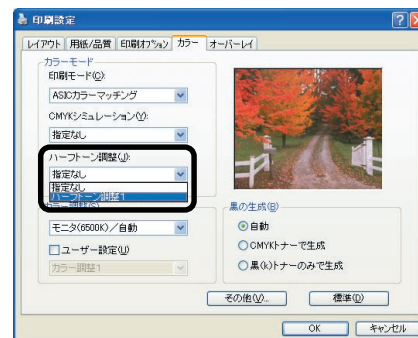
❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[ハーフトーン調整]を、[設定の変更]で手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー]タブの[ハーフトーン調整]で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[ハーフトーン調整]で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[ハーフトーン調整]で作成した調整名を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

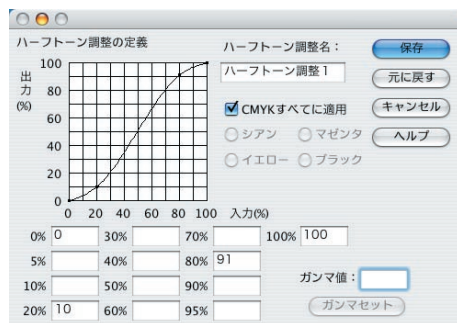
❶[アプリケーション]-[OKIDATA]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]をダブルクリックします。

❷[新規ハーフトーン調整の定義]をクリックします。

❸次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存]をクリックします。
各色ごとに調整するときは、[CMYKすべてに適用]のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。

  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。

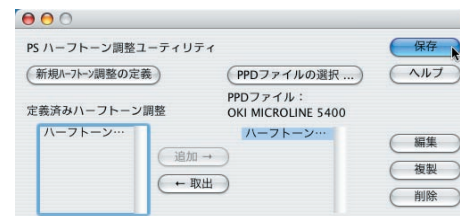
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は[PPDファイルの選択...]をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❺[追加→]をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

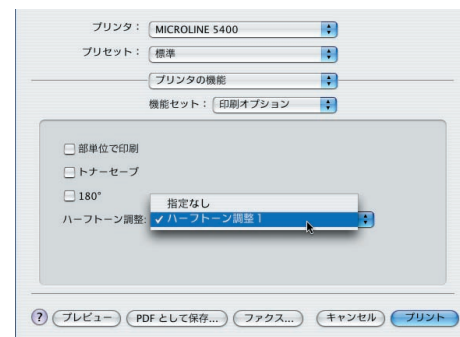
❻[保存]をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❼PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2以前では[プリントセンター])に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

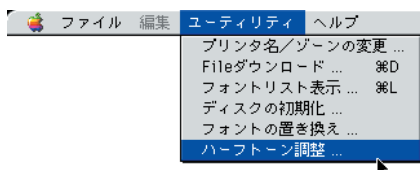
❾アプリケーションを起動します。

❿[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

⓫[プリンタの機能]パネルの[印刷オプション]機能セットの[ハーフトーン調整]で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

5
写真の印刷濃度を調節したい（ハーフトーン調整）

Macintoshプリンタドライバ

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[ハーフトーン調整...]を選択します。

❸ [新規ハーフトーン調整の定義]をクリックします。

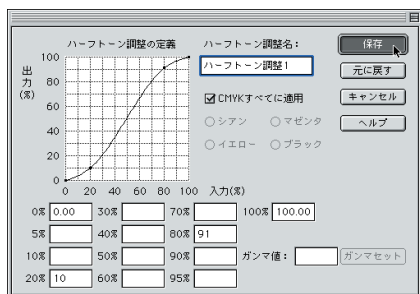
❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存]をクリックします。
各色ごとに調整するときは、[CMYKすべてに適用]のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。

  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

- ガンマ値を入力する。

  ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は[PPDファイルの選択...]をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❻ [追加→]をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼ [保存]をクリックします。

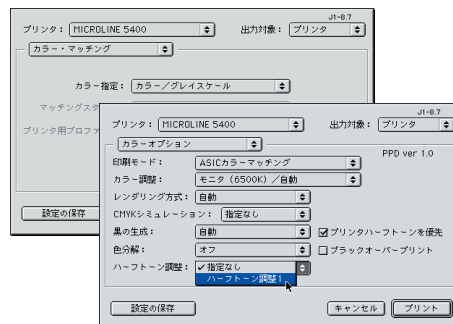
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utilityを終了します。

❾ アプリケーションを起動します。

❿ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

⓫ [カラー・マッチング]パネルの[カラー指定]で「カラー/グレースケール」を選択します。

⓬ [カラーオプション]パネルの[ハーフトーン調整]で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

分版印刷をしたい

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の 4 色に色分解印刷を行うことができます。

- Windows PCL ドライバでは利用できません。
- Mac OS X 10.0〜10.0.4では利用できません。
- Adobe Illustratorを使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用してください。プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

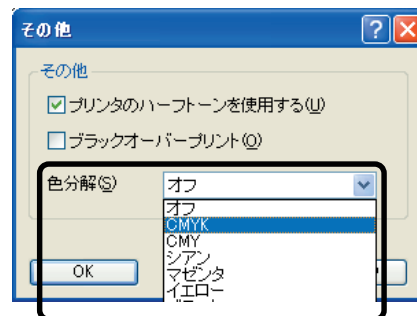
Windows98/95/Me PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[色分解]を、[設定の変更]で分版印刷したい色を選択します。

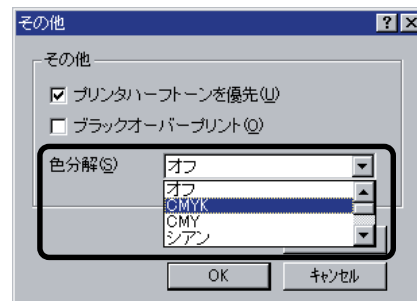
WindowsXP/2000/Server2003 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[その他]ボタンをクリックします。

❺ [色分解]で分版印刷したい色を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

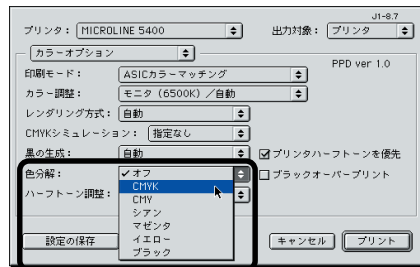
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [カラー]タブの[その他]ボタンをクリックします。

❺ [色分解]で分版印刷したい色を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[プリンタの機能]の[色分解]で分版印刷したい色を選択します。

Macintoshプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［カラー］機能セットの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

色ずれ補正を微調整したい

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。
プリンタは自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[C　イチズレ　ビチョウセイ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　設定値のプラスは黒を基準として画像が下方向に調整されます。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

2 印刷します。

色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い(Highlight)・濃い(Dark)・中間(Mid-tone)の3か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]、または[カラー印刷不可]に設定されている場合は印刷できません。

1 カラー調整パターンを印刷します。

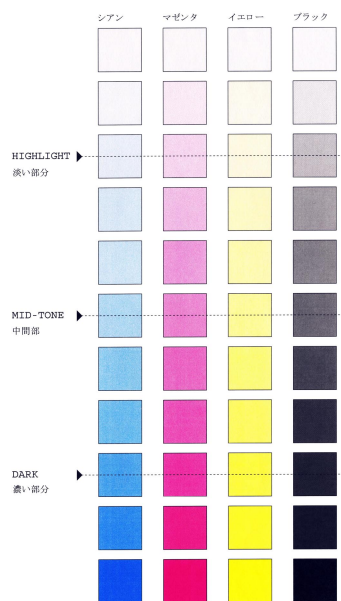
❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[カラー　チョウセイ／パターン　インサツ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦11行、横4列で配置されていて、縦11行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT淡い部分]、[MID-TONE中間部]、[DARK濃い部分]とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横4列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック]と印刷されています。

2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分(Highlight)の設定値を変更します。

❶[C　HIGHLIGHT／XX](XXは現在設定されている値)と表示されていることを確認します。表示されている場合は、❺に進みます。そうでない場合は、❷～❹を実行します。

❷ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押します。

❹ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[C　HIGHLIGHT／XX](XXは現在設定されている値)を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

❻ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❼ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❽ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順1, 2を繰り返してください。

6 プリンタメニューの使い方について

省電力モード(パワーセーブ)に入るまでの時間を変更したい

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

```
ハ゜ワーセーフ゛　イコウシ゛カン
60フン　　　　　　　　　　＊
```

「5フン」5分間データを受信しないと省電力モードになります。
「15フン」
「30フン」
* 「60フン」
「240フン」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

1. 「メニュー+」スイッチを数回押し、[システム　コウセイ　メニュー]を表示します。
2. 「設定」スイッチを押します。
3. 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[パワーセーブ　イコウ　ジカン]を表示します。
4. 「設定」スイッチを押します。
5. 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。
6. 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。
7. 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

メモ [メンテナンスメニュー]の[パワーセーブ　キノウ]を[ムコウ]にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源をOFFにしてください。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

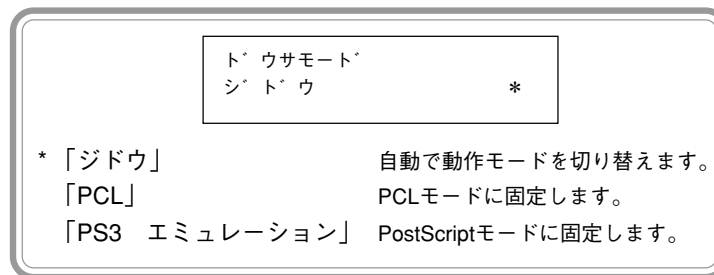
1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

❶ 「キャンセル」スイッチを2秒以上押して離します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- [データ　クリアチュウ]が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

プリンタの動作モードを変更したい

プリンタの動作モードを変更することができます。

ここでは操作パネルで動作モードを変更する手順を説明します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[システム　コウセイ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[ドウサモード]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

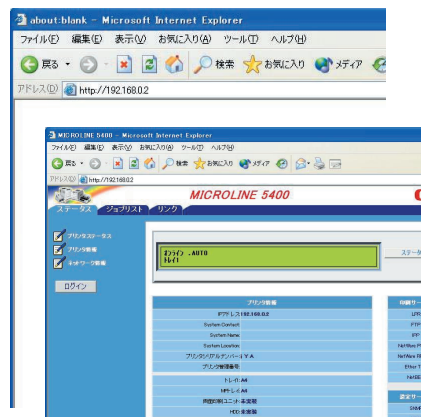
コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Windowsの場合、PrintSuperVision、ネットワークステータスモニタでも行うことができます。詳しくは「1 Windowsソフトウェア」（11ページ）をご覧ください。

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

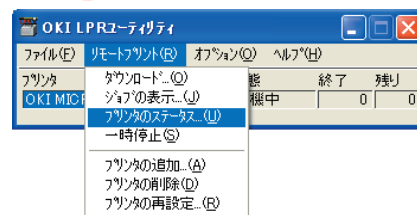
「プリンタステータス」画面で確認する

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

「ステータスウインドウ」で確認する

「ステータスウィンドウ」でも、プリンタの状態を確認することができます。
詳しくは「ステータスウインドウを使います」（67ページ（Windows）、85ページ（Macintosh））をご覧ください。

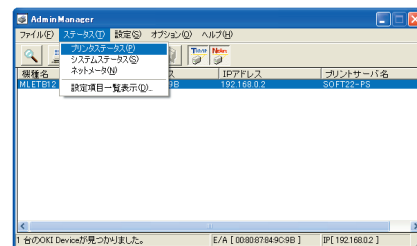
OKI LPRユーティリティ（Windows）を使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPRユーティリティを起動します。

❷ 対象のプリンタを選択します。[リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス...]または[ジョブの表示...]を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

AdminManager（Windows）を使う場合

TCP/IPまたはIPX/SPXでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ AdminManagerを起動します。

❷ 対象のプリンタを選択します。ML5400はMLETB12と表示されます。[ステータス]メニューの[プリンタステータス]を選択します。

プリンタステータス画面が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

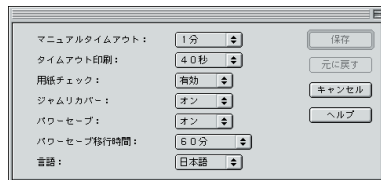
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

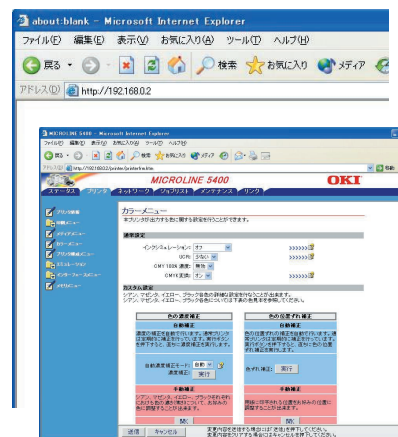
・プリンタの機種や現在の設定内容によって、各画面の表示内容は異なります。
・[タイムアウト印刷]の値は[5秒]、[40秒]、[5分]、[無限]のみ表示・設定できます。プリンタでこれ以外に設定されている場合は近い値を表示します。
・Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utilty]をダブルクリックします。

❷ 設定を変更し[設定]をクリックします。

メイン画面

オプション画面

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [ログイン]をクリックし、[ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は、「イーサネットアドレスの下6桁」です。イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

❸ 左のフレームから設定を変更したい項目をクリックします。

❹ 必要な変更をした後、[OK]をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

- A4用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。
- プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

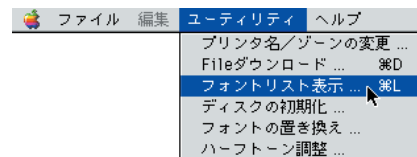
❸ 「設定」スイッチを押し、[PSE　フォント　インサツ／ジッコウ](PSモードの場合)、[PCL　フォント　インサツ／ジッコウ](PCLモードの場合)を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

フォント名が印刷されます。

MicrolinePS Utility(Macintosh)を使う場合

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[フォントリスト表示...]を選択します。

❸ [プリンタ　ROM]を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

6

プリンタ内蔵フォントを確認したい

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[セントロ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[ソウホウコウ　セントロ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[ムコウ]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❽ 電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

ECPを無効にするには

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[セントロ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[ECP]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[ムコウ]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❽ 電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

内蔵ハードディスク（オプション）を初期化したい

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
内蔵ハードディスクは3つのパーティションに分割されています。内蔵ハードディスクをイニシャライズすると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

内蔵ハードディスクのパーティションには［PSE］、［PCL］、［キョウツウ］があります。

［PSE］
　PostScriptモードのフォームを格納するエリアです。
［PCL］
　PCLモードのフォームを格納するエリアです。
［キョウツウ］
　「認証印刷」、「確認印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

内蔵ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

- 「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

注

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、内蔵ハードディスクの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

［ディスク　メンテナンス］は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで［DISK MAINTENANCE］の設定を［ENABLE］に変更する必要があります。詳しくは「プリンタのアドミニストレータメニュー一覧」（セットアップ編）をご覧ください。

イニシャライズ

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［ディスク　メンテナンス］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［HDD　ショキカ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

注 初期化を取り消すには、ここで「キャンセル」スイッチを押します。
「設定」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❺ 「設定」スイッチを押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？ Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

注 ここで「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにイニシャライズが行われます。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ ［デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。イニシャライズが行われます。

特定のパーティションのフォーマット

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［ディスク　メンテナンス］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［HDD　フォーマット］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のパーティションを表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？　Y=ENTER ／ N=CANCEL］を表示します。

注 初期化を取り消すには、ここで「キャンセル」スイッチを押します。
「設定」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❼ 「設定」スイッチを押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？　Y=ENTER ／ N=CANCEL］を表示します。

❽ 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

❾ ［デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源をOFFにします。

❿ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ 初期化する場合は[ディスク全体の初期化]をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの初期化]をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの使用用途]でパーティション種類を選択して[パーティションの初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[はい]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[はい]をクリックします。

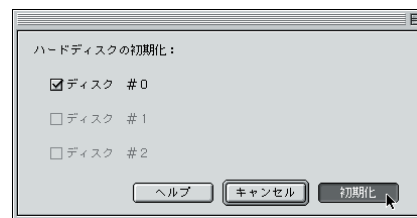
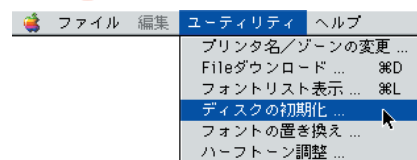
❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

MicrolinePS Utility(Macintosh)を使う場合

PSパーティションのフォーマットを行います。PCL、キョウツウのパーティションはそのままです。

Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[ディスクの初期化...]を選択します。

❸ 初期化するハードディスクのディスク番号にチェックを付け、[初期化]をクリックします。

ディスク番号はパーティション番号ではありません。PSパーティションがディスク#0となります。
PSパーティションが複数ある場合は、パーティション番号が小さい方からディスク#0、ディスク#1、ディスク#2となります。

ハードディスクの初期化を行うとハードディスク内の情報はすべて初期化されます。
初期化を行う前にハードディスクの内容を確認し、フォントが既にインストールされているハードディスクを初期化しないようくれぐれもご注意ください。
初期化 キャンセル

❹ 初期化してもよいか再度確認し、[初期化]をクリックします。

❺ 再起動確認画面で[OK]をクリックします。

❻ プリンタの電源をOFF/ONします。

電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

注 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IPアドレスを設定してください。

メモ プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「AdminManager」で設定することもできます。「AdminManager」での設定方法は、「AdminManager」(17ページ)をご覧ください。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ [TCP/IP／ENABLE　＊]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP／DISABLE　＊]と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」スイッチを押します。

② 「メニュー＋」スイッチを押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

③ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❹ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

❻ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❼ 「設定」スイッチを押し、次の桁に移動します。❻と❼を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❽ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹～❽ を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❾ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

内蔵ハードディスク(オプション)やフラッシュメモリの空き容量を確認したい(Windows)

内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、72ページをご覧ください。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [終了]をクリックします。

❹ [閉じる]をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[リソースを表示する]を選択します。

❻ 内蔵ハードディスクの場合は[DISK]を、フラッシュメモリの場合は[FLASH0]を選択します。

注 内蔵ハードディスクが搭載されていない場合は、[DISK]は表示されません。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	2000576512	2000543744	HDD0	PCL
ボリューム 1:	5001453568	5000052736	HDD0	COMMON
ボリューム %dis...	3000868864	3000442880	HDD0	PS

❼ [表示]メニューから[詳細]を選択します。

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量がByte単位で表示されます。

フラッシュメモリの場合は、[PSE]と[MIX]が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

内蔵ハードディスク(オプション)やフラッシュメモリの空き容量を確保したい

内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

内蔵ハードディスクの場合

内蔵ハードディスクの不要なジョブを削除する

「確認印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティションに残ったままになっていると、ハードディスクの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい(確認印刷)」(120ページ)、「パスワードを入力してから印刷したい(認証印刷)」(124ページ)、「ジョブを保存して繰り返し使用したい」(129ページ)をご覧ください。

「キョウツウ」パーティションの空き容量が確保されます。「PSE」および「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

内蔵ハードディスクのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

- 「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

プリントジョブアカウンティング(オプション)にプリンタがすでに追加されている場合は、パーティションのサイズを変更する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

注 [ディスク　メンテナンス]は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで[DISK MAINTENANCE]の設定を[ENABLE]に変更する必要があります。詳しくは「プリンタのアドミニストレータメニュー一覧」(セットアップ編)をご覧ください。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[ディスク　メンテナンス]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[パーティション　サイズ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[PCL／キョウツウ／PSE　20%／50%／30%](工場出荷時)を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押し、PCLパーティションサイズを点滅させます。

❻ サイズを変更しない場合は❼へ進みます。
サイズを変更する場合は、 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ PCLパーティションサイズを変更すると、キョウツウパーティションサイズも変わります。

❼ 「設定」スイッチを押し、キョウツウパーティションサイズを点滅させます。

❽ サイズを変更しない場合は❾へ進みます。
サイズを変更する場合は、 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ キョウツウパーティションサイズを変更すると、PSEパーティションサイズも変わります。

❾ 「設定」スイッチを押し、PSEパーティションサイズを点滅させます。

❿ サイズを変更しない場合は⓫へ進みます。
サイズを変更する場合は、 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ PSE パーティションサイズを変更すると、PCL パーティションサイズも変わります。

⓫ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ?　Y=ENTER／N=CANCEL]を表示します。

注 サイズの変更を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。
「設定」スイッチを押すと、サイズの変更を取り消すことはできません。

⓬ 「設定」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ?　Y=ENTER／N=CANCEL]を表示します。

⓭ 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

⓮ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

⓯ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

OKI ストレージデバイスマネージャ(Windows)を使う場合

「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、72ページをご覧ください。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。[プリンタ]メニューから[管理者機能]を選択します。

❺ [現在のパスワード]に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化]をクリックします。

❼ リストからHDDパーティションを選択し、[ハードディスクのパーティションサイズ変更]でサイズを変更し、[ディスク全体の初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[OK]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[はい]をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

内蔵ハードディスク(オプション)の初期化をします

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。

内蔵ハードディスクの初期化を行う場合は、「内蔵ハードディスク(オプション)を初期化したい」(220ページ)をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

注 プリントジョブアカウンティング(オプション)にプリンタがすでに追加されている場合は、フラッシュメモリを初期化する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのフラッシュメモリから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

[ディスク　メンテナンス]は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで[DISK MAINTENANCE]の設定を[ENABLE]に変更する必要があります。詳しくは「プリンタのアドミニストレータメニュー一覧」(セットアップ編)をご覧ください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メモリ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[FLASHメモリ　ショキカ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ?　Y=ENTER ／ N=CANCEL]を表示します。

初期化を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。
「設定」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❺ 「設定」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ?　Y=ENTER ／ N=CANCEL]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときに初期化が行われます。

❼ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、72ページをご覧ください。

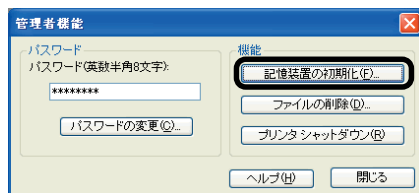
❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[すべてのプログラム]）-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。[プリンタ]メニューから[管理者機能]を選択します。

❺ [現在のパスワード]に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化]をクリックします。

❼ リストからFlashパーティションを選択し、[フラッシュ全体の初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[はい]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[OK]をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

6
内蔵ハードディスク（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確保したい（Windows）

7 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、ネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。（242ページ参照）
設定値を変更するには、TELNET, Webブラウザ, AdminManager（Windows）, Quick Setup（Windows）, Setup Utility（Macintosh）を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
TCP/IP Protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	RARPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
Auto IP Address	サーバを使用しないアドレス解決	Network PnP 設定IPアドレス自動設定*1	ENABLE（自動設定する） DISABLE（自動設定しない）	サーバを使用しないでIPアドレスを取得する機能の使用／非使用を設定します。
DNS Server(Pri.)	DNSサーバアドレス（プライマリ）	DNSサーバプライマリサーバ*1	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス（セカンダリ）	DNSサーバセカンダリサーバ*1	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
root Password	パスワード設定	rootパスワード	イーサネットアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
Network PnP	検出機能	Network PnP 設定 Network PnPを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	ネットワークPlug&Play機能の 使用／非使用を設定します。
Rendez-vous	機能検出	－	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	Rendezvous機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	デバイス名*1	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ネットワークPlug&Play機能とRendezvous機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。

＊1: Setup Utilityでは設定できません。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
SysContact	System Contact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysName	System Name	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysLocation	System Location	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
－	プリンタ管理番号	－	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetWare Protocol	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWareの使用／非使用を設定します。
Protocol	通信プロトコル	プロトコル*1	IPX TCP/IP	NetWareを動作させるプロトコルをIPXかTCP/IPに設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO ETHER-II（ETHERNET-II） 802.2（IEEE802.2） 802.3（IEEE802.3） SNAP(SNAP)	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
PrinterName	プリンタ名	NetWareプリンタ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-prn1」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
NetWare Mode	印刷モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

＊1: Setup Utilityでは設定できません。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IP NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Password	−	−	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Job Polling Time	−	−	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IPX NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Job Polling Time	ジョブポーリング時間	ジョブポーリング間隔	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Bindery Mode	バインダリモード	バインダリモード	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWareのバージョンが、6.0/5.0/4.1のバインダリネットワーク、または3.12へ接続するときには「Enable」、6.0/5.0/4.1のNDSで使用するときには「Disable」を設定します。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX File Server #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大 8 台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX PrintServer #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX JobTimeout	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4秒 〜 10秒 〜 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルからの印刷がなかなか始まらなくなります。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
EtherTalk Protocol	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	EtherTalkの使用／非使用を設定します。
EtherTalk Printer Name	EtherTalkプリンタ名	EtherTalkプリンタ名	製品名	EtherTalkのプリンタ名を指定します。32文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalkゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalkゾーン名を指定します。32文字以内の英数字です。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetBEUI Protocol	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetBEUIの使用／非使用を設定します。
Computer Name	コンピュータ名	コンピュータ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNet-BEUI上で識別されます。Windowsであればネットワークコンピュータ中のPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*2
Workgroup Name	ワークグループ名	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	EthernetBoard MLETB12	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。
WINS Server(Pri.)	WINSサーバ（プライマリ）	WINSサーバ プライマリサーバ*1	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	WINSサーバ セカンダリサーバ*1	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	WINSサーバ スコープID*1	なし	WINSのScopeIDを設定します。1〜223文字の英数字です。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

*2:　表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機　能
SETUP	Config.ini	IPアドレスの設定変更ができます。 このファイル中のIPアドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタのIPアドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつWeb Pageを起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設計値を表示するファイルですから、Report.txtとは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定した値を表示するファイルですから、Status.txtとは内容が異なる場合があります。

- 本プリンタのMaster Browser機能は、Workgroup名が「Print Server」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- ML5400以外の機器のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。（その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。）
- 本プリンタのMaster Browser機能で管理できるプリンタは最大8台です。
- NetBEUIプロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名*1	public	プリンタTRAPのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trapを有効にする*1	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	プリンタTrapアドレス設定 #1-5	TCP#1-5*1	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。

*1:　Setup Utilityでは設定できません。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	IPX Printer Trapを有効にする*1	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Printer Reboot Trap	IPX プリンタ再起動	IPX プリンタリブート*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Receive Illegal Trap	IPX 不正Trap受信	IPX 受信異常*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX プリンタTrapアドレス設定	IPX*1	00000000: 000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

*1:　Setup Utilityでは設定できません。

SMTP（E-Mail）

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
SMTP Transmit	SMTP送信	SMTP送信プロトコルを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTPサーバ	SMTPサーバアドレス/サーバ名*1	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTPポート番号	SMTPポート番号*1	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail Address	プリンタEmail アドレス	E-Mailアドレス*1	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Reply-To Address	返信先Emailアドレス	返信用アドレス*1	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event To Address #1-5	Emailアドレス #1-5	送信先アドレス #1-5*1	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Signature line #1-4	署名 #1-4行目	署名 #1-4*1	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は64文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
Re-send Interval #1-5	チェック間隔 #1-5	チェック間隔 #1-5*1	DISABLE(無効) 30min 60min 24hour	DISABLE(無効)の場合は、プリンタイベントが発生した時点でのみメールが送信されますが、 30min、60min、24hour に設定した場合は、設定された間隔でプリンタイベントが発生しているかどうか確認し、選択されているプリンタイベントが発生していれば、発生しているプリンタイベントを1通のメールにまとめて送信します。

*1:　Setup Utilityでは設定できません。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Off Line #1-5	オフライン #1-5	オフライン #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタがオフラインになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Consum-able Message #1-5	メンテナンス #1-5	メンテナンス #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品(ドラムカートリッジ、ベルト、定着器)が寿命になったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Toner Low/Out #1-5	トナー交換 #1-5	トナー交換 #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのトナーが少なくなった場合やトナーエラー時に、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Low/Out #1-5	用紙補充 #1-5	用紙補充 #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに用紙がなくなったときや少なくなったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Jam #1-5	用紙ジャム #1-5	用紙ジャム #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに用紙がつまったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Cover Open #1-5	カバーオープン #1-5	カバーオープン #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのカバーが開いているときに、メールを送信するかどうか設定します。
Stacker Error #1-5	スタッカーエラー#1-5	スタッカーエラー#1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのスタッカに用紙がいっぱいになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Mass Storage Error #1-5	ストレージエラー#1-5	ストレージエラー#1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのハードディスクがディスクフルエラーになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Recover-able Error #1-5	復旧可能エラー #1-5	復旧可能エラー #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタがエラーになったとき(復旧可能)に、メールを送信するかどうか設定します。
Service Call Req. #1-5	サービスコール要求 #1-5	サービスコール要求 #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタにエラー(復旧不可能)が発生したときに、メールを送信するかどうか設定します。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
FTP Service	FTPサービス	FTP Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet Service	Telnetサービス	Telnet Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web Service	Web(IPP)サービス	Web Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
SNMP Service	SNMPサービス	SNMP Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE(使用する)でお使いください。
LAN Scale	LAN	LAN Scale*1	NORMAL(普通) SMALL(小型)	Normal(普通):通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小型):コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
DefaultTTL	−	DefaultTTL	0 〜 255	IPパケット生存値(TTL値)を設定します。この値は通常変更する必要はありません。
−	オペパネのロック	−	ロック解除 ロック	オペレータパネルの殆どの操作を禁止させることが出来ます。
−	HEXダンプモード	−	OFF ON	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

printer port

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
BOJ String	−	−	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に次の特殊コードも指定できます。 ¥b: バックスペースコード(0x08) ¥t: タブコード(0x09) ¥n: 改行コード(0x0a) ¥v: 垂直タブコード(0x0b) ¥f: 改頁コード(0x0c) ¥r: 復帰コード(0x0d) ¥xnn nnで表現される16進コード ¥" " コード(0x22) ¥¥ ¥ コード(0x5c)
EOJ String	−	−	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
BOJ String (KANJI)	−	−	なし	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
EOJ String (KANJI)	−	−	¥x04	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Printer Type	−	−	PS(PostScript)固定	漢字フィルタのプリンタTypeを設定します。
TAB Size (char.)	−	−	0 〜 8 〜 16	漢字フィルタ経由で出力するときに、タブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字幅を0にすると、タブ変換処理は行われません。
Page Width (char.)	−	−	0 〜 78 〜 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。
Page Length (line)	−	−	0 〜 66 〜 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ長を設定します。
FTP/LPR Banner	−	FTP/LPRバナーを使用する	YES(使用する) NO(使用しない)	LPRやFTPで印刷する場合にバナーページを使用するかどうか設定します。TCP/IPプロトコルのみ有効です。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IP Filtering	IPフィルタリング	IPフィルタを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Filtering range #1-10	IPアドレスの範囲#1-10	IPファイルアドレスの範囲 #1-10*1	なし-なし	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。 単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0は入力できません。
Start Address	開始アドレス	開始アドレス*1	0.0.0.0	
End Address	終了アドレス	終了アドレス*1	0.0.0.0	
range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
range #1-10 Configuration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	管理者のIPアドレス*1	0.0.0.0	管理者のIPアドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

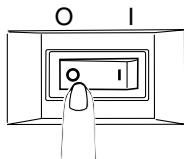
Job List

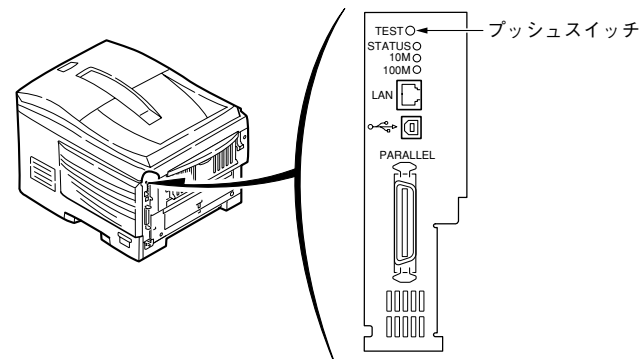
網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
―	ジョブキュー表示項目設定	―	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

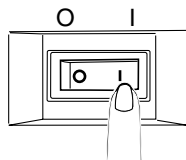
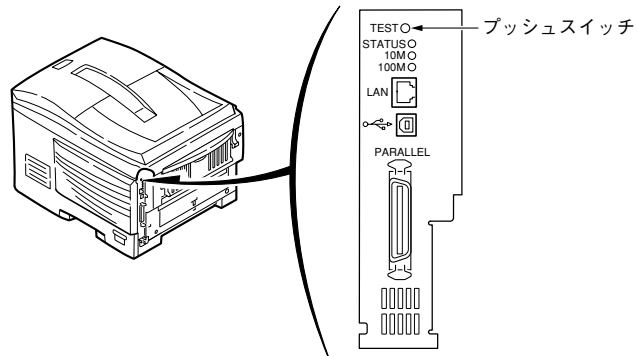
ネットワーク機能を初期化します

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源を ON にし、操作パネル上に［オンライン］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷します

1 プリンタの電源をONにし、[オンライン]になったことを確認します。

2 先端の細い道具(ボールペンなど)を使って、プッシュスイッチを3秒間以上押し続けてから、離します。

最初にプリンタのメニューマップが2枚印刷され、続いてネットワークの設定情報(Network Information)が4枚印刷されます。

（例）　　　　イーサネットアドレス（MAC address）

Network Information

System Information

Serial Number	j Y A
Asset Number	
System Contact	
System Name	
System Location	

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	02.15
		OkiWebRemote	O2.02
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting			
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Full)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	233	
	Packets Transmitted	416	
	Total Packets Received		
	Unsendable Packets		
	Bad Packets Received		
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		
EtherTalk Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL
IP Address	192.168.0.2
Subnet Mask	255.255.0.0
Default Gateway	0.0.0.0
Web Address	http://192.168.0.2
WEB(IPP) Port Number	80
DNS Server (Primary)	0.0.0.0
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0
DefaultTTL	255

Auto Discovery
- Windows(Network Plug and Play)
- Macintosh(Rendezvous)
- Printer Name(Printer is identified by this name.)
- link-local Address

If your computer can not connect this printer with the browser, s
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP addres
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the bro
If you will access the local address,set the pr

NetBEUI Configuration

Computer Name	ML849C9B
Workgroup Name	PrintServer
Comment	EthernetBoard MLETB12
Master Browser	ML849C9B
WINS Server Name(Primary)	0.0.0.0
WINS Server Name(Secondary)	0.0.0.0
WINS Registration Status	Registration is not performed.
Scope ID	

IPP Configuration

To print using IPP use the following URIs
- http://192.168.0.2/ipp
- http://192.168.0.2:631/ipp
- http://192.168.0.2/ipp/lp
- http://192.168.0.2:631/ipp/lp

SNMP Trap Configuration

Printer Trap Community Name　public

Trap Destination	Trap Enable/Disable	Address
Address 1	Disable	0.0.0.0
Address 2	Disable	0.0.0.0
Address 3	Disable	0.0.0.0
Address 4	Disable	0.0.0.0
Address 5	Disable	0.0.0.0
IPX	Disable	00000000:000000000000

Trap Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5	IPX
Printer Reboot	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Receive Illegal Packet	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Online	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Offline	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Jam	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Cover Open	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Printer Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

(N/A = Not Available)

Email Setting Configuration

Email Receive Settings

SMTP Receive	Disable
POP3 Protocol	Disable
POP Server Name	
POP Account	
POP Password	
POP Receive Interval	OFF
POP Port Number	110
APOP Support	NO

Email Transmit Settings

SMTP Transmit	Enable
SMTP Server	mailsrv.okidata.com
Printer E-mail Address	microline@okidata.com
Reply-To Address	prtadmin@okidata.com
SMTP Port Number	25

Email Recipients

Email Address 1	user1@okidata.com
Email Address 2	
Email Address 3	
Email Address 4	
Email Address 5	

Trouble Report Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5
Consumable Warning	Available	Available	Available	Available	Available
Consumable Error	Available	Available	Available	Available	Available
Maintenance Unit Warning	Available	Av			
Maintenance Unit Error	Available	Av			
Paper Supply Warning	Available	Av			
Paper Supply Error	Available	Av			
Printing Paper Warning	N/A				
Printing Paper Error	Available	Av			
Flash Memory Warning	Available				
Print Result Warning	Available				
Print Result Error	Available	Av			
Interface Warning	N/A				
Interface Error	Available	Av			
Other Error	Available	Av			

Email Comment

Comment Line 1　:
Comment Line 2　:
Comment Line 3　:
Comment Line 4　:

NetWare Configuration

Network No	2222222C
Printer Name	ML849C9B-prn1
NetWare Mode	Queue Server Mode (Print server + Bindery/NDS + IPX)

P-Server Mode

Print Server Name	ML849C9B
Password	
Job Polling Rate	4 Sec
Bindery Mode	Enable
NDS Mode	
Tree Name	
Context Name	

	Status	Server Name
File Server1		
File Server2		
File Server3		
File Server4		
File Server5		
File Server6		
File Server7		
File Server8		

R-Printer Mode

Job Timeout　10 Sec

	Status	Server Name
Print Server 1		
Print Server 2		
Print Server 3		
Print Server 4		
Print Server 5		
Print Server 6		
Print Server 7		
Print Server 8		

EtherTalk Configuration

Printer Name	MICROLINE 5400
Type Name	LaserWriter
Zone Name	*
Address	65280
Node	170

Maintenance

Service Option
If Web and Telnet Service is disable and Operator Panel locked, product configuration is not available.

Web/IPP Service	Enable
Telnet Service	Enable
FTP Service	Enable
SNMP Service	Enable

Operator Panel Lockout　Lock printer's operator panel to prevent menu changes　Enable

LAN scale Setting　NORMAL
Usually set "NORMAL".
If printer connect to small LAN, set "SMALL". Then printer network connection is much more efficient.

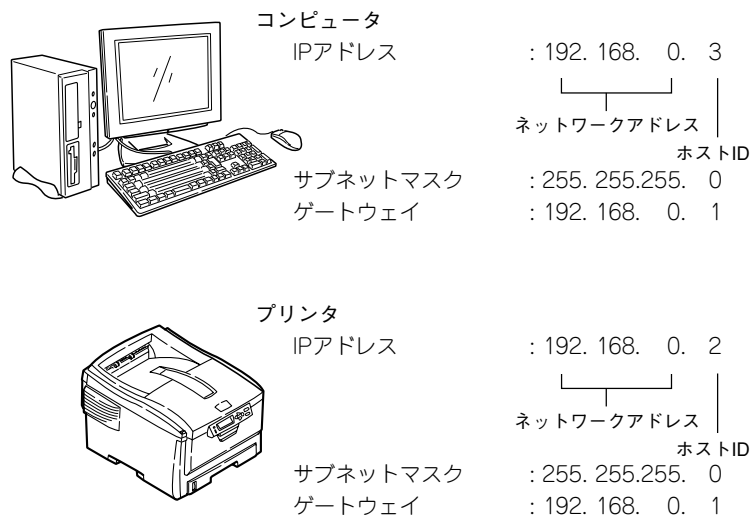
Network Chip Check	OK
Flash ROM Check	OK

IPアドレスの設定

IPアドレスとは…

TCP/IPプロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

- Macintoshをネットワーク接続する場合は、EtherTalkプロトコルを使用するため、IPアドレスを設定する必要はありません。
- Macintosh環境でWebブラウザ（77ページ）やSetup Utility（86ページ）を使用する場合には、IPアドレスを設定してください。

（例）

IPアドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3桁の数字が4つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホストIDといいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホストIDは、どの機器とも重複しないような値で、1〜254の間で設定します。
また、IPアドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータのIPアドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータのIPアドレス

お手元のコンピュータに設定されているIPアドレスを確認しましょう。

コンピュータのIPアドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかやDHCPなどのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピュータは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ（ADSLルータやISDNルータ）にはDHCPサーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得しているIPアドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windowsの場合

❶ Windowsを起動します。

❷ コマンドプロンプト（MS-DOSプロンプト）を選択します。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。

〈WindowsMeの場合〉
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。

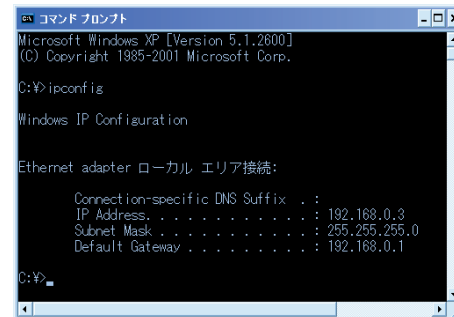
〈Windows98/95の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。

〈Windows2000/Server2003の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。

〈WindowsNT4.0の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]を選択します。

❸ 〈WindowsXP/Me/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
キーボードから[ipconfig]と入力し、[Enter]キーを押します。

〈Windows98/95の場合〉
キーボードから[winipcfg]と入力し、[Enter]キーを押します。

現在設定されているIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

（WindowsXPの場合）

Macintoshの場合

❶ Macintoshを起動します。

❷ 〈Macintoshの場合〉
[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[TCP/IP]を選択します。

〈Mac OS Xの場合〉
[アップルメニュー]-[システム環境設定]-[インターネットとネットワーク]-[ネットワーク]-[表示]で[内蔵Ethernet]を選択し、[TCP/IP]タブを選択します。

表示されない場合は、[すべて表示]をクリックしてください。

プリンタのIPアドレスを確認します

現在、プリンタにどんなIPアドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷し、IPアドレスを確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)の詳細は242ページをご覧ください。

Network Information

System Information

Serial Number j Y A
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	02.15
		OkiWebRemote	O2.02
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting	Auto Negotiation		
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Full)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	233	
	Packets Transmitted	416	
	Total Packets Received	530	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		
EtherTalk Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL		
		DHCP/BOOTP	Disable
		RARP	Disable
		Non Server Address Resolution	Disable
IP Address	192.168.0.2		
Subnet Mask	255.255.0.0		
Default Gateway	0.0.0.0		
Web Address	http://192.168.0.2		
WEB(IPP) Port Number	80		
DNS Server (Primary)	0.0.0.0		
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0		
DefaultTTL	255		

Auto Discovery

Windows(Network Plug and Play)	Enable
Macintosh(Rendezvous)	Enable
Printer Name(Printer is identified by this name.)	ML849C9B
link-local Address	169.254.100.148

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 2 .)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.2
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

プリンタのIPアドレスを設定します

ネットワークの環境に応じて、プリンタにIPアドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用します。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合
  プリンタは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。
  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。
  - IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
  - IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
  - サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてWindowsXPの場合
  プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。つまり「ネットワークPlug&Play」が使用できる設定になって、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。WindowsXPも標準で「ネットワークPlug&Play」機能を搭載しています。そのため、ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなくても、ネットワークPlug&Play機能を使用し、お互いに通信して自動的にIPアドレスを取得します。
  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。
  - IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてMacintoshで、WebブラウザやSetup Utilityを使用しない場合

Macintoshをネットワーク接続する場合は、EtherTalkプロトコルを使用するため、IPアドレスを設定する必要はありません。

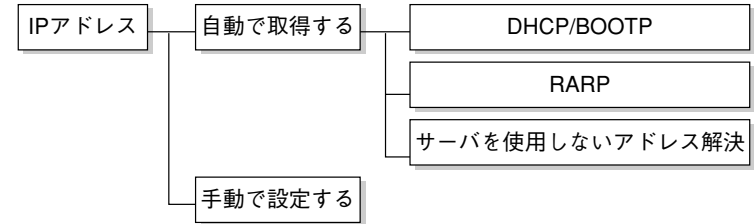
(2) IPアドレスを手動で設定します。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められたIPアドレスを指定されたなど、(1)に当てはまらない場合

プリンタに決められたIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスは、プリンタの操作パネルやAdminManager(Windows)、Setup Utility(Macintosh)、TELNETなどで設定できます。

設定の詳細は、「AdminManager」(17ページ)、「Setup Utility」(86ページ)、「TELNET」(68ページ)、「プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい」(223ページ)をご覧ください。

IPアドレス設定のしくみ(参考)

IPアドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

DHCP/BOOTPを使います

DHCPサーバまたはBOOTPサーバからIPアドレスを取得できます。

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCPサーバの設定

DHCPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに動的にIPアドレスを割り当てるためのプロトコルです。IPアドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定のIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバを設定してください。ランダムにIPアドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定のIPアドレスを割り当てる方法については、各DHCPサーバのマニュアルをご覧ください。

動作確認環境

Windows2003 Server日本語版 DHCPサーバ
Windows2000 Server日本語版 DHCPサーバ
Windows2000 Advanced Server日本語版 DHCPサーバ
WindowsNT Server4.0日本語版 DHCPサーバ
WindowsNT Server4.0日本語版 DHCPリレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE版DHCPバージョン 1.3.6

以下の説明は、WindowsNT Server4.0日本語版DHCPサーバを例にしています。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [ネットワーク]をダブルクリックし、[サービス]タブを開きます。

> [ネットワークサービス]に[Microsoft DHCP サーバー]が表示されている場合は?
>
> ☞ ❻へ進みます。

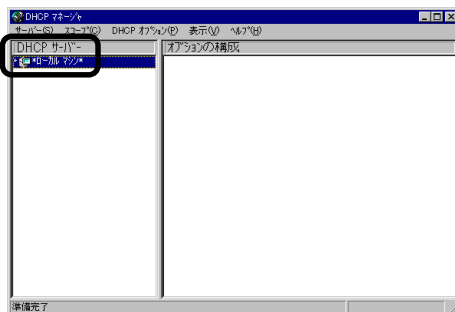
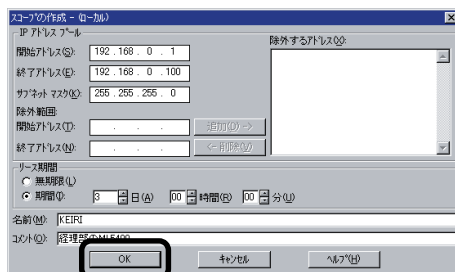
❸ [追加]をクリックします。

❹ [Microsoft DHCPサーバー]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ Windowsを再起動します。

☞ ❷からの続き

❻ [スタート]-[プログラム]-[管理ツール(共通)]-[DHCPマネージャ]を選択します。

❼ [DHCPサーバー]一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽ [スコープ]メニューの[作成]を選択し、[IPアドレス　プール]の設定を行い、[OK]をクリックします。

❾ [スコープ]メニューの[予約の追加]を選択し、各項目を入力し、[追加]をクリックします。

① IPアドレスを入力します。

② [一意のID]に、プリンタのイーサネットアドレスを入力します。

③ [クライアント名]、[クライアントコメント]に任意の名前を入力します。

- 必ず[予約の追加]でIPアドレスを割り当ててください。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❿ [閉じる]をクリックします。

⓫ [スコープ]メニューの[アクティブ化]を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬ [DHCPマネージャ]を終了します。

BOOTPサーバの設定

BOOTPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、BOOTPサーバに登録したIPアドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション	：HP-UX 9.xのBOOTPサーバ
IPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名	：ML5400

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

❶ /etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML5400
```

❷ /etc/bootptabファイルに次の設定を追加します。

`ML5400:\`	/etc/hostsに登録したホスト名
`ht=ether:\`	ハードウェアタイプを[ether]にします。
`ha=008087849C9B:\`	イーサネットアドレス
`ip=192.168.0.2:\`	IPアドレス
`sm=255.255.255.0:\`	サブネットマスク
`gw=192.168.0.1:\`	ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.confファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetdを再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ プリンタの電源をONにします。

プリンタの設定

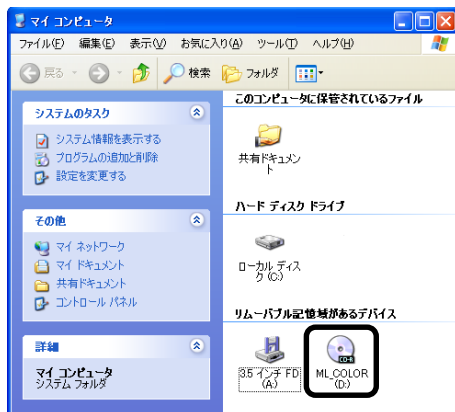
以下の説明は、AdminManagerとWindowsXP Home Editionを例にしています。

プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源をONにします。

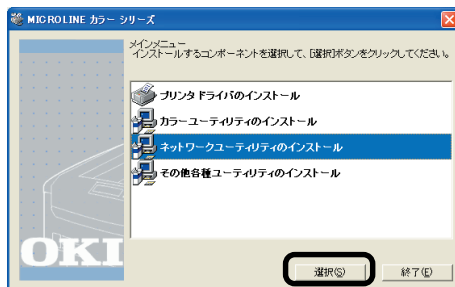
❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

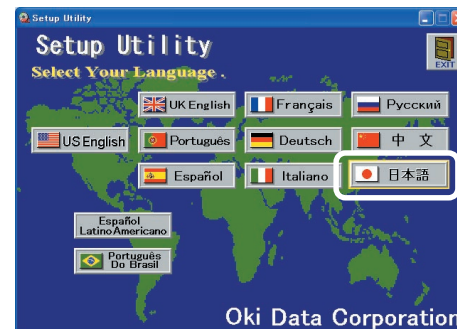
❸ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❹[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_ COLOR]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

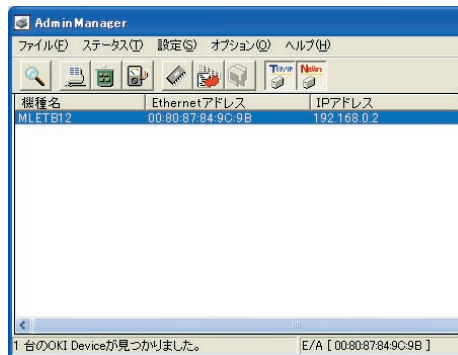
❻「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❼[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❽[NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

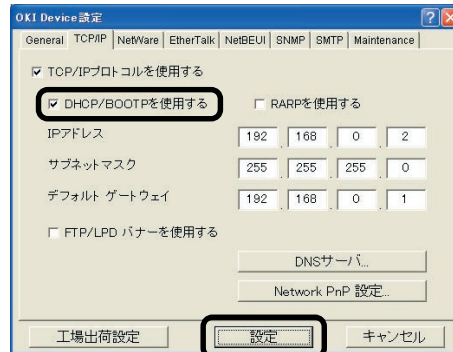
❾[日本語]をクリックします。

❿[OKI Device Standard Setup]をクリックします。

⑪ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⑫ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

⑬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選びます。

⑭ [TCP/IP]タブの[DHCP/BOOTPを使用する]をチェックし、[設定]をクリックします。

⑮ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⑯ 設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

RARPを使います

RARPサーバからIPアドレスを取得できます。

- セットアップにはスーパーユーザの権限が必要です。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション　：SunOS4.1.x
IPアドレス　：192.168.0.2
イーサネットアドレス　：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　：ML5400

メモ　イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

RARPサーバの設定

RARPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、RARPサーバに登録したIPアドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源をONにすることでIPアドレスを取得することができます。

❶ /etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML5400
```

❷ /etc/ethersファイルにイーサネットアドレスとホスト名の組み合わせを追加します。ホスト名は、/etc/hostsファイルに登録したホスト名と同じにします。

```
00:80:87:84:9C:9B ML5400
```

❸ RARPDを起動します。

```
#rarpd -a
```

- rarpdの起動方法については、UNIXのマニュアルをご覧ください。
- rarpdはUNIXを起動するたびに必要になりますので、/etc/rcなどのファイルから起動するようにしておくと便利です。

❹ プリンタの電源をONにします。

プリンタの設定

telnetで設定します。

プリンタの初期設定では「RARP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ arpコマンドを使って、プリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

❷ pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

応答がない場合は、IPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

❸ telnetでプリンタにログインします。
詳細は、「TELNET」（68ページ）をご覧ください。

❹ TCP/IP設定画面で[RARP protocol]を[ENABLE]にします。

❺ プリンタからログアウトします。

❻ 設定値を有効にするため、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源をONしてください。

IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。
AdminManager（Windows）、Webブラウザ、telnetで設定ができます。

- プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「DISABLE」に設定されています。
- IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：ML5400
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動と設定方法

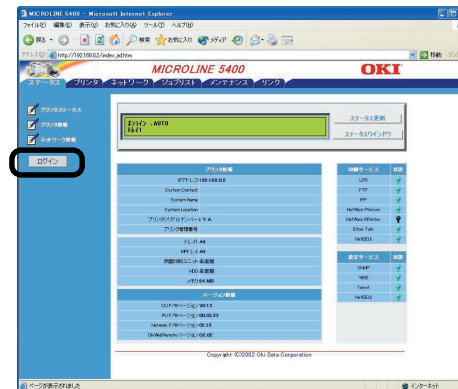
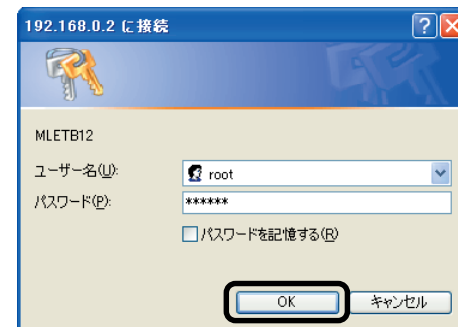
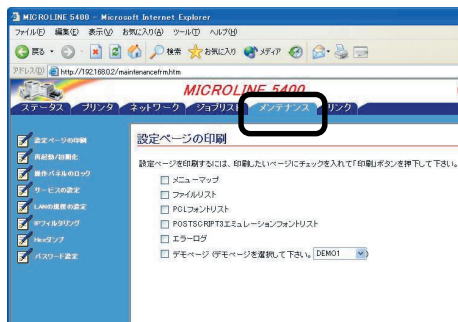
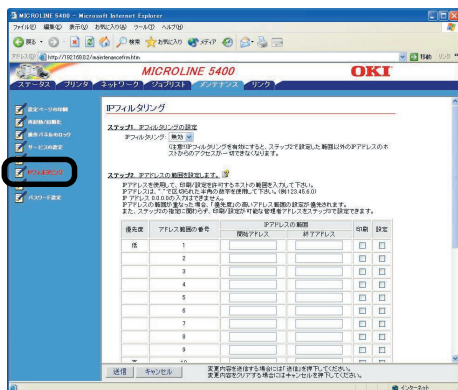
❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［ログイン］をクリックします。

❹［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

❺「メンテナンス」タブをクリックします。

❻ [IPフィルタリング]をクリックします。

❼「ステップ1」で、「IPフィルタリングの設定」を[有効]にします。

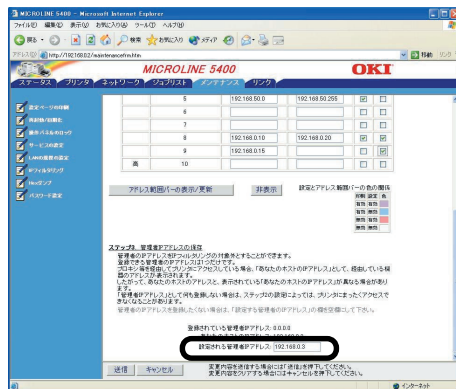
注 IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ 2 」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽「ステップ2」で、IPアドレスの範囲を設定します。

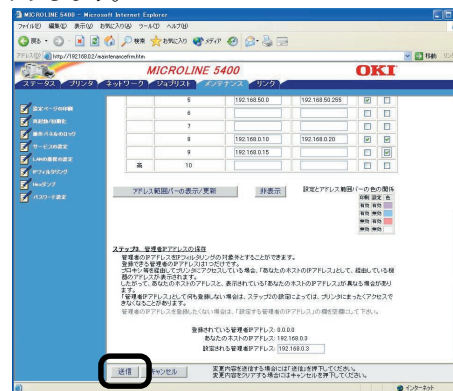
- IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IPアドレスは、“.”で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
- IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

❾［アドレス範囲バーの表示/更新］ボタンをクリックします。

IPアドレスの範囲を、修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示/更新］をクリックしてください。

❿「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を設定します。

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「Step2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

⓫「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、［Accepted］が表示されます。

メール送信機能(SMTP)を使います

メール送信機能(SMTP)を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。

Webブラウザ、TELNETで設定ができます。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

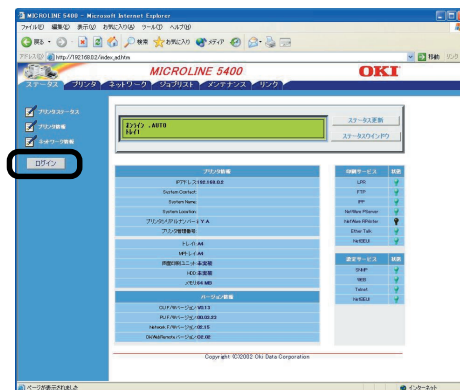
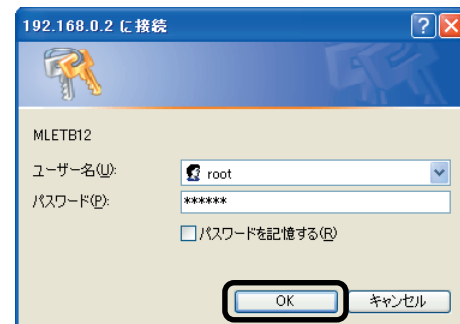
プリンタ	：ML5400
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

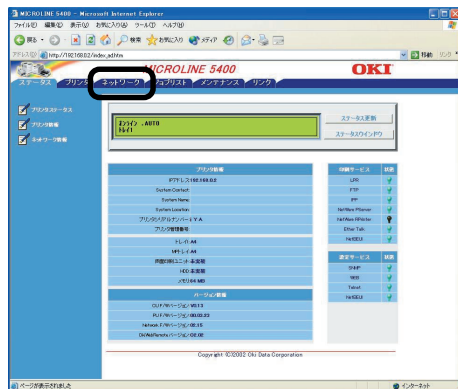
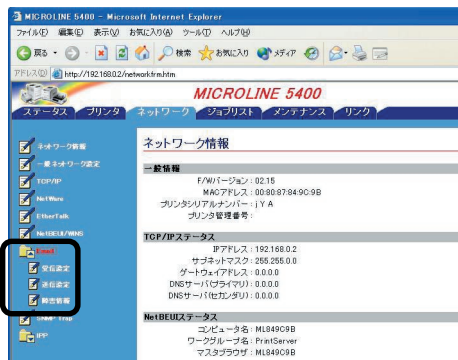
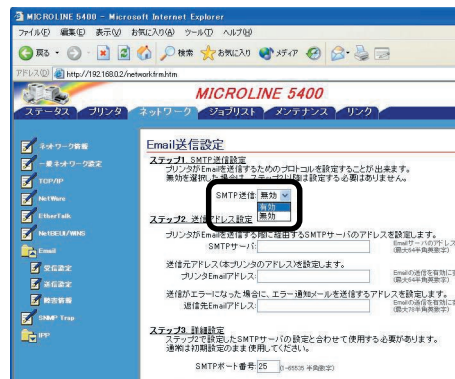
電子メール送信の設定をします

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❺ [ネットワーク]タブをクリックします。

❻ [Email]-[送信設定]をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を[有効]にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

③ 「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

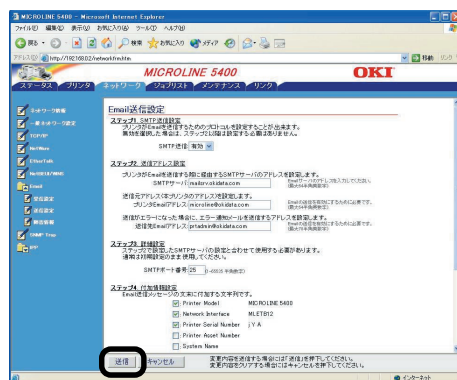
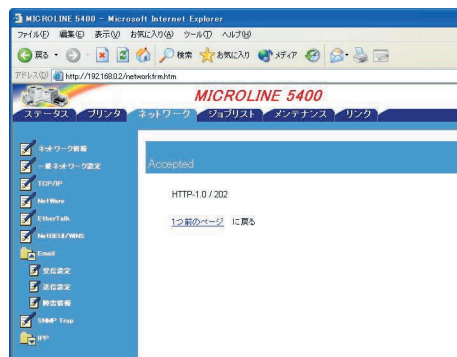
- 「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

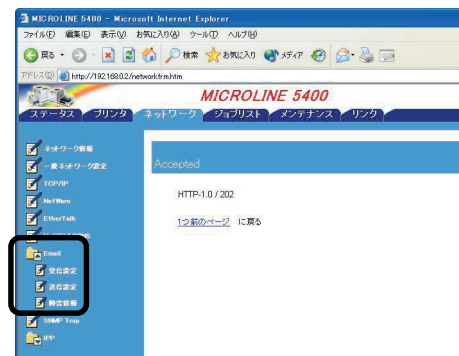
❾「ステップ3」で、「SMTPポート番号」を設定します。お使いのSMTPサーバの設定に合わせてください。
通常は初期設定のままで使用します。

⑩「ステップ4」でメールメッセージの文末に付加される情報を設定します。

① 必要な情報にチェックを付けます。

② [Comment line 1]～[Comment line 4]に自由に文字列を入力します。メモなどにご活用ください。

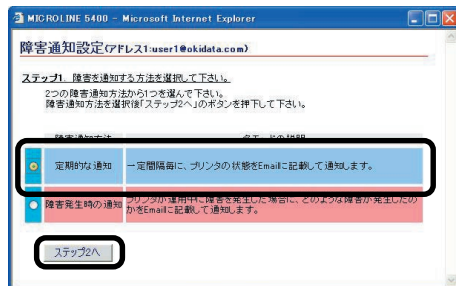
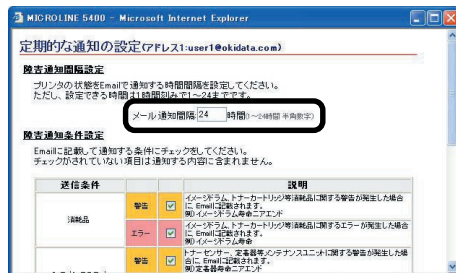
⑪「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

定期的な通知を設定したい場合は、「発生した障害を定期的に通知します」へ進みます。エラーが発生した時点でメールを送信したい場合は、「障害が発生したことを通知します」(262ページ)へ進みます。

発生した障害を定期的に通知します

❶ [Email]-[障害情報]をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの[設定]ボタンをクリックします。

[コピー]ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

メモ 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽障害通知条件の設定内容を確認します。

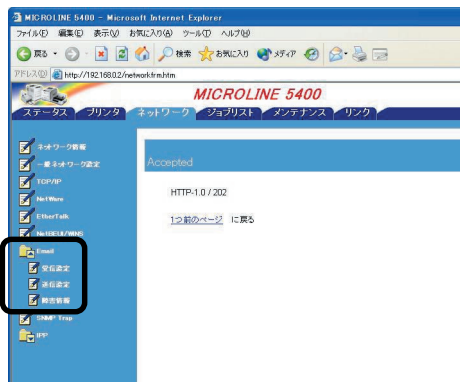
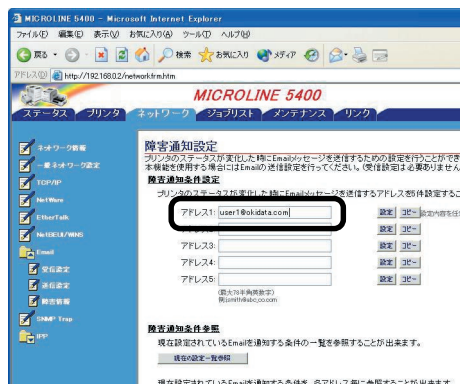
① 一覧表示したい場合
a. ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

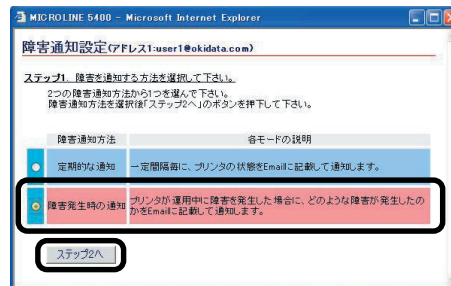
新しい設定値がプリンタに送信されると、［Accepted］が表示されます。

障害が発生したことを通知します

❶ [Email]-[障害情報]をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの[設定]ボタンをクリックします。

[コピー]ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺ [障害通知条件設定]で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

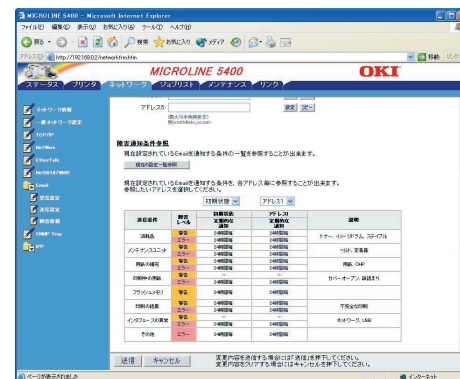
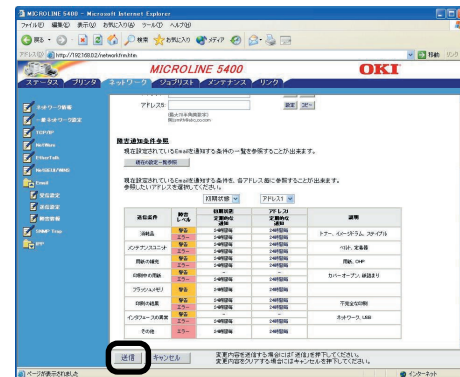
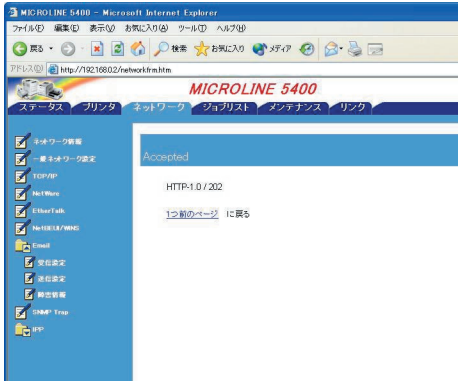
メモ
- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼ [OK]をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合
a. [現在の設定一覧参照]ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

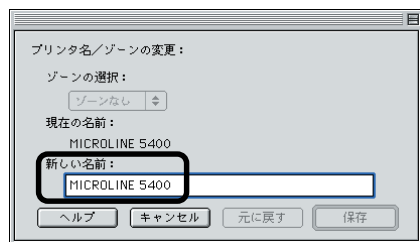
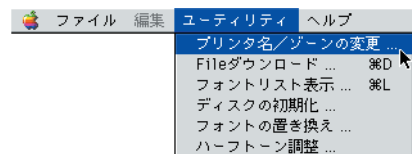
メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

SNMPを使います

ML5400は、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、ML5400はMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の[Utility]-[Nic]-[Mib]フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

EtherTalkプリンタ名を変更したい

EtherTalkの場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

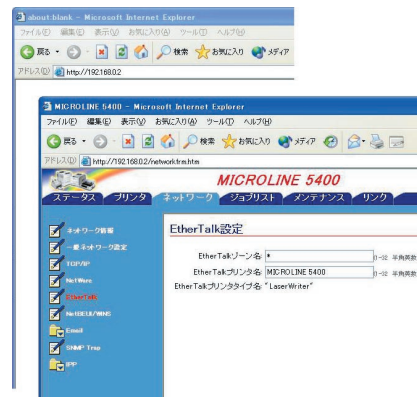
MicrolinePS Utility(Macintosh)を使う場合

・EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
・Mac OS Xでは利用できません。

❶[MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷[ユーティリティ]メニューから[プリンタ名/ゾーンの変更...]を選択します。

❸新しい名前を入力し、[保存]をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大31文字にすることができます。ただしプリンタ名に(=:*@˜≈)などの記号は使用できません。
2バイトコードの上下どちらかのバイトに(=:*@˜≈)と一致するコードが含まれるような文字、例えば(円、淳、ァ、法)などはプリンタ名として使用することはできません。

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷[ログイン]をクリックします。

❸[ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

・パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❹[ネットワーク]タブの[EtherTalk]をクリックします。

❺[EtherTalkプリンタ名]に新しい名前を入力し、[送信]をクリックします。

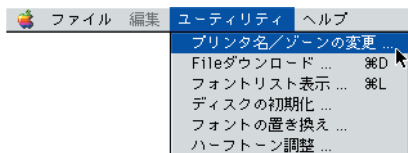
・プリンタ名は32文字以内の英数字で設定できます。
・プリンタ名に(=:*@˜≈)などの記号は使用しないでください。

EtherTalkゾーンを変更したい

複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalkで、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

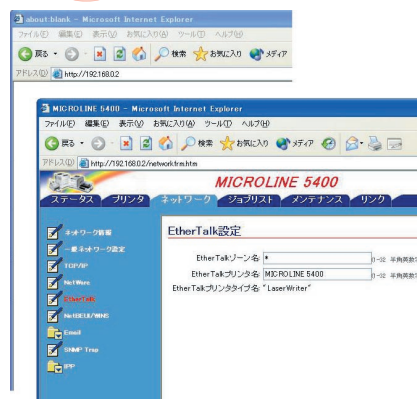
 選択できるゾーンは同一セグメント内です。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[プリンタ名/ゾーンの変更...]を選択します。

❸ 変更したいゾーン名を選び、[保存]をクリックします。

Webブラウザを使う場合

 TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

- パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

❹ [ネットワーク]タブの[EtherTalk]をクリックします。

❺ [EtherTalkゾーン名]に新しい名前を入力し、[送信]をクリックします。

8 UNIXで使用する場合

LPDプロトコルを利用します

TCP/IPのLPDプロトコル（lpr, lpコマンド）を使用して印刷する方法を説明します。
lpr, lpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

LPDについて

LPD（Line Printer Daemon）はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタには3つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	PostScriptまたはPCL形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフトJIS漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	euc漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, eucはポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　: ML5400
IPアドレス　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNETを使用します。

❶ UNIXにルートでログインします。

❷ arpコマンドでプリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

メモ　イーサネットアドレスはネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（242ページ参照）

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNETでプリンタにログインします。

「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」（初期値）です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message          Value    (level.1)
---------------------------------------
   1 : Setup TCP/IP
   2 : Setup SNMP
   3 : Setup NetWare
   4 : Setup EtherTalk
   5 : Setup NetBEUI
   6 : Setup printer trap
   7 : Setup SMTP(E-Mail)
   9 : Maintenance
  10 : Setup printer port
```

```
 11 : Display status
 12 : IP Filtering Setup
 97 : Network Reset
 98 : Set default(Network)
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message        Value    (level.2)
--------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol      : ENABLE
  2 : IP Address           : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask          : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway      : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol        : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol  : DISABLE
  7 : Auto IP Address      : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)     : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)     : 0.0.0.0
 10 : root Password        : "******"
 11 : Auto Discovery Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ログアウトします。

❼新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

UNIXを設定し印刷します

Sun OS4.X.Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- SunOS4.1.3を例にしています。

❶UNIXに管理者(root)でログインします。

❷/etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹/etc/printcapファイルにプリンタを登録します。

```
ML_lp:¥
  :lp=:rm=ML:rp=lp:¥
  :sd=/usr/spool/ML_lp:¥
  :lf=/usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs:
```

〈各変数の意味〉

lp ：プリンタを接続するデバイスファイル名。指定する必要はありません。
rm：リモートプリンタのホスト名。
　　手順❷で登録したホスト名を入力します。
rp ：リモートプリンタのプリンタ名。プリンタの論理プリンタ名で通常はlpを選択します。
sd：スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。
lf ：エラーログファイル。絶対パスで指定します。

❺手順❹で登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/ML_lp
# touch /usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs
# chown -R daemon /usr/spool/ML_lp
# chgrp -R daemon /usr/spool/ ML_lp
```

❻ lpd(プリンタデーモン)が起動しているかどうかを調べます。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザーのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

❼ 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart ML_lp
```

❽ 印刷します。

```
# lpr -PML_lp〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# lprm -PML_lp〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

ショートフォーマットの場合

```
# lpq -PML_lp
```

ロングフォーマットの場合

```
#lpq -l -PML_lp
```

- lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本プリンタ独自のフォーマットです。
- UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.6および8の場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m jstandard -o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/null
```

「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.3X～2.5Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- Sun Solaris2.4を例にしています。
- OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントスケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

❺ プリントサーバを登録します。

```
# /usr/sbin/lpsystem -R0 -t bsd ML
```

❻ プリントキューを設定します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -p ML_lp -s ML!lp
```

注

- cshをご使用の場合は、「!」の代わりに「¥!」または「/!」としてください。
- 「!」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- lpadminの使い方はお使いのSun OSのマニュアルをご覧ください。

❼ プリントスケジューラを起動します。

```
#/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

❽ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❾ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

❿ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

⓫ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.Xおよび10.Xの場合

・スーパーバイザーの権限が必要です。
・HP-UX9.03を例にしています。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.confファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon -i
```

③ inetdを再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML -orplp -ocmrcmodel -
osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

AIX4.1.5および4.3.3の場合

スーパーバイザーの権限が必要です。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# ruser -a -p ML
```

❺ リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

❻ smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

① smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

② 「接続タイプ」から「remote」(リモートホストに接続されたプリンタ)を選択します。

③ 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

④ 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します(下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください)。

追加する待ち行列	[ML_lp]
リモートサーバのホスト名	[ML]
リモートサーバ上の待ち行列名	[lp]
リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ	[BSD]
リモートサーバ上のプリンタ名記述	[任意のコメント]

「リモートサーバ上の待ち行列名」が論理プリンタになります。

❼ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp<ファイル名>
```

❽ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-<ジョブ番号>
```

❾ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

FTPプロトコルを利用します

TCP/IPのFTPプロトコル(ftpコマンド)を使用して印刷する方法を説明します。ftpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

FTPについて

FTP(File Transfer Protocol)はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタには3つの論理ディレクトリがあります。

論理プリンタ	機　能
/lp	PostScriptまたはPCL形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフトJIS漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	euc漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, eucはポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　　: ML5400
IPアドレス　　　　　　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNETを使用します。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ arpコマンドでプリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNETでプリンタにログインします。

メモ 「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」(初期値)です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message           Value   (level.1)
---------------------------------------
   1 : Setup TCP/IP
   2 : Setup SNMP
   3 : Setup NetWare
   4 : Setup EtherTalk
   5 : Setup NetBEUI
   6 : Setup printer trap
   7 : Setup SMTP(E-Mail)
   9 : Maintenance
  10 : Setup printer port
  11 : Display status
```

```
 12 : IP Filtering Setup
 97 : Network Reset
 98 : Set default(Network)
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message        Value    (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol : DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "******"
 11 : Auto Discovey Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ログアウトします。

❼新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

```
#ftp ML  (または、ftp 192.168.0.2)
Connected to ML
220 EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 FTP
Server
Name (ML:root):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」と、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」の2種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARYモード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例1)印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例2)印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quoteコマンドの「stat」を使って、クライアントのIPアドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。また、statの後に論理ディレクトリ(lp, sjis, euc)を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

9 NetWareで使用する場合

NetWareのプリントシステム

ノベル社のNetware6J、NetWare5J、NetWare4.1JおよびNetWare3.12Jネットワーク環境を利用して印刷するために必要なNetWareサーバとプリンタの設定を行います。

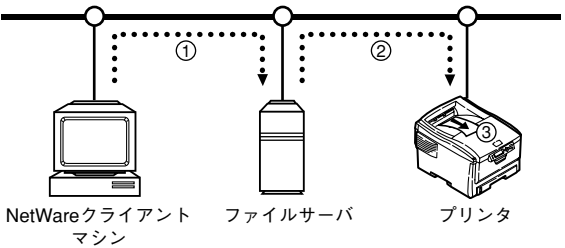
NetWareのネットワークにはNDSネットワークとバインダリネットワークがあります。プリンタのプリントシステムにはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。本プリンタで使用できる環境は次のとおりです。

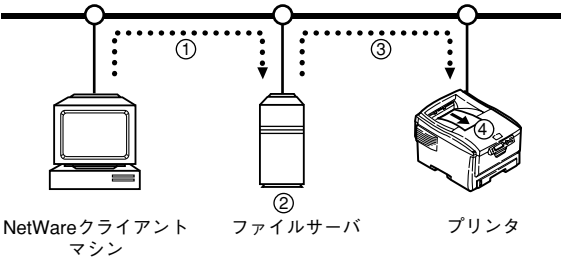
○：使用できます
×：使用できません

		プリンタ	
		プリントサーバモード	リモートプリンタモード
NDSネットワーク	NetWare3.12J		
	NetWare4.1J	○	○
	NetWare5J	○	○
	NetWare6J	○	○
バインダリネットワーク	NetWare3.12J	○	○
	NetWare4.1J	○	×
	NetWare5J	○	×
	NetWare6J	○	×

NetWare6J/5JのNDPS機能には対応していません。NetWare6J/5J付属のNovellプリントゲートウェイをお使いください。

プリントサーバモード（P-Server mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ（ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション）を必要としません。

リモートプリンタモード（R-Printer mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ（ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション）がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送し、④印刷処理を実行します。
通常のNetWareのプリント機能（PSERVER.NLM/EXE）を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

NetWare6J/5J/4.1J（NDS）プリントサーバモード

- コンピュータはNovell Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例に、WindowsXP Home Editionでセットアップしています。

NetWare側

NDSツリー名	：CORPORACIO
NDSコンテキスト名	：SLP_SCOPE.HCP
ファイルサーバ名	：HCP_SBD

プリンタ側

プリントサーバ名	：ML849C9B
プリントキュー名	：ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

AdminManager（Windows）を使います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ 日本語をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスはネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

⓬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- [オプション]メニューの[環境設定]を選択し、[NetWare]タブをクリックします。
- [検索するネットワークを指定する]を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、[登録]をクリックします。
- [ファイル]メニューの[検索]をクリックします。

⓭[パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓮[NetWare]タブをクリックし、各項目を入力し、[設定]をクリックします。

① 「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「プリントサーバ名」(この例では「ML849C9B」)を入力します。

③ 「プリントサーバ」にチェックを付けます。

注 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓯設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

NetWareファイルサーバを設定します

AdminManagerが起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❷ [次へ]をクリックします。

❸ [NDSモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する[コンテキスト](ここではNDSツリー「CORPORACIO」、NDSコンテキスト「SLP_SCOPE.HCP」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ [プリントサーバモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❻ [プリントキュー名](ここでは「ML849C9B-Q1」)を入力し、[次へ]をクリックします。キューを新規に作成する場合は、作成する場所を指定します。

❼設定に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

メモ　プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❽[完了]をクリックします。

❾プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

ネットワークプリンタを設定します

❶プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

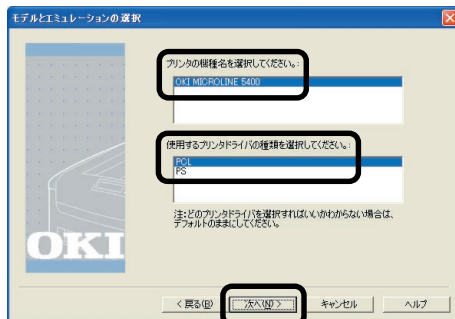
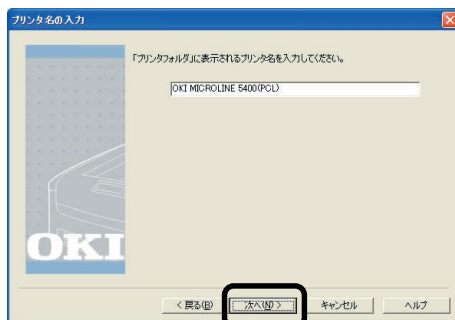
❻ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

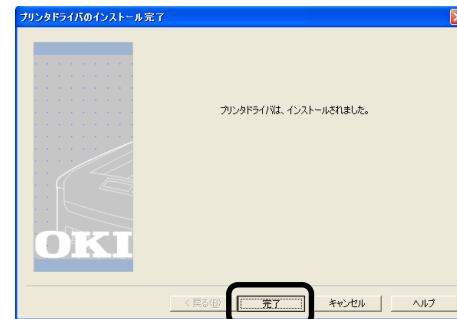
❼ [共有プリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [NetWare]を選択し、[次へ]をクリックします。

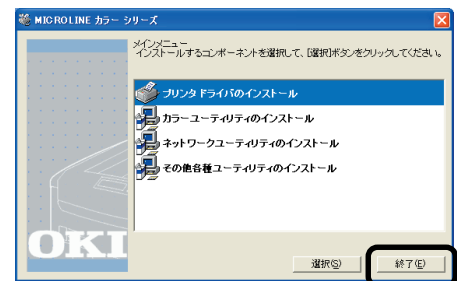
コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❾へ進みます。

❾ 作成したプリントキュー名(ここでは「ML849C9B」)を選択し、[次へ]をクリックします。

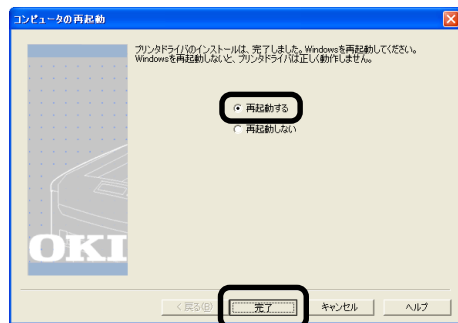
⑩ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⑪ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⑫ [完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⑭へ進みます。

⑬ [終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⑫からの続き

⑭ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモード

- コンピュータにNovell Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例に、WindowsXP Home Editionでセットアップしています。

NetWare側

NDSツリー名	: CORPORACIO
NDSコンテキスト名	: SLP_SCOPE.HCP
ファイルサーバ名	: HCP_SBD
プリントサーバ名	: ML849C9B
プリントキュー名	: ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

AdminManagerを使います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ 日本語をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

⓬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- [オプション]メニューの[環境設定]を選択し、[NetWare]タブをクリックします。
- [検索するネットワークを指定する]を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、[登録]をクリックします。
- [ファイル]メニューの[検索]をクリックします。

⓭ [パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓮ [NetWare]タブをクリックし、各項目を入力し、[設定]をクリックします。

① 「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。
② 「リモートプリンタ」にチェックを付けます。

注
- 「プリントサーバ名」はリモートプリンタモードでは使用しません。
- 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓯ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰ 設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

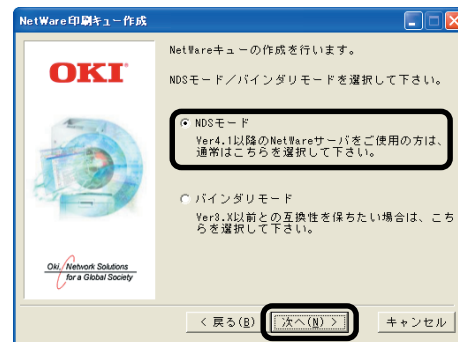
注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

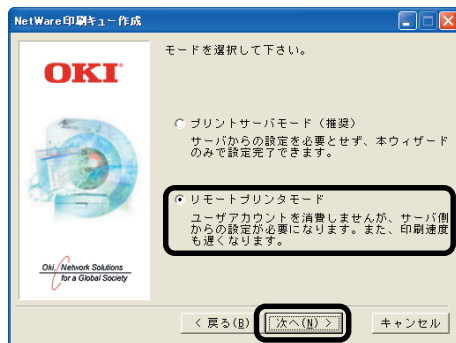
NetWareファイルサーバを設定します

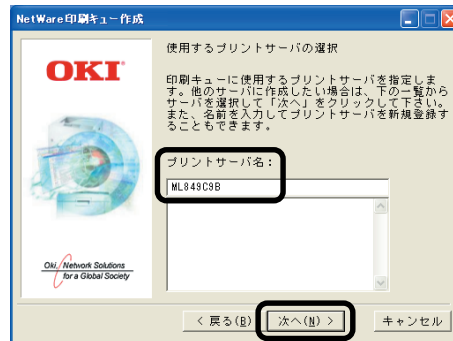
AdminManagerが起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❷ [次へ]をクリックします。

❸ [NDSモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する[コンテキスト](ここではNDSツリー「CORPORACIO」、NDSコンテキスト「SLP_SCOPE.HCP」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ [リモートプリンタモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❻ [プリントサーバ名](この例では「ML849C9B」)を入力し、[次へ]をクリックします。

既存のプリントサーバを選択することも可能です。

❼ [プリントキュー名](この例では「ML849C9B」)を入力し、[次へ]をクリックします。

既存のキューを選択することも可能です。

❽設定に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

メモ プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❾[完了]をクリックします。

❿NetWareのファイルサーバのコンソールからプリントサーバを再起動します。

⓫プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

ネットワークプリンタを設定します

❶プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [共有プリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [NetWare]を選択し、[次へ]をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❿へ進みます。

❾ 作成したプリントキュー名(ここでは「ML849C9B」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓬[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓮へ進みます。

⓭[終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓮[完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare6J/5J/4.1J(バインダリ)プリントサーバモード

- バインダリサービスを利用するためには、ファイルサーバにバインダリコンテキストの指定が行われている必要があります。あらかじめ、サーバコンソールより次の設定を行ってください。

  バインダリコンテキスト「OU=SLP_SCOPE.0=HCP」の場合

  ```
  set Bindery Context = OU=SLP_SCOPE.0=HCP
  ```

- コンピュータにはNovell Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例に、WindowsXP Home Editionでセットアップしています。

NetWare側

　ファイルサーバ名　：HCP_SBD

プリンタ側

　プリントサーバ名　：ML849C9B

　プリントキュー名　：ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

AdminManagerを使います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ 日本語をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML5400の代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(242ページ参照)

⓬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注

- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- [オプション]メニューの[環境設定]を選択し、[NetWare]タブをクリックします。
- [検索するネットワークを指定する]を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、[登録]をクリックします。
- [ファイル]メニューの[検索]をクリックします。

⓭ [パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓮ [NetWare]タブをクリックし、各項目を入力し、[設定]をクリックします。

① 「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。
② 「プリントサーバ名」(この例では「ML849C9B」)を入力します。
③ 「プリントサーバ」にチェックを付けます。

「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓯ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰ 設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

NetWareファイルサーバを設定します

AdminManagerが起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❷ [次へ]をクリックします。

❸ [バインダリモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する[ファイルサーバ](ここでは「HCP_SBD」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ [プリントサーバモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 バインダリネットワークでは、リモートプリンタモードを選択できません。

❻ [プリントキュー名](ここでは「ML849C9B」)を入力し、[次へ]をクリックします。既存のキューを選択することも可能です。

❼ 設定に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

メモ プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❽ [完了]をクリックします。

❾ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編)をご覧ください。

ネットワークプリンタを設定します

❶ プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❹ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

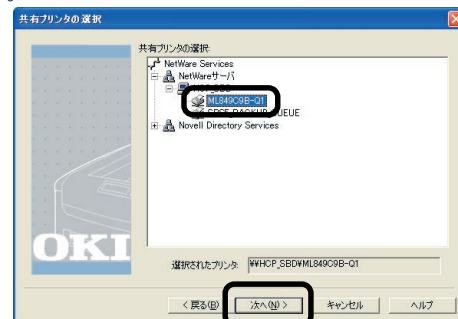
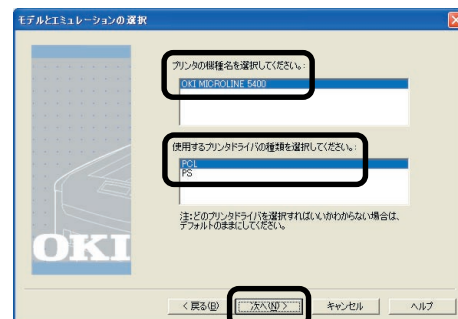
❺ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [共有プリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [NetWare]を選択し、[次へ]をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❿へ進みます。

❾ 作成したプリントキュー名(この例では「ML849C9B」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓬ [完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓮へ進みます。

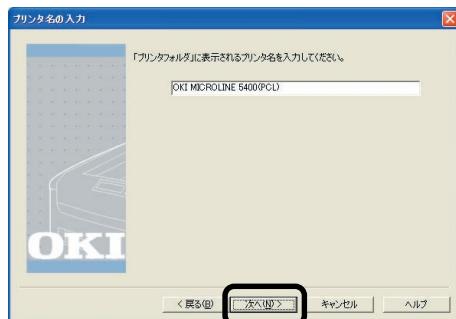
⓭ [終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓮ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare3.12J

- コンピュータにNovell Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- NetWareサーバへログインするためのネットワークドライブ名はF：を例にしています。

以下のNetWare環境を例にしています。

ファイルサーバ	：SOFT22-NW312
プリントサーバ	：ML849C9B
プリントキュー	：ML849C9B-Q1
プリンタ名	：ML849C9B-prn1

NetWareファイルサーバを設定します

PCONSOLEを起動します

❶ クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。

```
F:¥>LOGIN SOFT22-NW312/supervisor
```

❷ PCONSOLEを起動します。

```
F:¥>pconsole
```

[利用可能な項目]が表示されます。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

プリントキューを作成します

❸ [プリントキュー情報]を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❹ Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名(ここでは「ML849C9B-Q1」)を入力し、Enter キーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：ML849C9B-Q1

プリントキューが作成されます。

プリントサーバを作成します

既存のプリントサーバを利用する場合は、以下の設定を行う必要はありません。「プリントサーバが管理するプリンタを作成します」へ進みます。

❺［プリントサーバ情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ の変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報

❻ Ins キーを押して、新しく作成するプリントサーバ名（ここでは「ML849C9B」）を入力し、Enter キーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 名：ML849C9B

プリントサーバが登録されます。

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

❼［プリントサーバ情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ の変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報

❽ 作成したプリントサーバ（ここでは「ML849C9B」）を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ML849C9B

❾［プリントサーバ構成］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ の変更
ﾌﾙﾈｰﾑ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 構成
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ ID
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ ｵﾍﾟﾚｰﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ ﾕｰｻﾞ

❿［プリンタの構成］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⓫ 他のプリンタがインストールされていないプリンタ番号(ここでは[インストールされていません　0])を選択し、Enter キーを押します。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

⓬ [名前]の欄に、リモートプリンタの名前(ここでは「ML849C9B-prn1」)を入力します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ　0　の環境設定

名前：ML849C9B-prn1
ﾀｲﾌﾟ：定義済み

社別識別子：
IRQ：
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ)：

開始用紙：
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ：

ﾎﾞｰﾚｰﾄ：
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ：
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ：
ﾊﾟﾘﾃｨ：
X-On/X-Off 使用有無

⓭ [タイプ]を選択し、Enter キーを押すと、[プリンタタイプ]が表示されます。

⓮ [リモートパラレル，LPT1]を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ

ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM1
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM2
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM4
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3

⓯ Esc キーを押し、[変更を保存しますか？]と表示されたら、[Yes]を選択し、Enter キーを押します。

プリンタが作成されます。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ML849C9B-prn1	0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

プリンタにプリントキューを割り当てます

⑯ [プリンタでサービスされているキュー]を選択し、Enter キーを押します。

⑰ [定義済みのプリンタ]から、プリントキューを割り当てるプリンタ(ここでは「ML849C9B-prn1」)を選択し、 Enter キーを押します。

⑱ Ins キーを押して、[使用可能キュー]からプリンタに割り当てるプリントキュー(ここでは「ML 849C9B-Q1」)を選択し、Enter キーを押します。

⑲ プリントキューの優先順位(ここでは「1」)を入力し、Enterキーを押します。

プリントキューと優先順位が割当てられます。

⑳ 複数のプリントキューを割り当てる場合は、手順⑱と⑲を繰り返します。

Pconsole を終了します

㉑ [終了しますか? PConsole]が表示されるまで Esc キーを押し、[Yes]を選択します。

9

NetWare3.12J

プリンタを設定します

プリントサーバモードの場合

❶プリンタを設定します。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)プリントサーバモードの「プリンタを設定します」(281ページ)の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ファイルサーバコンソールでプリントサーバ(この例では「ML849C9B」)を起動します。

```
:LOAD PSERVER ML849C9B
```

プリントサーバが起動している場合は再起動します。

```
:UNLOAD PSERVER
:LOAD PSERVER ML849C9B
```

❷プリンタを設定します。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードの「プリンタを設定します」(289ページ)の手順に従ってください。

ネットワークプリンタをセットアップします

プリントサーバモードの場合

❶ネットワークプリンタをセットアップします

NetWare6J/5J/4.1J(バインダリ)プリントサーバモードの「ネットワークプリンタを設定します」(300ページ)の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ネットワークプリンタをセットアップします

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードの「ネットワークプリンタを設定します」(293ページ)の手順に従ってください。

10 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター(セットアップ編)へご連絡ください。

ttttttt　：トレイ
mmmmm　：用紙サイズ
pppppppp：メディアタイプ

ステータス

プリンタの状態を示すメッセージです。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	消灯	消灯	プリンタの初期化中です。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
	RAM ﾁｪｯｸﾁｭｳ ****************	消灯	消灯	RAM チェック中です。
	ｵﾝﾗｲﾝ ttttttt	点灯	不定	オンラインです。
	ｵﾌﾗｲﾝ ttttttt	消灯	不定	オフラインです。
	ﾌｧｲﾙ ｱｸｾｽﾁｭｳ	不定	不定	プリントジョブアカウンティング（オプション）でフラッシュメモリにアクセスしています。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
	ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ ttttttt	不定	不定	データ受信中です。
	ｼｮﾘﾁｭｳ	点滅	不定	データ受信中または受信したデータを処理しています。
	ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ ttttttt	不定	不定	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
	ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	不定	不定	印刷しています。
	ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	デモ印刷中です。
	ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	フォント印刷中です。
	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	メニューマップを印刷中です。
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	ファイルリスト印刷中です。

ステータス

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	エラーログ印刷中です。
	ﾁｮｳｱｲ　　iii/jjj	不定	不定	丁合印刷をしています。 iii は印刷中の部数、jjj は印刷する総部数を示します。
	ｺﾋﾟｰ　　kkkkk/lllll	不定	不定	コピー枚数が２部以上のとき、現在印刷しているコピー枚数を表示します。 kkkkk は現在印刷の枚数、lllll は総印刷枚数を示します。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	点滅	不定	受信したデータをキャンセルしています。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｲﾝｻﾂｷｮｶ ﾅｼ)	点滅	不定	プリントジョブアカウンティング（オプション）で印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ (2) 使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザのジョブ (3) 設定された制限値を超えたユーザのジョブ
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ﾊﾞｯﾌｧ ﾌﾙ)	点滅	不定	プリントジョブアカウンティング（オプション）のログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｼﾞｬﾑ)	点滅	不定	システム　コウセイ　メニューの「ジャム　リカバー」が「オフ」に設定されているときにジャムが発生した場合、印刷ジョブの残りのデータをキャンセルしています。
	ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	不定	不定	ウォーミングアップ動作中です。
	ｵﾝﾄﾞ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	長時間の連続印刷などでプリンタ内部温度が上昇したため、適切な温度になるまで印刷を一時停止しています。電源を切らずにこのままお待ちください。 プリンタの故障ではありません。

ステータス

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	不定	不定	省電力モード中です。
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	色ずれ調整中です。
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動濃度補正または自動階調補正中です。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	点灯	不定	ネットワークの設定を変更しています。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲｼﾞｮｳﾎｳ ｶｷｺﾐﾁｭｳ	点灯	点灯	ネットワークの設定を保存しています。

ワーニング

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、対処方法に従って対処してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	Y ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。イエローの新しいトナーカートリッジを準備してください。 このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。
	M ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。マゼンタの新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。
	C ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。シアンの新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。

ワーニング

コード nnn	操作パネル表示	オンラインランプ	点検ランプ	内　容
	K ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。ブラックの新しいトナーカートリッジを準備してください。
	Y ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	イエローの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとイメージドラムの故障の原因になります。
	M ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとイメージドラムの故障の原因になります。
	C ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	シアンの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとイメージドラムの故障の原因になります。
	ｵﾝﾗｲﾝSWｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	不定	点灯	無効データを受信しました。「オンライン」スイッチを押してください。
	PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ	点滅	不定	データ処理中にポストスクリプトエラーが発生しました。ジョブに誤りがあるか、複雑すぎます。
	Y ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	不定	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。イエローの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	M ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。マゼンタの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	C ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。シアンの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	K ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。ブラックの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	ﾃｲﾁｬｸｷ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	定着器ユニットの寿命が近づいています。新しい定着器ユニットを準備してください。
	ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ベルトユニットの寿命が近づいています。新しいベルトユニットを準備してください。

コード nnn	操作パネル表示	オンラインランプ	点検ランプ	内　容
	ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	定着ユニットの交換時期です。定着器ユニットを交換してください。
	ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。
	Y ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	イエロートナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
	M ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	マゼンタトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
	C ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	シアントナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
	K ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	ブラックトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
	Y ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	イエローイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	M ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	マゼンタイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	C ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	シアンイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	K ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ブラックイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	tttttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	不定	点灯	tttttt トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ﾃﾞｨｽｸﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ﾌﾙ	不定	点灯	内蔵ハードディスクにデータを書き込もうとしましたが、ハードディスクがいっぱいで書き込めません。
	ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐ ｷﾝｼ	不定	点灯	内蔵ハードディスクにデータを書き込もうとしましたが、書き込み許可が無いため書き込めません。
	ﾁｮｳｱｲ ｴﾗｰ	不定	消灯	丁合印刷のためのメモリが不足しています。指定された部数ではなく、1部のみ印刷されます。「オンライン」スイッチ以外は無効です。「オンライン」スイッチを押して表示を消してください。
	ｷｮｶｻﾚﾃｲﾅｲID. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	不定	点灯	プリントジョブアカウンティング（オプション）で「データ　クリアチュウ（インサツキョカナシ）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
	ﾛｸﾞﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	不定	消灯	プリントジョブアカウンティング（オプション）で「データ　クリアチュウ（バッファフル）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
	ﾃﾞｨｽｸ ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ			内蔵ハードディスクに不正なアクセスがありました。
	mmmmmｦ MPﾄﾚｲﾆ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	点灯	消灯	手差し印刷を行います。表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、「オンライン」スイッチを押してください。

エラー

プリンタが停止するメッセージです。対処方法に従って対処してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
300	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ 300 :ﾈｯﾄﾜｰｸ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ネットワークエラーが発生しました。プリンタの電源をOFF/ONしてください。
310	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 310 :ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
311	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 311 :ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
316	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 316 :ﾘｱｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	両面印刷ユニットカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
320	ﾃｲﾁｬｸｷｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 320 :ﾃｲﾁｬｸｷ ｴﾗｰ	消灯	点滅	定着器ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
330	ﾍﾞﾙﾄｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 330 :ﾍﾞﾙﾄ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
340	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 340 : Y ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	イエローイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
341	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 341 : M ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	マゼンタイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
342	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 342 : C ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	シアンイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
343	ﾍﾞﾙﾄｦ ﾛｯｸｼ、ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 343 : K ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ベルトのロックが外れているか、ブラックイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ベルトのロックを確認し、ブラックイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
350	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 350 : Y ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	イエローイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
351	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 351 : M ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	マゼンタイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
352	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 352：C ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	シアンイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
353	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 353：K ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ブラックイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
354	ﾃｲﾁｬｸｷｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 354：ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	定着器ユニットの交換時期です。定着器ユニットを交換してください。
355	ﾍﾞﾙﾄｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 355：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。
356	ﾍﾞﾙﾄｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 356：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。
360	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾕﾆｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 360：ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	消灯	点滅	両面印刷ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
370	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 370：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
371	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 371：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。中央付近に用紙があります。
372	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 372：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。手前の方に用紙があります。
373	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 373：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
380	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 380：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
381	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 381：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムの下に用紙があります。
382	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 382：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器付近に用紙があります。
383	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 383：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器から両面印刷ユニット入口付近に用紙があります。
389	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 389：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	場所を特定できない紙づまりが発生しました。トップカバーまたはフロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
390	ﾁｪｯｸ MPﾄﾚｲ 390：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	マルチパーパストレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
391	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 391：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	トレイ 1 からの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
392	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 392：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	トレイ 2 からの給紙中に紙づまりが発生しました。用紙カセットを抜き、つまった用紙を取り除いてください。用紙除去後、フロントカバーを開閉してください。
400	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 400：ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	消灯	点滅	用紙サイズが違っています。フロントカバーを開けて用紙を取り除き、正しいサイズの用紙を入れてください。
410	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 410：Y ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	イエロートナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
411	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 411：M ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	マゼンタトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
412	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 412：C ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	シアントナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
413	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 413：K ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	ブラックトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
414	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 414：Y ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	イエローの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
415	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 415：M ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
416	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 416：C ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	シアンの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
	Y ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	イエローの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
	M ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
	C ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	シアンの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
420	ﾒﾓﾘｰｦ ﾂｲｶｼﾃｸﾀﾞｻｲ 420：ﾒﾓﾘｰｵｰﾊﾞﾌﾛｰ	消灯	点滅	メモリ不足です。「オンライン」スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをお求めください。
430	ｶｾｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 430：ﾄﾚｲ1 ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ１のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
440	ｶｾｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 440：ﾄﾚｲ1 ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
460	mmmmm/pppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 460：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイの用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
	mmmmm/pppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 460：MPﾄﾚｲ ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイの用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー] - [MP トレイ　ヨウシサイズ] を用紙サイズに合わせてください。
461	mmmmm/pppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 461：ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１の用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
	mmmmm/pppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 461：ﾄﾚｲ1 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１の用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー] - [トレイ１　ヨウシサイズ] を用紙サイズに合わせてください。
462	mmmmm/pppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 462：ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ２の用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
	mmmmm/pppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 462：ﾄﾚｲ2 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ２の用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー] - [トレイ２　ヨウシサイズ] を用紙サイズに合わせてください。
490	mmmmmｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 490：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	マルチパーパストレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
491	mmmmmｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 491 :ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ１に用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
492	mmmmmｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 492 :ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ２に用紙がありません。またはトレイ２から印刷しようとしましたが、トレイ２のカセットが抜かれていて給紙できません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
540	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 540：Y ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。イエローのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
541	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 541：M ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。マゼンタのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
542	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 542：C ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。シアンのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
543	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 543：K ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。ブラックのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

サービスコールエラー

プリンタの異常を示すメッセージです。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ nnn: ｴﾗｰ	消灯	点滅	プリンタに異常が発生しています。電源をOFF/ONしてください。復旧しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。エラーコードが下記の場合は、次の処置も行ってください。
031				メモリチェックエラーです。メモリを取り付け直してください。オプションの増設メモリは純正品を使用してください。
181				オプションの両面印刷ユニットを取り付け直してください。
182				オプションのセカンドトレイユニットを取り付け直してください。

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。	
電源コードが抜けています。	☞ 電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞ コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。	
エラーが表示されています。	☞ プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」（310ページ）をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞ プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞ プリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

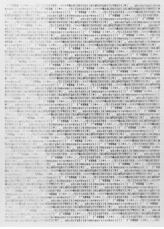
印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	☞ プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞ タイムアウトを長く設定してください。

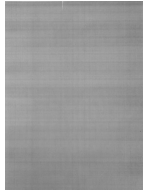
異常音がする。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞ プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞ トップカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞ プリンタのメニュー設定で、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞ 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞ しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞ 印刷処理が中断するまでお待ちください。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞ 一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞ 用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を1枚だけセットしています。	☞ 用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞ 用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞ 正しくセットしてください。
連量151〜172kgの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを用紙カセットにセットできません。	☞ 連量151〜172kgの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。詳しくは3章をご覧ください。

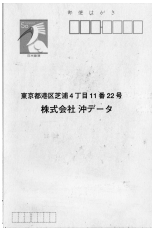
用紙が送られない。	
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	☞ マルチパーパストレイに用紙をセットして、「オンライン」スイッチを押してください。または「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞ トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞ より厚手の用紙を使用してください。
推奨紙以外のOHPシートを使用しています。	☞ 推奨紙を使用してください。推奨紙以外を使用すると種類によっては定着器ユニットのローラに巻きつく可能性があります。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞ 用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
	異物がつまっています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。
	イメージドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

縦方向にかすれる。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。		
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞ トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。		
	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	［セッティング］の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［フツウシ ブラック セッティング］または［フツウシ カラー セッティング］の値を変更してみてください。 OHPシートに印刷している場合は、［OHP ブラック セッティング］または［OHP カラー セッティング］の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。		
	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。		
	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約42mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞ トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約87mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞ 定着器ユニットを交換してください。
	イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞ イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。

白地の部分が薄く汚れる。			
	用紙が静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用しています。	☞	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。			
	LEDヘッドが汚れています。	☞	LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。			
	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	プリンタの故障ではありません。
	コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	プリンタの故障ではありません。コート紙はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。

光沢にムラが出る。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。

思った色合いで印刷されない。		
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
［黒の生成］の設定がアプリケーションに合っていません。	☞	プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYKトナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更したい」（192ページ）をご覧ください。
カラー調整を変更しています。	☞	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「カラーマッチングしたい（ASICカラーマッチング）」（165ページ）をご覧ください。
カラーバランスがとれていません。	☞	プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をします」（セットアップ編）、「色ずれ補正を微調整したい」（209ページ）をご覧ください。

CMY各色100%のベタが薄い。		
［CMY100% ノウド］が［ムコウ］になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［カラーメニュー］-［CMY100% ノウド］を［ユウコウ］にしてください。

Windowsから印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない。	
プリンタの電源がOFFになっています。	☞ プリンタの電源をONにしてください。（セットアップ編 20ページ）
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。（セットアップ編 43ページ）
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞ 処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞ ［通常使うプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞ 他のプリンタドライバを削除してみてください。
I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていません。	☞ プリンタのメニュー設定で［I-PRIME］を［3u SEC］または［5u SEC］にしてください。
LCD表示が「オンラインSWヲ　オシテクダサイ／ムコウデータ」と表示され印刷しません。	☞ プリンタのメニュー設定で「タイムアウト　インサツ」の設定値を長くしてみてください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞ プリントジョブアカウンティング（オプション）を使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
USB接続でプリンタアイコンが［オフライン］になっています。	☞ プリンタアイコンを右クリックして［プリンタをオフラインにする］のチェックを外してください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

メモリ不足になる。	
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞ 使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。	
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞ 処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷オプション］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。
パラレルインタフェースで接続しています。	☞ コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードに変更してみてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 「ネットワーク経由で印刷できない」（323ページ）をご覧ください。

Macintoshから印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

メモリエラーになる。	
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞ メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。	
印刷処理をMacintosh側でも行っています。	☞ 処理速度の速いMacintoshを使用してください。
［印刷品位］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品位］で［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ セットアップ編の「印刷できないときには」（セットアップ編 130、156ページ）をご覧ください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

多くの書体を使用した文書を印刷すると、PostScriptエラーになる。	
MacOSの制限です。	☞ ［用紙設定］-［PostScriptオプション］で［ダウンロード可能フォントの制限なし］にチェックを付けてください。

プリンタドライバの表示がおかしい。	
プリンタドライバが正しく動作していない可能性があります。	☞ プリンタドライバを一旦削除した後、再インストールを行ってください。（セットアップ編 124、134、144、160ページ）

ネットワーク経由で印刷できない

UNIX

- 「etc/hostsファイル」にプリンタの[IPアドレス]と[ホスト名]が登録されているか確認します。
- lpプロトコルを利用する場合は、「etc/printcapファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名(例:rp=lp)が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftpプロトコルを利用する場合は、出力先(イーサネットボードの論理ディレクトリ名)が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

NetWare

◆プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(242ページ)の「File Server#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(242ページ)の「Printer Name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(242ページ)の「Print Server Name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「Printer Name」が同じにならないようにします。

◆リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(242ページ)の「Print Server#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(242ページ)の「Printer Name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- AdminManager(Windows)でプリンタを検出できるか確認します。
- Setup Utility(Macintosh)でプリンタを検出できるか確認します。
- Webブラウザでプリンタを検出できるか確認します。(59ページ)
- TELNETでプリンタを検出できるか確認します。
- pingでプリンタを検出できるか確認します。Windowsのコマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx.xxx.xxx.xxxはプリンタのIPアドレス)と入力し、Enterキーを押します。

付　録

仕様

USBインタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ

プリンタ側	B レセプタクル(メス)アップストリームポート UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社製)相当品
ケーブル側	B プラグ(オス)

ケーブル

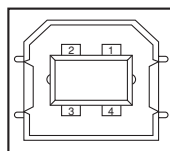
2m 以下の USB2.0 仕様のケーブル
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード(最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード(最大 480Mbps ± 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

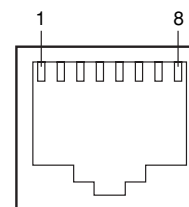
ネットワークプロトコル
- TCP/IP 関連
- NetWare 関連
- EtherTalk 関連
- NetBEUI 関連

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ+
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ-
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ+
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ-
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36 極レセプタクル(メス)
57RE-40360-830B-D29 型(第一電子工業製または相当品)
ケーブル側　36 極プラグ(オス)
57FE-30360 型(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

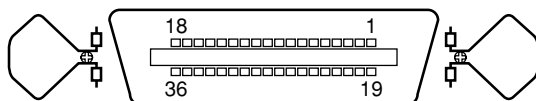
1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋0.0 〜＋0.8V
ハイレベル　＋2.4 〜＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	−	−	使用していません。
16	GND	−	信号グランド
17	FG	−	シャーシグランド
18	+5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19〜30	GND	−	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	−	信号グランド
34	−	−	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

目次へ　戻る　前へ　次へ　索引へ　検索する

仕様

フォントサンプル（PostScript3エミュレーションモード）

日本語2書体

Macintosh、Mac OS Xでは使用できません。

平成角ゴシック体TMW5
株式会社　沖データ

平成明朝体TMW3
株式会社　沖データ

欧文136書体

・OSによって使用できる書体に制限があります。
・Mac OS Xでは使用できません。

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Candid

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC
Copperplate-ThirtyTwoBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol　ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Taffy

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

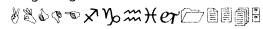
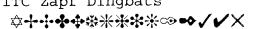
Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular
Wingdings2
Wingdings3
ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

フォントサンプル(PCLエミュレーションモード)

Macintosh環境では使用できません。

日本語4書体

平成明朝	平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ
P平成明朝	**P平成角ゴシック**
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

欧文84書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line PrinterはWindows環境では使用できません。
- ビットマップフォントとUSPS POSTNET Bar Codesは、固定サイズです。

Scalable Font（80書体）

No.		No.	
000	Courier	017	Univers Bold Italic
001	Courier Bold	018	Univers Medium Condensed
002	Courier Italic	019	Univers Bold Condensed
003	Courier Bold Italic	020	Univers Medium Condensed Italic
004	CG Times	021	Univers Bold Condensed Italic
005	CG Times Bold	022	Antique Olive
006	CG Times Italic	023	Antique Olive Bold
007	CG Times Bold Italic	024	Antique Olive Italic
008	CG Omega	025	Garamond Antique
009	CG Omega Bold	026	Garamond Halbfett
010	CG Omega Italic	027	Garamond Kursiv
011	CG Omega Bold Italic	028	Garamond Kursiv Halbfett
012	Coronet	029	Marigold
013	Clarendon Condensed	030	Albertus Medium
014	Univers Medium	031	Albertus Extra Bold
015	Univers Bold	032	Letter Gothic
016	Univers Medium Italic	033	Letter Gothic Bold

No.		No.	
034	Letter Gothic Italic	058	Helvetica Bold Oblique
035	Arial	059	Helvetica Narrow
036	Arial Bold	060	Helvetica Narrow Bold
037	Arial Italic	061	Helvetica Narrow Oblique
038	Arial Bold Italic	062	Helvetica Narrow Bold Oblique
039	Times New	063	New Century Schoolbook Roman
040	Times New Bold	064	New Century Schoolbook Bold
041	Times New Italic	065	New Century Schoolbook Italic
042	Times New Bold Italic	066	New Century Schoolbook Bold Italic
043	ITC Avant Garde Gothic Book	067	Palatino Roman
044	ITC Avant Garde Gothic Demi	068	Palatino Bold
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique	069	Palatino Italic
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	070	Palatino Bold Italic
047	ITC Bookman Light	071	Times Roman
048	ITC Bookman Demi	072	Times Bold
049	ITC Bookman Light Italic	073	Times Italic
050	ITC Bookman Demi Italic	074	Times Bold Italic
051	CourierPS	075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
052	CourierPS Bold	076	Symbol
053	CourierPS Oblique	077	SymbolPS
054	CourierPS Bold Oblique	078	Wingdings
055	Helvetica		
056	Helvetica Bold	079	ITC Zapf Dingbats
057	Helvetica Oblique		

ビットマップ フォント（3書体）

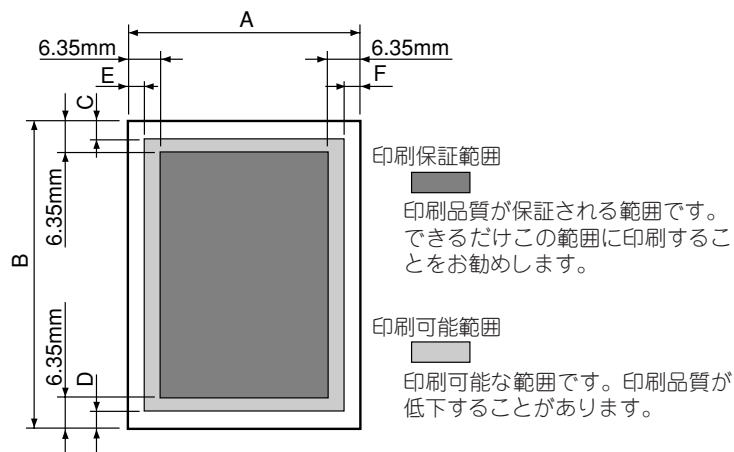
No.	
080	Line Printer ABCDEfghij12345
081	OCR-A ABCDEfghij12345
082	OCR-B ABCDEfghij12345

USPS POSTNET Bar Codes

No.	
083	USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度(PostScript3エミュレーションモード、PCLエミュレーションモード)

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mmです。

単位：mm

用紙サイズ	幅 A	長さ B	PSプリンタドライバ 上余白 C	PSプリンタドライバ 下余白 D	PSプリンタドライバ 左余白 E	PSプリンタドライバ 右余白 F	PCLプリンタドライバ(Windows) 上余白 C	PCLプリンタドライバ(Windows) 下余白 D	PCLプリンタドライバ(Windows) 左余白 E	PCLプリンタドライバ(Windows) 右余白 F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル(13インチ)	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル(13.5インチ)	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル(14インチ)	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	100〜215.9	148〜1,200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1(長形3号)	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2(長形4号)	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3(洋形4号)	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒4(A4サイズ)	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表（PostScript3エミュレーションモード）

- ***-83pv-RKSJ-Hは、主にMacintoshで使用します。（***はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-Hおよび***-Ext-RKSJ-Hは、主にWindowsで使用します。（***はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」の以下のフォルダにPDFファイルで入っています。
  [Windows] .... [ML_COLOR]-[DOC]フォルダ
  [Macintosh] .... [ML_COLOR]-[漢字コード表]フォルダ
- 各PDFファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	fi	fl
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	ϕ	γ	η	ι	φ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮲	⮱	⮳	⮴	⮶	⮵	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	🢬	🢭	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

文字コード表（PCLエミュレーションモード）

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J	VN US	ISO-14 JASC	Greek-437
PC-8	Win 3.0	ISO-15 Ita	Greek-437 Cy
PC-8 Dan/Nor	Win 3.1 Blt	ISO-16 Por	Greek-737
PC-8 TK	Win 3.1 Cyr	ISO-17 Spa	Greek-928
PC-775	Win 3.1 Grk	ISO-21 Ger	Hebrew NC
PC-850	Win 3.1 Heb	ISO-25 Fre	Hebrew OC
PC-852	Win 3.1 L1	ISO-57 Chi	IBM-437
PC-855	Win 3.1 L2	ISO-60 Nor	IBM-850
PC-857 TK	Win 3.1 L5	ISO-61 Nor	IBM-860
PC-858	Wingdings	ISO-69 Fre	IBM-863
PC-866	Dingbats MS	ISO-84 Por	IBM-865
PC-869	Symbol	ISO-85 Spa	ISO Dutch
PC-1004	OCR-A	Kamenicky	ISO L1
Pi Font	OCR-B	Legal	ISO L2
Plska Mazvia	HP ZIP	Math-8	ISO L5
PS Math	USPSFIM	MC Text	ISO L6
PS Text	USPSSTP	MS Publish	ISO L9
Roman-8	USPSZIP	PC Ext D/N	
Roman-9	ISO Swedish1	PC Ext US	
Roman Ext	ISO Swedish2	PC Set1	
Sebro Croat1	ISO Swedish3	PC Set2 D/N	
Sebro Croat2	ISO-2 IRV	PC Set2 US	
Spanish	ISO-4 UK	Bulgarian	
Ukrainian	ISO-6 ASC	CWI Hung	
VN Intl	ISO-10 S/F	DeskTop	
VN Math	ISO-11 Swe	German	

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⏐
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	·	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	∼			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店または サービス拠点（セットアップ編）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
MLカラーOHPシート	MLOHP01	専用OHPシート
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4BK1	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4BY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4BM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4BC1	
トナーカートリッジ　ブラックS	TNR-C4BK3	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエローS	TNR-C4BY3	
トナーカートリッジ　マゼンタS	TNR-C4BM3	
トナーカートリッジ　シアンS	TNR-C4BC3	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C4BK	イメージドラムカートリッジ トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C4BY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C4BM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C4BC	
イメージドラム3色パック	ID-C4BP	
ベルトユニット	MLBLT-C4C	ベルトユニット
定着器ユニット	MLFUS-C4D	定着器ユニット
ML64MB増設メモリ	MLMEM64C	増設メモリ（64MB）
内蔵ハードディスク	MLHDD-C2A	内蔵ハードディスク（10GB）
セカンドトレイユニット	MLTRY-C4C1	セカンドトレイユニット
両面印刷ユニット	MLDXU-C4C	両面印刷ユニット
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア

- 消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0〜35˚C、湿度：20〜85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。
- プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting : ON」と印刷されます。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバでプリントジョブアカウンティング機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

内蔵ハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量

プリントジョブアカウンティングを使用するためには、内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティション（内蔵ハードディスクを搭載しているときのみ）およびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量が以下の条件を満たす必要があります。この条件のとき、ユーザIDの登録可能数とログの保存可能数は以下のとおりです。

内蔵ハードディスク *1			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
有/無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	－	－	500KB以上	500ID *2	約150ログ *2
有	10%以上	1.2MB以上	500KB以上	5000ID	約150ログ

*1 内蔵ハードディスクは「PCL」、「キョウツウ」および「PSE」の3つのパーティションに分割されており、出荷時または内蔵ハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL =20%（2GB）
キョウツウ =50%（5GB）
PSE =30%（3GB）

*2 内蔵ハードディスクを搭載していない場合は、ユーザIDとログは保存領域が同じため、両方の最大値まで保存できるわけではありません。

最大登録可能なユーザID数、および最大保存可能ログ数と必要なメモリ条件

ユーザIDの最大登録可能数およびログの最大保存可能数とそのときに必要な内蔵ハードディスクおよびフラッシュメモリのサイズは以下のとおりです。

内蔵ハードディスク			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
有/無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	－	－	1.2MB以上	5000ID	約400ログ
有	10%以上	1.2MB以上	500KB以上	5000ID	約5000ログ

プリントジョブアカウンティングで「ログを格納するのに十分な領域がありません。」とエラーが表示された場合は以下を行ってください。

- 内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確認します。空き容量を確認する方法は、「内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）」（224ページ）をご覧ください。
- 上記の内蔵ハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量を満たしていない場合は、内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確保します。空き容量を確保する方法は、「内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保したい」（225ページ）をご覧ください。

課金額の定義の追加

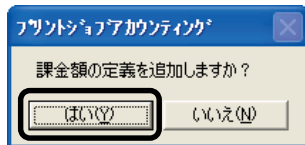
本プリンタの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。

プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。

❶プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

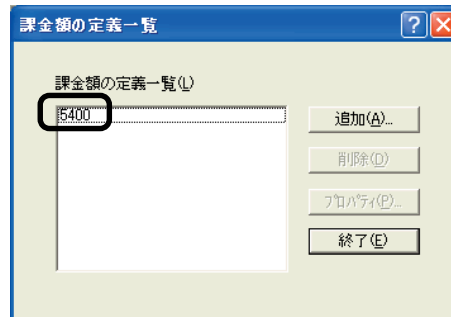
❸［スタート］-［ファイル名を指定して実行］を選択します。

❹［名前］に「D:¥UTILITY¥PRINTJA ¥CPADD」（CD-ROMドライブがD: のとき）を入力し、［OK］をクリックします。

❺確認画面で［はい］をクリックします。

❻完了画面で［はい］をクリックします。

❼プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

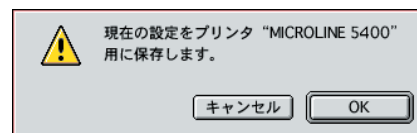
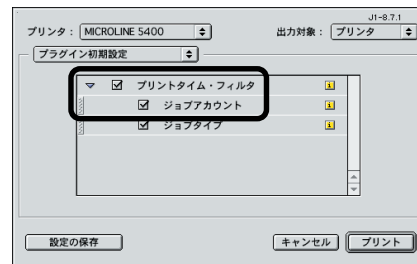
❽［プリンタ］メニューから［課金額の定義］を選択します。

❾課金額の定義一覧に「5400」が追加されていることを確認します。

課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

Macintoshでのユーザ名、ユーザIDの設定方法

Macintoshプリンタドライバでのユーザ名、ユーザIDの設定方法です。Windowsプリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

- ML5400では、Macintoshでのユーザ名、ユーザIDの設定方法が「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は空白、ユーザIDは0でログに残ります。
- Mac OS Xプリンタドライバはユーザ名、ユーザIDを設定することができません。ユーザ名はログイン名、ユーザIDは0でログに残ります。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。

Macintosh プリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[デスクトップのプリント]を選択します。

❷ [プラグイン初期設定]パネルで[プリントタイム・フィルタ]と[ジョブアカウント]にチェックを付けます。

❸ [ジョブアカウント]パネルでユーザ名、ユーザIDを設定し、[設定の保存]をクリックします。

❹ [OK]をクリックします。

❺ [キャンセル]をクリックし、ダイアログを閉じます。

索　引

記号

数字

A

B

C

D

E

F

G

H

Q

R

S

T

U

W

ア

イ

索引

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

索引

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

索引

ノ

ハ

ヒ

フ

へ

ホ

マ

ミ

メ

モ

ユ

ヨ

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 5400

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2004年 10月　第3版

発行者　株式会社 沖データ

42819402EE